

<u>✓チェック欄に未入</u>

1. 推薦区分	 地域がん診療病院			今和7年4月1日以 8	タの七中市#	<u>ノノイ</u> 折を希望しない場合は選択してくださ	
現行の指定区分		_				がで布重しない場合は選択してくたる 行の指定区分を便宜的に選択してく	
		(承訊 11 / 承訊 12)		また、ての場合は推	馬 区 万15現1	17の指定区分を使且的に選択して	-
特定機能病院の承認	承認なし	(承認あり/承認なし)					<i>V</i>
臨床研究中核病院の承認	承認なし けていない施設を推薦する場合は、G6セルで	(承認あり/承認なし)					'
	けていない他設を推薦する場合は、GOセルで しない施設においては、K5セルで「指定辞退						
※节和7年4月1日以降の指定更新を布望	しない他設においては、人のセルで、指定辞退	」を選択して行さい。					
2. 病院概要							
2. 羽虎似安 (1)病院名 (表紙シートの病院	タを巨帥)		全 库院			12	
(7)病院石(衣紙グートの病院	石で反映)	一般性団体人 朝启医神会 朝启医神	五州 机			13	
よみがな		いっぱんしゃだんほうじん あさくらいしっ	かい あさくら	しいしかいびょうしいん		15	~
\$0713·14		0.31270247270127270 8021301C/	3.0. MC/5	50.000.00000000000000000000000000000000		16	
						17	
- 郵便番号		〒 838-0069					
			朝倉市来看	₹422_1		18	<i>V</i>
住所		福岡県				19	<i>V</i>
よみがな		00.40, 00, 0077	かくのかけ	んあさくらしらいは		20	<i>'</i>
電話番号(代表)		0946-23-0077				21	<i>\</i>
FAX番号(代表)		0946-23-0076				22	<i>V</i>
e-mail(代表)		daihyou@asakura-med.or.jp	1./			23	<i>'</i>
HPアドレス		https://www.asakura-med.or.jp/hospita	1/			24	<i>\</i>
所属するがん医療圏		朝倉医療圏				25	<i>\</i>
所属する2次医療圏		朝倉医療圏				26	✓
						27	
③)病床数等						28	
①病床数						29	
総数					224	床 30	~
うち療養病床					0	床 31	~
うち一般病床					224	床 32	~
うち特別療養環境室とし					0	床 33	~
	集中治療室管理料を届け出てい	るものに限る)			0	床 34	~
②外来化学療法室					10	床 37	~
(4)職員数			松公田	裁員数(事務職員含む、常勤職員の人数)	393	人 36	~
4/40以 貝 女人			心 心中	成員数(事務職員召む、市動職員の八数)	393	人	
党数 原則は 7点	= 吹っつんと 数数時間の人でも	きなナス老ナルミ 病院でウルナ医師	の1 油即 の	ななはまれるのはまままのほとは			
	対所 くためだ 動物時間の主 くどま 勤務している者を常勤とし、その)勤務時間が、32時間未満の場合は、		37	
0211/11/02		15167FH1±11C7 00					
						38	
①職種別内訳						39	
※複数の資格を有る	する者は、主たる業務に係る職種	についてのみ記載。	非常勤		常勤	40	
			※(常勤換算	[]		41	
医師			7	٨	28	人 42	~
			0	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	0	人 人 43	~
			0	\(\frac{1}{2}\)	11	人 人 44	~
			0	1	6	人 45	
助産師			0	1	0	人 46	~
			17	A	190	人 40	<u> </u>
			0	^	0	人 人 48	
			0.1	^	14	人 人 49	V
作業療法士			0.1	A	7		<u> </u>
			0	A	0	人 人 50	~
			0	λ	3	人 52	<u> </u>
			0	1	0	人 53	~
			0	λ	0	人 54	~
			0	1	0	人 55	~
診療放射線技師			0	1	10	人 56	~
			0.5	<u>, </u>	19	人 57	~
			0.0	\ \	0	人 58	
			0	λ	5	人 59	~
			0	<u>, </u>	12	人 60	<u> </u>
			0		1	人 61	<i>V</i>
			0	 Д	2	人 62	~
			0	Λ	0	人 63	~
公認心理師			0	Λ	2	人 64	~
			0	Λ	4	人 65	~
救命救急士			0	ì	0	人 66	<u> </u>
10 = 10 10 ±				· ·	· ·	67	
※②~④については、複数の)資格を持つものは、両方にカウ	ントする。 ントする。	非常勤		常勤	68	
②医師等の専門性に関する	資格名に該当する人数等につい	7	※ (常勤換算	<u>[</u>)		69	
一般社団法人 日本内科	学会 内科専門医		0	<u></u>	1	人 70	~
公益社団法人 日本小児	科学会 小児科専門医		0.28	Λ	1	人 71	~
公益社団法人 日本皮膚			0.17	Α	0	人 72	~
公益社団法人 日本精神			0.1	Λ	0	人 73	~
一般社団法人 日本外科			0.18	Д	6	人 74	~
	外科学会 整形外科専門医		0	<u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	2	人 75	~
	婦人科学会 産婦人科専門医		0	<u>^</u>	0	人 76	
	科腫瘍学会 婦人科腫瘍専門医	<u> </u>	0	<u>^</u>	0	人 77	
公益財団法人 日本眼科		-	0	1	0	人 77	
	字芸 眼科导门医 咽喉科頭頚部外科学会 耳鼻咽	到股利 审判库	0	<u>,</u>	0	人 人 79	<i>V</i>
			_	<u>,</u>			
	本頭頸部外科学会 頭頸部がん	/守门区	0	^	0	人 80	<i>V</i>
	器科学会 泌尿器科専門医	企业中的基本的	0.36	^	1	人 81	<u> </u>
	器科学会/日本泌尿器内視鏡学		0	<u>, </u>	0	人 82	
	経外科学会 脳神経外科専門医		0	<u>۸</u>	1	人 83	~
	放射線学会 放射線科専門医	·	0.31	۸	1	人 84	~
一般財団法人 ロオイング	マーベンショナルラジオロジー学会	> 1\/D亩明匠	0	I Å	Ο	L J Q5	

1/44

一般社団法人 日本核医学会 核医学専門医

一般社団法人 日本核医学会 PET核医学認定医				1	7	
***************************************	0	Λ	0	人	87	~
公益社団法人 日本麻酔科学会 麻酔科専門医	0.71	人	0	人	88	~
一般財団法人 日本ペインクリニック学会 ペインクリニック専門医	0	Д	0	J.	89	V
	-	1		1		
一般社団法人 日本集中治療医学会 集中治療専門医	0	^	0	^	90	✓
一般社団法人 日本病理学会 病理専門医	0.21	人	0	人	91	'
公益社団法人 日本臨床細胞学会 細胞診専門医	0	人	0	人	92	~
一般社団法人 日本臨床検査医学会 臨床検査専門医	0	λ	0	J.	93	~
		1		^		
一般社団法人 日本救急医学会 救急科専門医	0	Λ	0	^	94	✓
一般社団法人 日本形成外科学会 形成外科専門医	0	人	0	人	95	~
一般社団法人 日本形成外科学会 皮膚腫瘍外科指導専門医	0	Д	0	J	96	~
	0	1		1	-	
公益社団法人 日本リハビリテーション医学会 リハビリテーション科専門医	U	^	1	^	97	'
一般社団法人 日本内科学会 総合内科専門医	0	人	4	人	98	~
一般社団法人 日本消化器病学会 消化器病専門医	0	人	3	人	99	~
一般社団法人 日本循環器学会 循環器専門医	0.56	1	- 1	1	100	V
	-		- '	<u>^</u>	-	
一般社団法人 日本呼吸器学会 呼吸器専門医	0.77	۸	1	۸	101	✓
特定非営利活動法人 日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡専門医	0	人	1	人	102	✓
一般社団法人 日本血液学会 血液専門医	0.31	Α	1	,	103	~
		1	,	^		
一般社団法人 日本造血・免疫細胞療法学会 造血細胞移植認定医	0	Λ	0	۸	104	✓
一般社団法人 日本内分泌学会・日本糖尿病学会 内分泌代謝・糖尿病内科領域専門医	0.31	人	0	人	105	✓
一般社団法人 日本神経学会 神経内科専門医	0.31	人	0	人	106	'
特定非営利活動法人 日本脳神経血管内治療学会 脳血管内治療専門医	0	Λ	0	,	107	V
			_	<u>^</u>	-	-
一般社団法人 日本脳卒中学会 専門医	0	Λ	0	人	108	~
一般社団法人 日本腎臓学会 腎臓専門医	0.26	人	0	人	109	~
一般社団法人 日本透析医学会 透析専門医	0	Α	0	J.	110	~
		1		, - ,		
膠原病・リウマチ内科領域専門医	0.23	^	0	^	111	~
一般社団法人 日本リウマチ学会 リウマチ専門医	0.2	人	0	人	112	'
一般社団法人 日本消化器外科学会 消化器外科専門医	0	Д ————————————————————————————————————	3	人 人	113	~
一般社団法人 日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医	0	λ	2	Д	114	V
		1		1		
一般社団法人 日本肝胆膵外科学会 高度技能指導医	0	^	0	^	115	~
一般社団法人 日本肝胆膵外科学会 高度技能専門医	0	人	0	人	116	>
一般社団法人 日本大腸肛門病学会 大腸肛門病専門医	0	Д.	1	人	117	V
呼吸器外科専門医合同委員会 呼吸器外科専門医			0	λ		~
	0	<u> </u>	0	<u>^</u>	118	-
特定非営利活動法人 日本気管食道科学会 気管食道科専門医	0	۸	0	人	119	~
心臓血管外科専門医認定機構 心臓血管外科専門医	0	人	0	人	120	'
一般社団法人 日本小児外科学会 小児外科専門医	0	1	2	1	121	./
		<u>^</u>		^	1	
一般社団法人 日本乳癌学会 乳腺外科専門医	0	Α	0	人	122	~
一般社団法人 日本乳癌学会 乳腺専門医	0	人	1	人	123	~
特定非営利活動法人 日本乳がん検診精度管理中央機構 検診マンモグラフィ読影認定医師A	0	Α	0	λ	124	~
		1		7	-	
特定非営利活動法人 日本乳がん検診精度管理中央機構 検診マンモグラフィ読影認定医師E	0	^	0	^	125	'
公益社団法人 日本医学放射線学会 放射線診断専門医	0.31	人	0	人	126	~
公益社団法人 日本医学放射線学会 放射線治療専門医	0	<u>Д</u>	0	人	127	~
一般社団法人 日本アレルギー学会 アレルギー専門医	0	1	1	1	-	V
		<u> </u>		^	128	
一般社団法人 日本感染症学会 感染症専門医	0	人	1	人	129	✓
一般社団法人 日本老年医学会 老年科専門医	0	人	0	人	130	~
公益社団法人 日本臨床腫瘍学会 腫瘍内科専門医	0	Д	0	J.	131	~
		,		^	-	-
一般社団法人 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医	0	۸	5	۸	132	>
特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医	0	人	0	人	133	~
一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医	0	λ	0	Α	134	~
			- 1		1	-
一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医				人	135	~
	0	<u> </u>	<u>'</u>		1	
一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医	1	<u>Д</u>	2	Д	136	~
一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医		Д Д	2	Д Д	136 137	<i>V</i>
一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医	0.3			人 人	137	V
一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本糖尿病学会 糖尿病専門医	0.3 0	Д Д Д	0	Д Д Д	137 138	V
一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本糖尿病学会 糖尿病専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者	0.3			人 人 人	137	V
一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本糖尿病学会 糖尿病専門医	0.3 0		0	Д Д Д Д	137 138	V
一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本糖尿病学会 糖尿病専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者	0.3 0		0 1 0	人 人 人 人	137 138 139	V V
一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本糖尿病学会 糖尿病専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器·一般外科領域 技術認定取得者	1 0.3 0 0 0		0 1 0 0	人 人 人 人	137 138 139 140 141	\(\times \)
一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本糖尿病学会 糖尿病専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器·一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者	1 0.3 0 0 0 0		0 1 0	人 人 人 人 人	137 138 139 140 141 142	\(\times \)
一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本糖尿病学会 糖尿病専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器·一般外科領域 技術認定取得者	1 0.3 0 0 0		0 1 0 0	人 人 人 人 人	137 138 139 140 141	\(\times \)
一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本糖尿病学会 糖尿病専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器·一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者	1 0.3 0 0 0 0		0 1 0 0	人 人 人 人 人 人	137 138 139 140 141 142	\(\times \)
一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本糖尿病学会 糖尿病専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器·一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 緩和医療専門医 一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門指導者	1 0.3 0 0 0 0 0	Д Д Д Д	0 1 0 0 0 0	Д Д Д Д	137 138 139 140 141 142 143	\(\times \) \(\t
一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本糖尿病学会 糖尿病専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器·一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 緩和医療専門医 一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門指導者 一般社団法人 日本生殖医学会 生殖医療専門医	1 0.3 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人	0 1 0 0 0 0 1 0	Д Д Д Д	137 138 139 140 141 142 143 144	\(\times \) \(\t
 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本糖尿病学会 糖尿病専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 緩和医療専門医 一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門指導者 一般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター 	1 0.3 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人	0 1 0 0 0 0 1 0 0	Д Д Д Д	137 138 139 140 141 142 143 144 145	V V V V V V V V
 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本棉尿病学会 糖尿病専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 中般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 緩和医療専門医 一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門指導者 一般社団法人 日本生殖医学会 生殖医療専門医 一般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター 一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 	1 0.3 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人	0 1 0 0 0 0 1 0	Д Д Д Д	137 138 139 140 141 142 143 144	\(\times \) \(\t
 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本糖尿病学会 糖尿病専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 緩和医療専門医 一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門指導者 一般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター 	1 0.3 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人	0 1 0 0 0 0 1 0 0	Д Д Д Д	137 138 139 140 141 142 143 144 145	V V V V V V V V
 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 緩和医療専門医 一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門指導者 一般社団法人 日本生殖医学会 生殖医療専門医 一般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター 一般社団法人 日本がん・生殖医療学会 協定がん・生殖医療ナビゲーター 一般社団法人 日本超音波医学会 超音波専門医 一般社団法人 日本超音波医学会 超音波専門医 	1 0.3 0 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人	0 1 0 0 0 0 1 0 0 0	Д Д Д Д	137 138 139 140 141 142 143 144 145 146	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 緩和医療専門医 一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門指導者 一般社団法人 日本生殖医学会 生殖医療専門医 一般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター 一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本日難済会 超音波専門医 公益社団法人 日本口腔外科学会 口腔外科専門医(医師) 	1 0.3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人	0 1 0 0 0 0 1 0 0 0 0 0	Д Д Д Д	137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 緩和医療専門医 一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門指導者 一般社団法人 日本生殖医学会 生殖医療専門医 一般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター 一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本超音波医学会 超音波専門医 	1 0.3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人	0 1 0 0 0 0 1 0 0 0	Д Д Д Д	137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 緩和医療専門医 一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門指導者 一般社団法人 日本生殖医学会 生殖医療専門医 一般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター 一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本超音波医学会 超音波専門医 公益社団法人 日本口腔外科学会 口腔外科専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師) 	1 0.3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人	0 1 0 0 0 0 1 0 0 0 0 0	Д Д Д Д	137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 緩和医療専門医 一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門指導者 一般社団法人 日本生殖医学会 生殖医療専門医 一般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター 一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本日難済会 超音波専門医 公益社団法人 日本口腔外科学会 口腔外科専門医(医師) 	1 0.3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人	0 1 0 0 0 0 1 0 0 0 0 0	Д Д Д Д	137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 緩和医療専門医 一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門指導者 一般社団法人 日本生殖医学会 生殖医療専門医 一般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター 一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本超音波医学会 超音波専門医 公益社団法人 日本口腔外科学会 口腔外科専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師) 歯科医師 	1 0.3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人	0 1 0 0 0 0 1 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人	137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 緩和医療専門医一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門指導者一般社団法人 日本生殖医学会 生殖医療専門医一般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医一般社団法人 日本超音波医学会 超音波専門医公益社団法人 日本ロ腔外科学会 口腔外科専門医(医師)一般社団法人 日本病理学会 口腔外科専門医(医師)歯科医師公益社団法人 日本口腔外科学会 口腔外科専門医(歯科医師)	1 0.3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人 人	0 1 0 0 0 0 1 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人 人	137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 緩和医療専門医 一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門指導者 一般社団法人 日本生殖医学会 生殖医療専門医 一般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター 一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本超音波医学会 超音波専門医 公益社団法人 日本口腔外科学会 口腔外科専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師) 歯科医師 	1 0.3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人	0 1 0 0 0 0 1 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人	137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 緩和医療専門医一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門指導者一般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター一般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医一般社団法人 日本超音波医学会 超音波専門医公益社団法人 日本口腔外科学会 口腔外科専門医(医師)歯科医師公益社団法人 日本内理外科学会 口腔病理専門医(歯科医師)一般社団法人 日本病理学会 口腔所科専門医(歯科医師)一般社団法人 日本内理外科学会 口腔病理専門医(歯科医師)	1 0.3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人 人	0 1 0 0 0 0 1 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人 人	137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 緩和医療専門医一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門指導者一般社団法人 日本生殖医学会 生殖医療専門医一般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医一般社団法人 日本超音波医学会 超音波専門医公益社団法人 日本口腔外科学会 口腔外科専門医(医師)一般社団法人 日本同性外科学会 口腔外科専門医(医師)歯科医師公益社団法人 日本口腔外科学会 口腔外科専門医(歯科医師)	1 0.3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人 人	0 1 0 0 0 0 1 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人 人	137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
一般社団法人日本内分泌学会内分泌代謝科専門医一般社団法人日本相尿病学会糖尿病専門医一般社団法人日本内視鏡外科学会産科婦人科領域技術認定取得者一般社団法人日本内視鏡外科学会消化器・一般外科領域技術認定取得者一般社団法人日本内視鏡外科学会泌尿器科領域技術認定取得者特定非営利活動法人日本緩和医療学会緩和医療専門医一般社団法人日本禁煙学会認定専門指導者一般社団法人日本生殖医学会生殖医療専門医一般社団法人日本がん・生殖医療学会認定がん・生殖医療ナビゲーター一般社団法人日本人類遺伝学会臨床遺伝専門医一般社団法人日本超音波医学会超音波専門医公益社団法人日本病理学会口腔病理専門医(医師)一般社団法人日本病理学会口腔所理専門医(歯科医師)一般社団法人日本病理学会口腔病理専門医(歯科医師)一般社団法人日本病理学会口腔病理専門医(歯科医師)看護師(公益社団法人日本看護協会認定)	1 0.3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人 人	0 1 0 0 0 0 1 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人 人	137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本相尿病学会 糖尿病専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 緩和医療専門医 一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門指導者 一般社団法人 日本生殖医学会 生殖医療専門医 一般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター 一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本超音波医学会 超音波専門医 一般社団法人 日本超音波医学会 超音波専門医 一般社団法人 日本和理外科学会 口腔外科専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) 「歯科医師」 「歯科医師」 「を師」 「歯科医師」 「を師」 「を解するのでは、「を記述を記述を表するのでは、「を記述を表するのでは、「を記述を表するのでは、「を記述を表するのでは、「を述べを表するのでは、「を述べを表するのでは、「を述べを表するのでは、「を述べを表するのでは、「を述べを表するのでは、「を述べを表するのでは、「を述べを表するのでは、「を述べを表するのでは、「を述べを表するのでは、「を述べを表するのでは、「を述べを表するのでは、「を述べを表するのでは、「を述べを表するのでは、「を述べを表するのでは、「を述べを表するのでは、「を述べを述べを表するのでは、「を述べを表するのでは、「を述べを表するのでは、「を述べを述べを表するのでは、「を述べを述べを表するのでは、「を述べを述べを述べを述べを述べを述べを述べを述べを述べを述べを述べを述べを述べを	1 0.3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人 人	0 1 0 0 0 0 1 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人 人	137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本糖尿病学会 糖尿病専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 緩和医療専門医 一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門指導者 一般社団法人 日本生殖医学会 生殖医療専門医 一般社団法人 日本生殖医学会 生殖医療専門医 一般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター 一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本超音波医学会 超音波専門医 公益社団法人 日本国語波医学会 起音波専門医 公益社団法人 日本同腔外科学会 口腔外科専門医(医師) 歯科医師 公益社団法人 日本「腔外科学会 口腔病理専門医(歯科医師) ・般社団法人 日本「神子会」口腔病理専門医(歯科医師) 「歯科医師」 「一般社団法人 日本「神子会」「神子表に歯科医師」 「神子護事門看護師」 「神子護事門看護師」 「神子護事門看護師」	1 0.3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人 人	0 1 0 0 0 0 1 0 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人 人	137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157	
一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本糖尿病学会 糖尿病専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 緩和医療専門医 一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門指導者 一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門店 一般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター 一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本 超音波医学会 超音波専門医 公益社団法人 日本 ロ腔外科学会 口腔外科専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師) 歯科医師 公益社団法人 日本 口腔外科学会 口腔病理専門医(歯科医師) 看護師(公益社団法人日本看護協会認定) がん看護専門看護師 精神看護専門看護師	1 0.3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人 人	0 1 0 0 0 0 1 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人 人	137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本糖尿病学会 糖尿病専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 緩和医療専門医 一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門指導者 一般社団法人 日本生殖医学会 生殖医療専門医 一般社団法人 日本生殖医学会 生殖医療専門医 一般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター 一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本超音波医学会 超音波専門医 公益社団法人 日本国語波医学会 起音波専門医 公益社団法人 日本同腔外科学会 口腔外科専門医(医師) 歯科医師 公益社団法人 日本「腔外科学会 口腔病理専門医(歯科医師) ・般社団法人 日本「神子会」口腔病理専門医(歯科医師) 「歯科医師」 「一般社団法人 日本「神子会」「神子表に歯科医師」 「神子護事門看護師」 「神子護事門看護師」 「神子護事門看護師」	1 0.3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人 人	0 1 0 0 0 0 1 0 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人 人	137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157	
一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本糖尿病学会 糖尿病専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 緩和医療専門医 一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門指導者 一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門店 一般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター 一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本 超音波医学会 超音波専門医 公益社団法人 日本 ロ腔外科学会 口腔外科専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師) 歯科医師 公益社団法人 日本 口腔外科学会 口腔病理専門医(歯科医師) 看護師(公益社団法人日本看護協会認定) がん看護専門看護師 精神看護専門看護師	1 0.3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人 人	0 1 0 0 0 0 1 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人 人	137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本糖尿病学会 糖尿病専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 緩和医療専門医 一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門指導者 一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門医 一般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター 一般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター 一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本起音波医学会 超音波専門医 公益社団法人 日本超音波医学会 超音波専門医 公益社団法人 日本病理学会 口腔外科専門医(医師) -般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師) 歯科医師 公益社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) -般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師)	1 0.3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人 人	0 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人 人	137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161	
一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本糖尿病学会 糖尿病専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 緩和医療専門医 一般社団法人 日本生殖医療学会 起定専門指導者 一般社団法人 日本生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター 一般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター 一般社団法人 日本がら・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター 一般社団法人 日本超音波医学会 臨床遺伝専門医 公益社団法人 日本超音波医学会 互腔外科専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔外科専門医(医師) 歯科医師 公益社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) 着護専門看護師 精神看護専門看護師 精神看護専門看護師 老人看護専門看護師 急性・重症患者看護専門看護師	1 0.3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人 人	0 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人 人	137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162	
一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本糖尿病学会 糖尿病専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 道化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 緩和医療専門医 一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門指導者 一般社団法人 日本生殖医学会 生殖医療専門医 一般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター 一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本超音波医学会 超音波専門医 公益社団法人 日本和超音波医学会 超音波専門医 公益社団法人 日本病理学会 口腔外科専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師) 「歯科医師」 公益社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) 「「歯科医師」」 「「大田・一般社団法人 日本病理学会 「「大田・一般社団法人」」 「大田・一般社団法人」 日本病理学会 「「大田・一般社団法人」 日本病理学会 「「大田・一般社」 「大田・一般社」 「大田	1 0.3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人 人	0 1 0 0 0 0 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人 人	137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163	
一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本期保病学会 糖尿病専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 済化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 済化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 淡定器料領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本機和医療学会 緩和医療専門医 一般社団法人 日本結構等 と 生殖医療専門医 一般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター 一般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター 一般社団法人 日本超音波医学会 超音波専門医 一般社団法人 日本超音波医学会 超音波専門医 公益社団法人 日本和理学会 口腔外科専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) 着護師(公益社団法人日本看護協会認定) がん看護専門看護師 地域看護専門看護師 老人看護専門看護師 老人看護専門看護師 念性・重症患者看護専門看護師 念性・重症患者看護専門看護師 家染症看護専門看護師 家族支援専門看護師 家族支援専門看護師	1 0.3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人 人	0 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人 人	137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162	
一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本糖尿病学会 糖尿病専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 道化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 緩和医療専門医 一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門指導者 一般社団法人 日本生殖医学会 生殖医療専門医 一般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター 一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本超音波医学会 超音波専門医 公益社団法人 日本和超音波医学会 超音波専門医 公益社団法人 日本病理学会 口腔外科専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師) 「歯科医師」 公益社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) 「「歯科医師」」 「「大田・一般社団法人 日本病理学会 「「大田・一般社団法人」」 「大田・一般社団法人」 日本病理学会 「「大田・一般社団法人」 日本病理学会 「「大田・一般社」 「大田・一般社」 「大田	1 0.3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人 人	0 1 0 0 0 0 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人 人	137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163	
一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本糖尿病学会 糖尿病専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本経和医療学会 緩和医療専門医 一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門指導者 一般社団法人 日本生殖医学会 生殖医療専門医 一般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター 一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本和音波医学会 超音波専門医 公益社団法人 日本口腔外科学会 口腔外科専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) 公益社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) 「一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) を著籍専門看護師 本人看護専門看護師 恋染症看護専門看護師 恋染症看護専門看護師 家族支援専門看護師 家族支援専門看護師 京族支援専門看護師 京族支援専門看護師 京族支援専門看護師	1 0.3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人 人	0 1 0 0 0 0 0 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人 人	137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165	
一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本期限病学会 糖尿病専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 避水器・一般外領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本禁煙学会 認定専門指導者 一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門指導者 一般社団法人 日本生殖医学会 生殖医療専門医 一般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター 一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医(医師) 一般社団法人 日本口腔外科学会 口腔外科専門医(医師) ・一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師) 歯科医師 公益社団法人 日本同性外科学会 口腔病理専門医(歯科医師) ・一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) ・一般社団法人 日本清護師 な益社団法人 日本看護協会認定) がん看護専門看護師 精神看護専門看護師 参大人看護専門看護師 家族支援専門看護師 家族支援専門看護師 家族支援専門看護師 家族支援専門看護師 など・重症患者看護専門看護師 家族支援専門看護師 など・重症患者看護専門看護師 など・電行護専門看護師 など・電行護専門看護師 など・電行護専門看護師	1 0.3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人 人	0 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人 人	137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166	
一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 緩和医療専門医 一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門指導者 一般社団法人 日本生殖医学会 生殖医療専門医 一般社団法人 日本がル・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター 一般社団法人 日本がり生殖疾学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本和音波医学会 超音波再門医 公益社団法人 日本和音波医学会 超音波再門医(医師) 一般社団法人 日本内膜外科学会 口腔病理専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) 看護師(公益社団法人日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) を益社団法人日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) を益社団法人日本看護協会認定) がん看護専門看護師 精神看護専門看護師 地域看護専門看護師 を人看護専門看護師 窓染症看護専門看護師 家族支援専門看護師 な会理を選集を開発を表しています。 または 集中ケア認定看護師 カリディカルケア認定看護師 または 救急看護認定看護師 または 集中ケア認定看護師	1 0.3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人 人	0 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人 人	137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167	
一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 緩和医療専門医 一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門指導者 一般社団法人 日本生殖医学会 生殖医療専門医 一般社団法人 日本がル・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター 一般社団法人 日本がお生殖医療学会 超音波専門医 一般社団法人 日本和音波医学会 超音波専門医 公益社団法人 日本口腔外科学会 口腔病理専門医(医師) 一般社団法人 日本向理学会 口腔病理専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) 名益社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) を益社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) を益社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) 本社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) の会社・重症患者看護師 精神看護専門看護師 表性・重症患者看護専門看護師 またま者看護専門看護師 ないる音響専門看護師 ないる音響を表する。または、教徳看護認定看護師 または、集中ケア認定看護師 ないる程言語のまたは、がいている音響に表する。または、集中ケア認定看護師	1 0.3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人 人	0 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人 人	137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166	
一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 緩和医療専門医 一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門指導者 一般社団法人 日本生殖医学会 生殖医療専門医 一般社団法人 日本がル・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター 一般社団法人 日本がり生殖医療学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本和音波医学会 超音波専門医 公益社団法人 日本和音波医学会 超音波専門医 公益社団法人 日本和音波医学会 四腔外科専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) 看護師(公益社団法人日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) を益社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) を益社団法人日本看護協会認定) がん看護専門看護師 特神看護専門看護師 地域看護専門看護師 を人看護専門看護師 を永電護専門看護師 家染症看護専門看護師 家染症看護専門看護師 ないまったは教育を護認定看護師 または集中ケア認定看護師 か射線看護専門看護師	1 0.3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人 人	0 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人 人	137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167	
一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本牌尿病学会 糖尿病専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 淡尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 緩和医療専門医 一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門指導者 一般社団法人 日本生殖医学会 生殖医療専門医 一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本和音波医学会 起音波専門医 公益社団法人 日本超音波医学会 起音波専門医 公益社団法人 日本超音波医学会 口腔病理専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) 歯科医師 公益社団法人 日本有護協会認定) がん看護専門看護師 精神看護専門看護師 急性・重症患者看護専門看護師 急性・重症患者看護専門看護師 急性・重症患者看護専門看護師 意染症看護専門看護師 なえ看護専門看護師 次女援専門看護師 な大看護専門看護師 なりティカルケア認定看護師または 救急看護認定看護師 または 集中ケア認定看護師 がり球看看護専門看護師 放射線看護専門看護師 次対線看護専門看護師 次対線看護連び看護師または 水の生産 護認定看護師 または 集中ケア認定看護師 または がん性疾痛看護認定看護師 または 集中ケア認定看護師	1 0.3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人	0 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人 人	137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168	
一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本神尿病学会 糖尿病専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 達化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門指導者 一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門医 一般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター 一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本知野学会 口腔外科専門医(医師) 一般社団法人 日本四腔外科学会 口腔外科専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師) 「会社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) 「者護師(公益社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) 看護師(公益社団法人 日本看護協会認定) がん看護専門看護師 精神看護専門看護師 地域看護専門看護師 急性・重症患者看護専門看護師 念性・重症患者看護専門看護師 の性・重症患者看護専門看護師 な外線看護専門看護師 な射線看護専門看護師 な射線看護専門看護師 な射線看護専門看護師 なりリティカルケア認定看護師 または 救急看護認定看護師 または 集中ケア認定看護師 または がん性疼痛看護認定看護師 または 集中ケア認定看護師 または がん性疼痛者護認定看護師 または 集中ケア認定看護師 または がん性疼痛者養認定看護師 または かんだ皮膚病者養認定看護師 または がん性疼痛者養認定看護師	1 0.3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人	0 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人	137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168 169 170	
一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本神尿病学会 糖尿病専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 達 14 化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本規範医学会 認定専門医 一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門医 一般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター 一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本はの生活を学会 口腔外科専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) 着護師 公益社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) を発生・重症患者看護専門看護師 老人看護専門看護師 老人看護専門看護師 念性・重症患者看護専門看護師 念性・重症患者看護専門看護師 の念性・重症患者看護専門看護師 の次定看護師 または 数急看護認定看護師 または 集中ケア認定看護師 なりリティカルケア認定看護師 または がん性疼痛看護認定看護師 または 紫和ケア認定看護師 または がん性疼痛看護認定看護師 または がんで療法看護認定看護師 または がん性疼痛看護認定看護師 または がん性疼痛看護認定看護師	1 0.3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人	0 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人	137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168 169 170 171	
一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本病疾病学会 糖尿病専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 产品	1 0.3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人	0 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人	137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168 169 170	

2/44 様式4(全般事項)

 皮膚排泄ケア認定看護師		0 人		1 人	173	'
感染管理認定看護師		0 人		2 人	174	~
手術看護認定看護師 乳癌看護認定看護師		0 0 人		0 人	175 176	<i>'</i>
認知症看護認定看護師		0 人		0 人	177	~
がん放射線療法看護認定看護師		0 人		0 人	178 179	~
③その他専門的技術・知識を有する医療従事者		非常勤		常勤	180	
一般社団法人 日本臨床腫瘍薬学会 外来がん治療認定	薬剤師	※(常勤換算) 0 人		0 人	181 182	~
一般社団法人 日本医療薬学会 がん専門薬剤師		0 人		0 人	183	~
一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬		0 人		0 人	184	<i>V</i>
一般社団法人 日本緩和医療薬学会 緩和薬物療法認定 特定非営利活動法人 日本乳がん検診精度管理中央機構		0 人		0 人	185	<i>'</i>
特定が当れる到広へ、日本名が心候影視及官は中央機構 検診マンモグラフィ撮影診療放射線技師	}	0 人		1 人	186	~
放射線治療品質管理機構 放射線治療品質管理士		0 人		0 人	187	~
日本放射線治療専門放射線技師認定機構 放射線治療専 一般財団法人 医学物理士認定機構 医学物理士	門放射線技師	0 0 人		0 0 人	188	<i>V</i>
公益社団法人 日本臨床細胞学会 細胞検査士		0 人		2 人	190	~
一般社団法人日本人類遺伝学会及び日本遺伝カウンセリング		0 人		0 人	191	~
一般社団法人日本家族性腫瘍学会 家族性腫瘍カウンセラー 一般社団法人 日本病態栄養学会/	ラー	0 人		0 人	192	~
公益社団法人 日本栄養士会 がん病態栄養専門管理栄養	養士	0 人		1 人	193	~
四病院団体協議会/医療研修推進財団 診療情報管理士		1 人		6 人	194	~
一般社団法人 日本生殖心理学会 がん・生殖医療専門心)理士	0 人		0 人	195 196	✓
④その他の従事者					197	
診療録管理部門の職員 公益財団法人 日本臨床心理士資格認定協会 臨床心理:	+	0 人 0 人		4 人	198 199	<i>'</i>
公益別団法人 日本婦体心理工具格認定協会 婦体心理 臨床試験コーディネーター	<u> </u>	0 人 0 人		0 人	200	~
うその他					201	
①夜間(深夜も含む)救急対応の可否				可 (可/否)	202	~
②各種委員会の設置状況 倫理審査委員会	あり	(あり/なし)	年 10 回開催	(期間:令和5年1月1日~12	203 2月31日) 204	·
一	あり	(あり/なし)		(期間: 予和5年1月1日~12 (期間: 令和5年1月1日~12		~
医療安全委員会	あり	(あり/なし)		(期間:令和5年1月1日~12		~
感染管理委員会	あり	(あり/なし)	年 12 回開催	(期間:令和5年1月1日~12		~
					208	
3) 串者数・診療件数の状況					210	
6)患者数・診療件数の状況 ① 患者数等(期間: 令和5年1月1日~12月31日)				3559 人	211	~
① 患者数等(期間:令和5年1月1日~12月31日) 年間入院患者延べ数※1						
① 患者数等 (期間:令和5年1月1日~12月31日) 年間入院患者延べ数※1 年間入院がん患者延べ数※2				791 人	212	'
① 患者数等(期間:令和5年1月1日~12月31日) 年間入院患者延べ数※1 年間入院がん患者延べ数※2 年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合				791 人 22.2 % 7643 人	213	
① 患者数等 (期間: 令和5年1月1日~12月31日) 年間入院患者延べ数※1 年間入院がん患者延べ数※2 年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数※3 年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合は ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断:	されたものについて計上すること			22.2 % 7643 人 193 人 して計上する。		<i>V</i>
① 患者数等 (期間:令和5年1月1日~12月31日) 年間入院患者延べ数※1 年間入院がん患者延べ数※2 年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数※3 年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合は	されたものについて計上すること がん患者及び往診、巡回診療、	<u>:</u> 。 健康診断、人間ドック	等を行い、診療録の作成ま	22.2 % 7643 人 193 人 して計上する。 または記載の追加	213 214 215 216	<i>v</i>
① 患者数等 (期間:令和5年1月1日~12月31日) 年間入院患者延べ数※1 年間入院がん患者延べ数※2 年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数※3 年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合は ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断 ※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再来 を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者が それぞれの外来患者として計上する。 ② 検査等の実施状況	されたものについて計上することがん患者及び往診、巡回診療、 2つ以上の診療科を受診し、それ	<u>:</u> 。 健康診断、人間ドック	等を行い、診療録の作成ま	22.2 % 7643 人 193 人 して計上する。 または記載の追加	213 214 215 216	<i>v</i>
① 患者数等 (期間:令和5年1月1日~12月31日) 年間入院患者延べ数※1 年間入院がん患者延べ数※2 年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数※3 年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合は ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断 ※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再来 を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者がな それぞれの外来患者として計上する。 ② 検査等の実施状況 ア 病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月31	されたものについて計上することがん患者及び往診、巡回診療、 2つ以上の診療科を受診し、それ	<u>:</u> 。 健康診断、人間ドック	等を行い、診療録の作成ま	22.2 % 7643 人 193 人 して計上する。 または記載の追加 加を行った場合、	213 214 215 216 217 218 219 220	\(\nu \)
① 患者数等 (期間:令和5年1月1日~12月31日) 年間入院患者延べ数※1 年間入院がん患者延べ数※2 年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数※3 年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合は ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断: ※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再来 を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者が それぞれの外来患者として計上する。 ② 検査等の実施状況 ア 病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月31 病理組織診断	されたものについて計上することがん患者及び往診、巡回診療、 2つ以上の診療科を受診し、それ	<u>:</u> 。 健康診断、人間ドック	等を行い、診療録の作成ま	22.2 % 7643 人 193 人 して計上する。 または記載の追加 加を行った場合、	213 214 215 216 217 218 219 220 221	\(\times \)
① 患者数等 (期間:令和5年1月1日~12月31日) 年間入院患者延べ数※1 年間入院がん患者延べ数※2 年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数※3 年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合は※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再来を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者がなそれぞれの外来患者として計上する。 ② 検査等の実施状況 ア 病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月31	されたものについて計上することがん患者及び往診、巡回診療、 2つ以上の診療科を受診し、それ	<u>:</u> 。 健康診断、人間ドック	等を行い、診療録の作成ま	22.2 % 7643 人 193 人 して計上する。 または記載の追加 加を行った場合、	213 214 215 216 217 218 219 220	\(\nu \)
① 患者数等 (期間:令和5年1月1日~12月31日) 年間入院患者延べ数※1 年間入院がん患者延べ数※2 年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数※3 年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合は※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再来を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者がそれぞれの外来患者として計上する。 ② 検査等の実施状況 ア 病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月31病理組織診断病理組織診断病理組織顕微鏡検査	されたものについて計上することがん患者及び往診、巡回診療、 2つ以上の診療科を受診し、それ	<u>:</u> 。 健康診断、人間ドック	等を行い、診療録の作成ま	22.2 % 7643 人 193 人 して計上する。 または記載の追加 加を行った場合、	213 214 215 216 216 217 218 219 220 221 222 223 224	
① 患者数等 (期間:令和5年1月1日~12月31日) 年間入院患者延べ数※1 年間入院がん患者延べ数※2 年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数※3 年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合は※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再来を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者がそれぞれの外来患者として計上する。 ② 検査等の実施状況 ア 病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月31病理組織診断病理組織診断病理組織過速組織顕微鏡検査	されたものについて計上することがん患者及び往診、巡回診療、 2つ以上の診療科を受診し、それ	<u>:</u> 。 健康診断、人間ドック	等を行い、診療録の作成ま	22.2 % 7643 人 193 人 して計上する。 または記載の追加 加を行った場合、 1613 件 937 件 17 件	213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225	
① 患者数等 (期間:令和5年1月1日~12月31日) 年間入院患者延べ数※1 年間入院がん患者延べ数※2 年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数※3 年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合は ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断: ※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再来を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者がそれぞれの外来患者として計上する。 ② 検査等の実施状況 ア 病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月31 病理組織診断 病理組織診断 病理組織過速組織顕微鏡検査 7)グループ指定について ①地域がん診療病院とグループ指定を受けている。	されたものについて計上することがん患者及び往診、巡回診療、2つ以上の診療科を受診し、それ	こ。 健康診断、人間ドック いぞれの診療科で診療	等を行い、診療録の作成は録の作成または記載の追	22.2 % 7643 人 193 人 して計上する。 または記載の追加 加を行った場合、 1613 件 937 件 17 件	213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225	
年間入院患者延べ数※1 年間入院患者延べ数※2 年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数※3 年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合は ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断: ※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再来を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者が2 それぞれの外来患者として計上する。 ② 検査等の実施状況 ア 病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月31病理組織診断病理細胞診断病理細胞診断病理組織顕微鏡検査 7)グループ指定について ①地域がん診療病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定先の医療機と。なお、令和7年4月1日時点でグループ指定の組み合わ	されたものについて計上することがん患者及び往診、巡回診療、2つ以上の診療科を受診し、それ2つ以上の診療科を受診し、それ日	こ。 健康診断、人間ドックで いぞれの診療科で診療	等を行い、診療録の作成は録の作成または記載の追録の作成または記載の追録合、「指定なし」と記入する	22.2 % 7643 人 193 人 して計上する。 または記載の追加 加を行った場合、 1613 件 937 件 17 件	213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225	
① 患者数等(期間:令和5年1月1日~12月31日) 年間入院患者延べ数※1 年間入院がん患者延べ数※2 年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合年間外来がん患者延べ数※3 年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合は※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再来を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者がそれぞれの外来患者として計上する。 ② 検査等の実施状況 ア 病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月31病理組織診断病理組織診断病理組織過機鏡検査 7)グループ指定について ①地域がん診療病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定先の医療機	されたものについて計上することがん患者及び往診、巡回診療、2つ以上の診療科を受診し、それ2つ以上の診療科を受診し、それ日	こ。 健康診断、人間ドックで いぞれの診療科で診療	等を行い、診療録の作成は録の作成または記載の追録の作成または記載の追録合、「指定なし」と記入する	22.2 % 7643 人 193 人 して計上する。 または記載の追加 加を行った場合、 1613 件 937 件 17 件	213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 2) 226	
① 患者数等(期間:令和5年1月1日~12月31日) 年間入院患者延べ数※1 年間入院がん患者延べ数※2 年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数※3 年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合は ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断: ※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再来を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者がそれぞれの外来患者として計上する。 ② 検査等の実施状況 ア 病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月31 病理組織診断 病理組織込ま組織顕微鏡検査 7)グループ指定について ①地域がん診療病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定先の医療機と。なお、令和7年4月1日時点でグループ指定の組み合わ	されたものについて計上することがん患者及び往診、巡回診療、2つ以上の診療科を受診し、それ2つ以上の診療科を受診し、それ日	こ。 健康診断、人間ドックで いぞれの診療科で診療	等を行い、診療録の作成は録の作成または記載の追録の作成または記載の追録合、「指定なし」と記入する	22.2 % 7643 人 193 人 して計上する。 または記載の追加 加を行った場合、 1613 件 937 件 17 件	213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 7.) 226	
① 患者数等(期間:令和5年1月1日~12月31日) 年間入院患者延べ数※1 年間入院がん患者延べ数※2 年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数※3 年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合は ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断 ※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再来を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者がそれぞれの外来患者として計上する。 ② 検査等の実施状況 ア 病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月31病理組織診断病理組織診断病理組織顕微鏡検査 ①グループ指定について ①地域がん診療病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定をの医療機と。なお、令和7年4月1日時点でグループ指定を受けている。 クループ指定を受けている場合、グループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定を受けている。	されたものについて計上すること がん患者及び往診、巡回診療、 2つ以上の診療科を受診し、それ 日) 日)	こ。 健康診断、人間ドックで はでれの診療科で診療 指定を受けていない場合は、新旧両方のグル 指定を受けていない場	等を行い、診療録の作成ま 録の作成または記載の追 合、「指定なし」と記入する 一プ指定先医療機関名を 合、「指定なし」と記入する	22.2 %6 7643 人 193 人 して計上する。 または記載の追加 加を行った場合、 1613 件 937 件 17 件 いいえ (はい/いい) はにはい (はい/いい)	213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 \$\bar{z}\$) 226 227	
① 患者数等 (期間:令和5年1月1日~12月31日) 年間入院患者延べ数※1 年間入院がん患者延べ数※2 年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合年間外来がん患者延べ数※3 年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合は※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再来を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者がそれぞれの外来患者として計上する。 ② 検査等の実施状況 ア 病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月31病理組織診断病理組織診断病理組織過速組織顕微鏡検査 のグループ指定について ①地域がん診療病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定先の医療機と。なお、令和7年4月1日時点でグループ指定の組み合れ入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。	されたものについて計上すること がん患者及び往診、巡回診療、 2つ以上の診療科を受診し、それ 日) 日)	こ。 健康診断、人間ドックで はでれの診療科で診療 指定を受けていない場合は、新旧両方のグル 指定を受けていない場	等を行い、診療録の作成ま 録の作成または記載の追 合、「指定なし」と記入する 一プ指定先医療機関名を 合、「指定なし」と記入する	22.2 %6 7643 人 193 人 して計上する。 または記載の追加 加を行った場合、 1613 件 937 件 17 件 いいえ (はい/いい) はにはい (はい/いい)	213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 7.) 226	
① 患者数等(期間:令和5年1月1日~12月31日) 年間入院患者延べ数※1 年間入院患者延べ数※2 年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数※3 年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合に ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断: ※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再来を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者が2それぞれの外来患者として計上する。 ② 検査等の実施状況 ア 病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月31病理組織診断病理組織診断病理組織過激鏡検査 ② がループ指定について ①地域がん診療病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定先の医療機と。なお、令和7年4月1日時点でグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合わ入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合わ入すること。	されたものについて計上すること がん患者及び往診、巡回診療、 2つ以上の診療科を受診し、それ 日) 日)	こ。 健康診断、人間ドックで はでれの診療科で診療 指定を受けていない場合は、新旧両方のグル 指定を受けていない場	等を行い、診療録の作成ま 録の作成または記載の追 合、「指定なし」と記入する 一プ指定先医療機関名を 合、「指定なし」と記入する	22.2 %6 7643 人 193 人 して計上する。 または記載の追加 加を行った場合、 1613 件 937 件 17 件 いいえ (はい/いい) はにはい (はい/いい)	213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 \$\bar{z}\$) 226 227	
① 患者数等 (期間:令和5年1月1日~12月31日) 年間入院患者延べ数※1 年間入院患者延べ数※2 年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数※3 年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合は※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断:※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再来を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者が2 それぞれの外来患者として計上する。 ② 検査等の実施状況 ア 病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月31病理組織診断病理組織診断病理組織認動所病理組織過失査 7)グループ指定について ①地域がん診療病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合わ入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合わ入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。	されたものについて計上すること がん患者及び往診、巡回診療、 2つ以上の診療科を受診し、それ 日) 日)	こ。 健康診断、人間ドックで はでれの診療科で診療 指定を受けていない場合は、新旧両方のグル	等を行い、診療録の作成ま 録の作成または記載の追 合、「指定なし」と記入する 一プ指定先医療機関名を 合、「指定なし」と記入する	22.2 %6 7643 人 193 人 して計上する。 または記載の追加 加を行った場合、 1613 件 937 件 17 件 いいえ (はい/いい) はにはい (はい/いい)	213 214 215 216 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 227 227 228 229 230 221 222 233 224 225 227 227 228 229	
① 患者数等(期間:令和5年1月1日~12月31日) 年間入院患者延べ数※1 年間入院患者延べ数※2 年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数に当めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数と3 年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合は ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断: ※3 年間外来がん患者の延べ数を記入する。同一患者が2 それぞれの外来患者として計上する。 ② 検査等の実施状況 ア 病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月31 病理組織診断 病理組織診断 病理組織過酸鏡検査 7)グループ指定について ①地域がん診療病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合わ入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合わ入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合わ入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合わ入すること。	されたものについて計上することがん患者及び往診、巡回診療、2つ以上の診療科を受診し、それの対象を受診し、それの対象を受診し、それの対象を表しません。グループではが変更される予定がある場合のせが変更される予定がある場合の	こ。 健康診断、人間ドックで はでれの診療科で診療 指定を受けていない場合は、新旧両方のグル 指定を受けていない場合は、新旧両方のグル	等を行い、診療録の作成ま 録の作成または記載の追 合、「指定なし」と記入する 一プ指定先医療機関名を 場合、「指定なし」と記入する 一ブ指定先医療機関名を	22.2 %6 7643 人 193 人 して計上する。 または記載の追加 加を行った場合、 1613 件 937 件 17 件 いいえ (はい/いい) はにはい (はい/いい)	213 214 215 216 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 \$\bar{z}\$\) 226 227 \$\bar{z}\$\) 228 229 230 231 232	
① 患者数等(期間:令和5年1月1日~12月31日) 年間入院患者延べ数※1 年間入院患者延べ数※2 年間入院患者延べ数※3 年間外来がん患者延べ数※3 年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合は※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再来を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者が2 それぞれの外来患者として計上する。 ② 検査等の実施状況 ア 病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月31病理組織診断病理組織診断病理組織過失査 ② がん診療病院とグループ指定を受けている。 グループ指定について ①地域がん診療病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合れ入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合れ入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。	されたものについて計上することがん患者及び往診、巡回診療、2つ以上の診療科を受診し、それ2つ以上の診療科を受診し、それ5つせが変更される予定がある場合が変更される予定がある場合のせが変更される予定がある場合のせが変更される予定がある場合のせが変更される予定がある場合の	こ。 健康診断、人間ドックで はでれの診療科で診療 指定を受けていない場合は、新旧両方のグル 指定を受けていない場合は、新旧両方のグル	等を行い、診療録の作成ま 録の作成または記載の追 合、「指定なし」と記入する 一プ指定先医療機関名を 場合、「指定なし」と記入する 一ブ指定先医療機関名を	22.2 %6 7643 人 193 人 して計上する。 または記載の追加 加を行った場合、 1613 件 937 件 17 件 いいえ (はい/いい) はにはい (はい/いい)	213 214 215 216 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 227 227 228 229 230 221 222 233 224 225 227 227 228 229	
① 患者数等(期間:令和5年1月1日~12月31日) 年間入院患者延べ数※1 年間入院患者延べ数※2 年間入院患者延べ数※3 年間内来がん患者延べ数※3 年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合に※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断・※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再来を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者がそれぞれの外来患者として計上する。 ② 検査等の実施状況 ア 病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月31病理組織診断病理組織診断病理組織迅速組織顕微鏡検査 ② がん診療病院とグループ指定を受けている。 グループ指定について ①地域がん診療病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定先の医療機となお、令和7年4月1日時点でグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合わ入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合わ入すること。 3)各治療の状況について 手術等の状況 大腸がん・肺がん・胃がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が、大腸がん・肺がん・胃がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が、大腸がん・肺がん・胃がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が、大腸がん・肺がん・胃がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が、大腸がん・肺がん・胃がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が、大腸がん・肺がん・胃がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が、大腸がん・肺がん・胃がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が、大腸がん・肺がん・胃がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が、大腸がん(C18\$、C19、C20、D01.0、D01.1、D01.2)の意間腹手術 K7193、K739\$、K740\$	されたものについて計上することがん患者及び往診、巡回診療、2つ以上の診療科を受診し、それ2つ以上の診療科を受診し、それ5つせが変更される予定がある場合が変更される予定がある場合のせが変更される予定がある場合のせが変更される予定がある場合のせが変更される予定がある場合の	こ。 健康診断、人間ドックで はでれの診療科で診療 指定を受けていない場合は、新旧両方のグル 指定を受けていない場合は、新旧両方のグル	等を行い、診療録の作成ま 録の作成または記載の追 合、「指定なし」と記入する 一プ指定先医療機関名を 場合、「指定なし」と記入する 一ブ指定先医療機関名を	22.2 % 7643 人 193 人 して計上する。 または記載の追加 加を行った場合、 1613 件 937 件 17 件 いいえ (はい/いい るこ 指定なし はい (はい/いい るこ 久留米大学病院	213 214 215 216 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 226 227 228 229 230 221 229 230 231 232 232 233	
① 患者数等(期間:令和5年1月1日~12月31日) 年間入院患者延べ数※1 年間入院患者延べ数※2 年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数※3 年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合は ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断: ※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再来を行つたがん患者の延べ数を記入する。同一患者がそれぞれの外来患者として計上する。 ② 検査等の実施状況 ア 病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月31病理組織診断病理組織診断病理組織過機鏡検査 のグループ指定について ①地域がん診療病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定先の医療機と。なお、令和7年4月1日時点でグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定をの組み合わ入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定をの組み合わ入すること。 ③ ③ (2) がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 がループ指定を受けている場合、ゲループ指定を受けている。 がループ指定を受けている場合、ゲループ指定の組み合わ入すること。 (3) 各治療の状況について 手術等の状況 大腸がん・肺がん・胃がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が、大腸がん・肺がん・胃がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が、大腸がん・肺がん・胃がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が、大腸がん・肺がん・胃がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が、大腸がん・肺がん・胃がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が、大腸がん・下の状況 大腸がん(C18\$、C19、C20、D01.0、D01.1、D01.2)の時間度手術 K7193、K739\$、K740\$ 腹腔鏡下手術 K719-3、K740-2\$	されたものについて計上することがん患者及び往診、巡回診療、2つ以上の診療科を受診し、それの対象を受診し、それの対象を受診し、それの対象を受診し、それの対象を表しています。グループである場合が変更される予定がある場合が変更される予定がある場合の世が変更される予定がある場合の世が変更される予定がある場合の世が変更される予定がある場合の世が変更される予定がある場合の世が変更される予定がある場合の世が変更される予定がある場合の世が変更される予定がある場合の世界を表しています。	こ。 健康診断、人間ドックで はでれの診療科で診療 指定を受けていない場合は、新旧両方のグル 指定を受けていない場合は、新旧両方のグル	等を行い、診療録の作成ま 録の作成または記載の追 合、「指定なし」と記入する 一プ指定先医療機関名を 場合、「指定なし」と記入する 一ブ指定先医療機関名を	22.2 %6 7643 人 193 人 して計上する。 または記載の追加 加を行った場合、 1613 件 937 件 17 件 にいえ (はい/いい) るこ 指定なし はい (はい/いい) るこ 久留米大学病院	213 214 215 216 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 227 227 228 229 230 231 232 233 234 235 236	
① 患者数等(期間:令和5年1月1日~12月31日) 年間入院患者延べ数※1 年間入院患者延べ数※2 年間入院患者延べ数※3 年間所内死亡がん患者延べ数※3 年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合は※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断・※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再来を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者がそれぞれの外来患者として計上する。 ② 検査等の実施状況 ア 病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月31病理組織診断病理組織迅速組織顕微鏡検査 のグループ指定について ①地域がん診療病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定たの医療機と。なお、令和7年4月1日時点でグループ指定の組み合わ入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定たの医療機と。なお、令和7年4月1日時点でグループ指定をの組み合わ入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 がループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合わ入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 がループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合わ入すること。 ③各治療の状況について 手術等の状況 大腸がん・肺がん・胃がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が、大腸がん・肺がん・胃がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が、大腸がん・肺がん・胃がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が、大腸がん・脂がん・胃がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が、大腸がん・肝腫体が、大腸がん・胃がん・乳がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が、大腸がん・肝腫体が、大腸がん・同りのに、ないのに、ないのに、ないのに、ないのに、ないのに、ないのに、ないのに、ない	されたものについて計上することがん患者及び往診、巡回診療、2つ以上の診療科を受診し、それの対象を受診し、それの対象を受診し、それの対象を受診し、それの対象を表しています。グループである場合が変更される予定がある場合が変更される予定がある場合の世が変更される予定がある場合の世が変更される予定がある場合の世が変更される予定がある場合の世が変更される予定がある場合の世が変更される予定がある場合の世が変更される予定がある場合の世が変更される予定がある場合の世界を表しています。	こ。 健康診断、人間ドックで はでれの診療科で診療 指定を受けていない場合は、新旧両方のグル 指定を受けていない場合は、新旧両方のグル	等を行い、診療録の作成ま 録の作成または記載の追 合、「指定なし」と記入する 一プ指定先医療機関名を 場合、「指定なし」と記入する 一ブ指定先医療機関名を	22.2 %6 7643 人 193 人 して計上する。 または記載の追加 加を行った場合、 1613 件 937 件 17 件 いいえ (はい/いい) るこ 指定なし はい (はい/いい) るこ 久留米大学病院 9 件 13 件 0 件	213 214 215 216 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 227 227 228 229 230 231 232 233 234 235 236 237	
① 患者数等(期間:令和5年1月1日~12月31日) 年間入院患者延べ数※1 年間入院患者延べ数※2 年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数※3 年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合は ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断: ※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再来を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者がそれぞれの外来患者として計上する。 ② 検査等の実施状況 ア 病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月31病理組織診断病理組織診断病理組織過機鏡検査 ②グループ指定について ①地域がん診療病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定先の医療機と。なお、令和7年4月1日時点でグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定をの組み合わ入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定をの組み合わ入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 がループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合わ入すること。 ③各治療の状況について 手術等の状況 大腸がん・肺がん・胃がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が、大腸がん・肺がん・胃がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が、大腸がん・肺がん・胃がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が、大腸がん・肺がん・胃がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が、大腸がん・肺がん・胃がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が、大腸がん・肺がん・胃がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が、大腸がん・肝腫がが、下間、K7193、K739\$、K740\$ 腹腔鏡下手術 K7193、K739\$、K740-2\$	されたものについて計上することがん患者及び往診、巡回診療、2つ以上の診療科を受診し、それの対象を受診し、それの対象を受診し、それの対象を受診し、それの対象を表しています。グループである場合が変更される予定がある場合が変更される予定がある場合の世が変更される予定がある場合の世が変更される予定がある場合の世が変更される予定がある場合の世が変更される予定がある場合の世が変更される予定がある場合の世が変更される予定がある場合の世が変更される予定がある場合の世界を表しています。	こ。 健康診断、人間ドックで はでれの診療科で診療 指定を受けていない場合は、新旧両方のグル 指定を受けていない場合は、新旧両方のグル	等を行い、診療録の作成ま 録の作成または記載の追 合、「指定なし」と記入する 一プ指定先医療機関名を 場合、「指定なし」と記入する 一ブ指定先医療機関名を	22.2 %6 7643 人 193 人 して計上する。 または記載の追加 加を行った場合、 1613 件 937 件 17 件 にいえ (はい/いい) るこ 指定なし はい (はい/いい) るこ 久留米大学病院	213 214 215 216 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 227 227 228 229 230 231 232 233 234 235 236	
① 患者数等(期間:令和5年1月1日~12月31日) 年間入院患者延べ数※1 年間入院患者延べ数※2 年間入院患者延べ数※3 年間所内死亡がん患者延べ数※3 年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合は※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断・※3 年間外来がん患者の延べ数を記入する。同一患者がそれぞれの外来患者として計上する。 ② 検査等の実施状況 ア 病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月31病理組織診断病理組織設断病理組織過速組織顕微鏡検査 ② 検査等の実施状況 ア 病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月31病理組織診断病理組織記速組織顕微鏡検査 ②がん診療病院とグループ指定を受けている。 グループ指定について ①地域がん診療病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合わ入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定先の医療機と。なお、令和7年4月1日時点でグループ指定たの医療機と。なお、令和7年4月1日時点でグループ指定の組み合わ入すること。 ②於ん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合わ入すること。 ②各治療の状況について 手術等の状況 大腸がん(C18\$、C19、C20、D01.0、D01.1、D01.2)の診験を適所をが、K7193、K739\$、K740\$ 腹腔鏡下手術 K7193、K739\$、K740\$ 腹腔鏡下手術 K7193、K7395、K740\$ 同腔鏡手術 K7193、K7395、K740-2\$ うち、内視鏡手術用支援機器を用いるもの(ロボ内視鏡手術 K721\$、K721~4、K739-2、K739-3 肺がん(C34\$、D02.2)の手術件数 開胸手術 K511\$、K514\$、K518\$	されたものについて計上することがん患者及び往診、巡回診療、2つ以上の診療科を受診し、それの対象を受診し、それの対象を受診し、それの対象を受診し、それの対象を表しています。グループである場合が変更される予定がある場合が変更される予定がある場合の世が変更される予定がある場合の世が変更される予定がある場合の世が変更される予定がある場合の世が変更される予定がある場合の世が変更される予定がある場合の世が変更される予定がある場合の世が変更される予定がある場合の世界を表しています。	こ。 健康診断、人間ドックで はでれの診療科で診療 指定を受けていない場合は、新旧両方のグル 指定を受けていない場合は、新旧両方のグル	等を行い、診療録の作成ま 録の作成または記載の追 合、「指定なし」と記入する 一プ指定先医療機関名を 場合、「指定なし」と記入する 一ブ指定先医療機関名を	22.2 % 7643 人 193 人 して計上する。 または記載の追加 加を行った場合、 1613 件 937 件 17 件 いいえ (はい/いい) るこ 指定なし はい (はい/いい) るこ 久留米大学病院 9 件 13 件 0 件 12 件	213 214 215 216 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 ₹) 226 227 228 229 230 231 232 233 234 235 236 237 238	
① 患者数等(期間:令和5年1月1日~12月31日) 年間入院患者延べ数※1 年間入院患者延べ数※2 年間入院患者延べ数※3 年間外来がん患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合に ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断: ※3 年間外来がん患者で数と、当年の新来、再来を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者が それぞれの外来患者として計上する。 ② 検査等の実施状況 ア 病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月31 病理組織診断 病理組織診 (単一プ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合わ入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定先の医療機と。なお、令和7年4月1日時点でグループ指定の組み合わ入すること。 ③各治療の状況について 手術等の状況 大腸がん(に18、C19、C20、D01.0、D01.1、D01.2)の 原腹・手術 K7193、K739\$、K740~\$ 「財腹手術 K7193、K739\$、K740。 「関度手術 K7193、K739\$、K740。 「関度手術 K7193、K7394、K740。 「関度手術 K7193、K7395、K740。 「関度手術 K7193、K7395、K740。 「関連・手術 K7194、K739~2、K739~3 に対し、K721~4、K739~2、K739~3 に対し、K721~4、K739~2、K739~3 に対し、K721~4、K739~2、K739~3 に対し、K721~4、K739~2、K739~3 に対し、K514、K514、K514、K518 に対し、K514~2 に対し、K514、K518 に対し、K514~2 に対し、K514、K514、K518 に対し、K514~2 に対し、K514、K514、K514、K518 に対し、K514、K514、K514、K514、K518 に対し、K514~2 に対し、K514、K514、K514、K514、K514、K514、K514、K514	されたものについて計上することがん患者及び往診、巡回診療、2つ以上の診療科を受診し、それの対象を受診し、それの対象を受診し、それの対象を受診し、それの対象を表しませい。グループである場合がある場合がある。グループである。グループである。グループである。グループである。グループである。グループである。グループである。グループである。グループである。グループである。グループである。グループである。グループである。グループである。グループである。グループである。	こ。 健康診断、人間ドックで はでれの診療科で診療 指定を受けていない場合は、新旧両方のグル 指定を受けていない場合は、新旧両方のグル	等を行い、診療録の作成ま 録の作成または記載の追 合、「指定なし」と記入する 一プ指定先医療機関名を 場合、「指定なし」と記入する 一ブ指定先医療機関名を	22.2 %6 7643 人 193 人 して計上する。 または記載の追加 加を行った場合、 1613 件 937 件 17 件 いいえ (はい/いい) るこ 指定なし はい (はい/いい) るこ 名	213 214 215 216 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 226 227 228 229 230 231 232 233 234 235 236 237 238 239 240 241	
① 患者数等(期間:令和5年1月1日~12月31日) 年間入院患者延べ数※1 年間入院患者延べ数※2 年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合は ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断: ※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再来を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者が2それぞれの外来患者として計上する。 ② 検査等の実施状況 ア 病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月31病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織過速組織顕微鏡検査 ⑦グルーブ指定について ①地域がん診療病院とグループ指定を受けている。 グルーブ指定について ①地域がん診療病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合わ入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合わ入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 「クループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合わること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 カスキュニと。 ③各治療の状況について 手術等の状況 大腸がん・間がん・胃がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が、大腸がん・に18歳、C19、C20、D01・0、D01・1、D01・2)の意味を表別を治療の状況 「大腸がん(C184、C19、C20、D01・0、D01・1、D01・2)の意味を表別では、下21、K740-2、方ち、内視鏡手術 K719-3、K740・2、方ち、内視鏡手術 K719-3、K740・2、方ち、内視鏡手術 K711、K721・4、K739-2、K739-3 肺がん(C344、D02.2)の手術件数 関胸手術 K5114、K5145、K5185 胸腔鏡下手術 K514-24。方ち、内視鏡手術用支援機器を用いるもの(ロボ	されたものについて計上することがん患者及び往診、巡回診療、2つ以上の診療科を受診し、それの対象を受診し、それの対象を受診し、それの対象を受診し、それの対象を表しませい。グループである場合がある場合がある。グループである。グループである。グループである。グループである。グループである。グループである。グループである。グループである。グループである。グループである。グループである。グループである。グループである。グループである。グループである。グループである。	こ。 健康診断、人間ドックで はでれの診療科で診療 指定を受けていない場合は、新旧両方のグル 指定を受けていない場合は、新旧両方のグル	等を行い、診療録の作成ま 録の作成または記載の追 合、「指定なし」と記入する 一プ指定先医療機関名を 場合、「指定なし」と記入する 一ブ指定先医療機関名を	22.2 % 7643 人 193 人 して計上する。 または記載の追加 加を行った場合、 1613 件 937 件 17 件 いいえ (はい/いい) るこ 指定なし はい (はい/いい) るこ 久留米大学病院 9 件 13 件 0 件 12 件	213 214 215 216 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 20 227 228 229 230 221 222 233 224 225 230 231 232 233 234 235 236 237 238 239 240 241 242	
① 患者数等(期間:令和5年1月1日~12月31日) 年間入院患者延べ数※1 年間入院患者延べ数※2 年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数に当めるがん患者の割合 年間外来がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合は ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断 ※3 年間外来がん患者の延べ数は、当年の新来、再来を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者が それぞれの外来患者として計上する。 ② 検査等の実施状況 ア 病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月31 病理組織診断 病理組織診断 病理組織診断 病理組織診断 病理組織過速組織顕微鏡検査 プグループ指定について ①地域がん診療病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合わ入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合わ入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合わ入すること。 ③ がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合わ入すること。 ③ おふの状況について 手術等の状況 大腸がん(C18%、C19、C20、D01.0、D01.1、D01.2)の ・ 開腹手術 K7193、K739%、K740~2%	されたものについて計上することがん患者及び往診、巡回診療、2つ以上の診療科を受診し、それの対象を受診し、それの対象を受診し、それの対象を受診し、それの対象を表しませい。グループである場合がある場合がある。グループである。グループである。グループである。グループである。グループである。グループである。グループである。グループである。グループである。グループである。グループである。グループである。グループである。グループである。グループである。グループである。	こ。 健康診断、人間ドックで はでれの診療科で診療 指定を受けていない場合は、新旧両方のグル 指定を受けていない場合は、新旧両方のグル	等を行い、診療録の作成ま 録の作成または記載の追 合、「指定なし」と記入する 一プ指定先医療機関名を 場合、「指定なし」と記入する 一ブ指定先医療機関名を	22.2 %6 7643 人 193 人 して計上する。 または記載の追加 加を行った場合、 1613 件 937 件 17 件 いいえ (はい/いい) るこ 指定なし はい (はい/いい) るこ 名	213 214 215 216 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 226 227 228 229 230 231 232 233 234 235 236 237 238 239 240 241	
① 患者数等 (期間: 令和5年1月1日~12月31日) 年間入院患者延べ数※1 年間入院患者延べ数※2 年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数は、3年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合は ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断: ※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再来を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者が2 それぞれの外来患者として計上する。 ② 検査等の実施状況 ア 病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月31 病理組織診断 病理組織迅速組織顕微鏡検査 のグループ指定について ①地域がん診療病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合わる人すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合わるようること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合わること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 がループ指定をの医療機と。なお、令和7年4月1日時点でグループ指定の組み合わるした。なお、令和7年4月1日時点でグループ指定の組み合わるすること。 ③各治療の状況について 手術等の状況 大腸がん・肺がん・胃がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が、大腸がん・肺がん・胃がん・乳がん・利力に、D01.2)の三腺腹手術 K7193、K739\$、K740\$ 腹腔鏡下手術 K719-3、K740-2\$ うち、内視鏡手術用支援機器を用いるもの(ロボ内視鏡手術 K511\$、K511\$、K514\$、K518\$ 胸腔鏡下手術 K514-2\$ うち、内視鏡手術用支援機器を用いるもの(ロボ胃がん(C16\$、D00.2)の手術件数 開腹手術 K654-2、K655-22、K655-42、K6572 腹腔鏡下手術 K654-3、K655-22、K655-52、K65-52、K655-52、K655-52、K655-52、K65-52、K65-52、	されたものについて計上することがん患者及び往診、巡回診療、2つ以上の診療科を受診し、それの対象を受診し、それの対象を記入すること。グループではが変更される予定がある場合のせが変更される予定がある場合のせが変更される予定がある場合を記入すること。グループである。サループでは、サループである。サループでは、サ	注。 健康診断、人間ドックで記述れの診療科で診療 指定を受けていない場合は、新旧両方のグル 指定を受けていない場合は、新旧両方のグル	等を行い、診療録の作成ま 録の作成または記載の追 合、「指定なし」と記入する 一プ指定先医療機関名を 合、「指定なし」と記入する 一プ指定先医療機関名を 12月31日)	22.2 % 7643 人 193 人 して計上する。 または記載の追加 加を行った場合、 1613 件 937 件 17 件 CNNえ (はい/いい) るこ 指定なし はい (はい/いい) るこ 久留米大学病院 9 件 13 件 0 件 12 件 0 件 0 件 0 件 0 件 0 件 0 件	213 214 215 216 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 ₹) 226 227 228 229 230 231 232 233 234 235 236 237 238 239 240 241 242 243	
① 患者数等(期間:令和5年1月1日~12月31日) 年間入院患者延べ数※1 年間入院患者延べ数※2 年間入院患者延べ数※3 年間院内死亡がん患者延べ数※3 年間院内死亡がん患者が当月中に2回入院した場合は ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断 ※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再来を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者が それぞれの外来患者として計上する。 ② 検査等の実施状況 ア 病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月31 病理組織診断 病理組織診断 病理組織設断 病理組織がある。 河グループ指定について ① 地域がん診療病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合わ入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合わ入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 「カループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合わ入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 がループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合わ入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 がループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合わ入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 がループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合わ入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 「カループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合わ入すること。 ②がし診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 「カループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合わ入すること。 ②がよりには、下の、では、下の、では、下の、では、下の、では、下の、では、下の、では、下の、では、下の、下の、下の、下の、下の、下の、下の、下の、下の、下の、下の、下の、下の、	されたものについて計上することがん患者及び往診、巡回診療、2つ以上の診療科を受診し、それの対象を受診し、それの対象を記入すること。グループではが変更される予定がある場合のせが変更される予定がある場合のせが変更される予定がある場合を記入すること。グループである。サループでは、サループである。サループでは、サ	注。 健康診断、人間ドックで記述れの診療科で診療 指定を受けていない場合は、新旧両方のグル 指定を受けていない場合は、新旧両方のグル	等を行い、診療録の作成ま 録の作成または記載の追 合、「指定なし」と記入する 一プ指定先医療機関名を 合、「指定なし」と記入する 一プ指定先医療機関名を 12月31日)	22.2 %6 7643 人 193 人 して計上する。 または記載の追加 加を行った場合、 1613 件 937 件 17 件 CNいえ (はい/いい) るこ 指定なし はい (はい/いい) るこ 名	213 214 215 216 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 226 227 227 228 229 230 231 232 233 234 235 236 237 238 239 240 241 242 243 244 245 246	
① 患者数等(期間:令和5年1月1日~12月31日) 年間入院患者延べ数※1 年間入院患者延べ数※2 年間入院患者延べ数※3 年間院内死亡がん患者延べ数※3 年間院内死亡がん患者が当月中に2回入院した場合は ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断 ※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再来を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者が会れでから患者の延べ数を記入する。同一患者が会れでかけ、患者の近で数を記入する。同一患者が会れでかけ、患者の世で数を記入する。同一患者が会れでいた。 ② 検査等の実施状況 ア 病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月31病理組織診断病理組織診断病理組織認速組織顕微鏡検査 「グループ指定について ①地域がん診療病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合れ入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合れ入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合れ入すること。 ③各治療の状況について 手術等の状況 大腸がん(こ18、こ19、こ20、D01.0、D01.1、D01.2)の手術等の状況 大腸がん(こ18、こ19、こ20、D01.0、D01.1、D01.2)の手術等の状況 大腸がん(こ18、こ19、こ20、D01.0、D01.1、D01.2)の手術等の状況 大腸がん(こ18、C19、こ20、D01.0、D01.1、D01.2)の手術等の状況 大腸がん(こ18、C19、こ20、D01.0、D01.1、D01.2)の手術の状況 大腸がん(こ18、C19、こ20、D01.0、D01.1、D01.2)の手腕がの状況について 手術等の状況 大腸がん(こ18、C19、こ20、D01.0、D01.1、D01.2)の手腕がの状況 大腸がん(こ18、C19、こ20、D01.0、D01.1、D01.2)の手腕がの状況 「大腸がん(こ18、D01.1、K514、K518、D01.2)の手術件数関節手術 K711、K514、K518、D01.2)の手術件数関節手術 K511、K514、K518、D01.2)の手術件数開診下手術 K514-2、K655-2、K655-52、K65方、内視鏡手術 K654-3、K655-2、K655-52、K65方ち、腹腔鏡下手術 K654-3、K655-2、K65万2、腹腔鏡下手術 K654-3、K655-2、K65方5、皮腔鏡下手術 K654-3、K655-2、K65万-52、K65方5、腹腔鏡下手術 K654-3、K655-2、K65万-52、K65方5、腹腔鏡下手術 K654-3、K655-2、K65万-52、K65方ち、腹腔鏡下手術 K654-3、K655-2、K65万-52、K65方ち、腹腔鏡下手術 K654-3、K655-2、K65万-52、K65方ち、腹腔鏡下手術 K654-3、K655-2、K65万-52、K65万-52、K65万方、腹腔鏡下手術 K654-3、K655-2、K65万-52、K65万-52、K65万方、腹腔鏡下手術 K654-3、K655-2、K65万-52、	されたものについて計上することがん患者及び往診、巡回診療、2つ以上の診療科を受診し、それの対象を受診し、それの対象を記入すること。グループではが変更される予定がある場合のせが変更される予定がある場合のせが変更される予定がある場合を記入すること。グループである。サループでは、サループである。サループでは、サ	注。 健康診断、人間ドックで記述れの診療科で診療 指定を受けていない場合は、新旧両方のグル 指定を受けていない場合は、新旧両方のグル	等を行い、診療録の作成ま 録の作成または記載の追 合、「指定なし」と記入する 一プ指定先医療機関名を 合、「指定なし」と記入する 一プ指定先医療機関名を 12月31日)	22.2 %6 7643 人 193 人 して計上する。 または記載の追加 加を行った場合、 1613 件 937 件 17 件 CNUえ (はい/いい) るこ 指定なし はい (はい/いい) るこ 名記 久留米大学病院 9 件 13 件 0 件 12 件 0 件 0 件 0 件 0 件 0 件 0 件 0 件 0 件	213 214 215 216 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 2) 227 228 229 230 231 232 233 234 235 236 237 238 239 240 241 242 243 244 245 246 247	
① 患者数等(期間:令和5年1月1日~12月31日) 年間入院患者延べ数※1 年間入院患者延べ数※2 年間入院患者延べ数※3 年間院内死亡がん患者延べ数※3 年間院内死亡がん患者が当月中に2回入院した場合は ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断 ※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再来を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者が それぞれの外来患者として計上する。 ② 検査等の実施状況 ア 病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月31 病理組織診断 病理組織診断 病理組織設断 病理組織がある。 河グループ指定について ① 地域がん診療病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合わ入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合わ入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 「カループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合わ入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 がループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合わ入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 がループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合わ入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 がループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合わ入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 「カループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合わ入すること。 ②がし診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 「カループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合わ入すること。 ②がよりには、下の、では、下の、では、下の、では、下の、では、下の、では、下の、では、下の、では、下の、では、下の、下の、下の、下の、下の、下の、下の、下の、下の、下の、下の、下の、下の、	されたものについて計上することがん患者及び往診、巡回診療、2つ以上の診療科を受診し、それの対象を受診し、それの対象を記入すること。グループではが変更される予定がある場合のせが変更される予定がある場合のせが変更される予定がある場合を記入すること。グループである。サループでは、サループである。サループでは、サ	注。 健康診断、人間ドックで記述れの診療科で診療 指定を受けていない場合は、新旧両方のグル 指定を受けていない場合は、新旧両方のグル	等を行い、診療録の作成ま 録の作成または記載の追 合、「指定なし」と記入する 一プ指定先医療機関名を 合、「指定なし」と記入する 一プ指定先医療機関名を 12月31日)	22.2 %6 7643 人 193 人 して計上する。 または記載の追加 加を行った場合、 1613 件 937 件 17 件 CNいえ (はい/いい) るこ 指定なし はい (はい/いい) るこ 名	213 214 215 216 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 226 227 227 228 229 230 231 232 233 234 235 236 237 238 239 240 241 242 243 244 245 246	
① 患者数等(期間:令和5年1月1日~12月31日) 年間入院患者延べ数※1 年間入院患者延べ数※2 年間入院患者延べ数※3 年間内院患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数※3 年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合は ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断 ※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再来を行つたがん患者の延べ数を記入する。同一患者が それぞれの外来患者として計上する。 ② 検査等の実施状況 ア 病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月31 病理組織診断 病理組織迅速組織顕微鏡検査 のグループ指定について ①地域がん診療病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合わる。なお、令和7年4月1日時点でグループ指定の組み合わる。なお、令和7年4月1日時点でグループ指定の組み合わる。なお、令和7年4月1日時点でグループ指定の組み合わる。 がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グルプ指定を受けている場合、グループ指定の組み合わる。 がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 がんにおいたのにのでが、プループによりのによりのである。 がんにおいたのに対して、大腸がんのに対して、大腸がんのに対して、大腸がんのに対して、大腸がんのに対して、大腸がんのに対して、大腸がんのに対して、大腸がんのに対して、大腸がんのに対して、大腸がんのに対して、大腸がんのに対して、大腸がんのは対して、大腸がんのは対しで、大腸がんのは対しで、大腸がんのは対して、大変に対し、大変に対して、大変に対して、大変に対して、大変に対して、大変に対し、大変に対し、大変に対し、大変に対し、大変に対し、大変に対し、大変に対して、大変に対し、大変に	されたものについて計上することがん患者及び往診、巡回診療、2つ以上の診療科を受診し、それの対象を受診し、それの対象を記入すること。グループではが変更される予定がある場合のせが変更される予定がある場合のせが変更される予定がある場合を記入すること。グループである。サループでは、サループである。サループでは、サ	注。 健康診断、人間ドックで記述れの診療科で診療 指定を受けていない場合は、新旧両方のグル 指定を受けていない場合は、新旧両方のグル	等を行い、診療録の作成ま 録の作成または記載の追 合、「指定なし」と記入する 一プ指定先医療機関名を 合、「指定なし」と記入する 一プ指定先医療機関名を 12月31日)	22.2 %6 7643 人 193 人 して計上する。 または記載の追加 加を行った場合、 1613 件 937 件 17 件 いいえ (はい/いい) るこ	213 214 215 216 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 20 227 228 229 230 221 222 233 224 225 233 224 225 230 231 232 233 234 235 236 237 238 239 240 241 242 243 244 245 246 247 248	
① 患者数等(期間:令和5年1月1日~12月31日) 年間入院患者延べ数※1 年間入院患者延べ数※2 年間入院患者延べ数※3 年間院内死亡が心患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合は ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断 ※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再来を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者が それぞれの外来患者として計上する。 ② 検査等の実施状況 ア 病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月31 病理組織診断 病理組織設定組織顕微鏡検査 7)グループ指定について ①地域がん診療病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合わ入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合わ入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 がループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合わ入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 がループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合わ入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 がループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合わ入すること。 ③各治療の状況について 手術等の状況 大腸がん(こ18、C19、C20、D01.0、D01.1、D01.2)の説開腹手術 K7193、K7395、K740\$ 腹腔鏡下手術 K7193、K7395、K740\$ 腹腔鏡下手術 K7193、K739-3、K740-2\$ うち、内視鏡手術用支援機器を用いるもの(ロボー内視鏡手術 K511\$、K514\$、K518\$ 胸腔鏡下手術 K514-2\$ うち、内視鏡手術用支援機器を用いるもの(ロボー関がん(C16\$、D00.2)の手術件数 開腹手術 K654-2、K655-2、K655-52、K65方 たり視鏡手術 和膜切除術(EMR)K6531 内視鏡手術 粘膜切除術(EMR)K6531 内視鏡手術 粘膜切除術(EMR)K6531 内視鏡手術 粘膜切除術(EMR)K6531 内視鏡手術 粘膜切除衛(EMR)K6531	されたものについて計上することがん患者及び往診、巡回診療、2つ以上の診療科を受診し、それの対象を受診し、それの対象を記入すること。グループではが変更される予定がある場合のせが変更される予定がある場合のせが変更される予定がある場合を記入すること。グループである。サループでは、サループである。サループでは、サ	注。 健康診断、人間ドックで記述れの診療科で診療 指定を受けていない場合は、新旧両方のグル 指定を受けていない場合は、新旧両方のグル	等を行い、診療録の作成ま 録の作成または記載の追 合、「指定なし」と記入する 一プ指定先医療機関名を 合、「指定なし」と記入する 一プ指定先医療機関名を 12月31日)	22.2 %6 7643 人 193 人 人 193 人 人 人 人 人 人 人 人 人	213 214 215 216 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 2 227 228 229 230 221 222 233 240 231 232 233 234 235 236 237 238 239 240 241 242 243 244 245 246 247 248 249	

3/44

様式4(全般事項)

乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術 K474-3\$		1.1	253	~
乳房再建術(乳房切除後) 二次的に行うもの K476-32	0	件	254	~
前立腺がん(C61)の手術件数			255	
開腹手術 K843	0	• •	256	~
腹腔鏡下手術 K843-2、K843-4	0	件	257	~
うち、腹腔鏡下手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの(ロボット支援手術)) K843-4□	0	件	258	~
肝臓がん(C22\$、D01.5)の手術件数	<u> </u>		259	
開腹手術 K695\$	3	件	260	~
腹腔鏡下手術 K695-2\$	0		261	
うち、内視鏡手術用支援機器を用いるもの(ロボット支援手術)	0		262	
マイクロ波凝固法 K697-2\$	0		263	
ラジオ波焼灼療法 K697-3\$	11		264	
胆のうがん(C23)の手術件数			265	
開腹手術 K675\$		• •	266	~
腹腔鏡下手術 K675-2	0	件	267	~
胆管がん(C240、C241、C248、C249)の手術件数			268	
開腹手術 K677、K677-2	0	件	269	~
膵臓がん(C250、C251、C252、C253、C254、C257、C258、C259)の手術件数			270	
開腹手術 K700-2、K702\$、K704	0		271	
腹腔鏡下手術 K700-3、K702-2\$、K703-2\$			272	
			<u> </u>	<u> </u>
	U		273	
線治療の状況			274	
以下、放射線治療件数に関する項目は、必ず放射線治療責任医師の確認を取って記入すること。			275	
≧てのがんを対象としたのべ患者数 (令和5年1月1日~12月31日の間に放射線治療を開始した患者数)			276	
体外照射	0	人	277	V
定位照射(脳)	0	Д	278	~
定位照射(体幹部)	0	人	279	~
強度変調放射線治療(IMRT)	0	Τ	280	~
粒子線治療(重粒子線、陽子線治療)	0	-	281	
密封小線源治療	0		282	
		* *	<u> </u>	
	0		283	
はが国に多いがんを対象としたのべ患者数 (令和5年1月1日~12月31日の間に放射線治療を開始した <u>患者数)</u>			284	
※原発巣に記載してください。			285	
肺がん	0	人	286	~
胃がん	0	人	287	~
肝がん	0	人	288	~
大腸がん	0	人	289	~
胆のう・胆管がん	0	J	290	~
膵臓がん	0		291	
乳がん	0		292	
			_	
前立腺がん	0	* *	293	
ケアチームに対する新規診療症例の状況(重複可)(令和5年1月1日~12月31日) 			294	
P体症状の緩和を行った症例数	53		295	
情神症状の緩和を行った症例数	20		296	
t会的苦痛に対する緩和を行った症例数	28	人	297	V
設で実施したがんの治療に際する妊孕性温存治療の状況(令和5年1月1日~12月31日)			298	
べんの治療に際する妊孕性温存目的で精子凍結を行った患者の人数	0	人	299	
上記のうち、精巣内精子採取術(Onco-TESE)を行った患者の人数	0		300	
では、1975年代の日本の一般では、1975年の1975年の1975年では、1975年の1975年では、1975年の	0		301	<u> </u>
『他の治療に除する妊孕性温存目的で、受精卵」の深格保存を行った患者の人数 『他の治療に際する妊孕性温存目的で受精卵(胚)の凍結保存を行った患者の人数	0		302	
、んの治療に除する妊孕性温存目的で受精卵(胚)の凍結体存を行った患者の人数 、んの治療に際する妊孕性温存目的で卵巣組織の凍結保存を行った患者の人数			303	
ツルカスに原する好子は通行目的で卵未租職の保証体件で11つに思名の人数	0	-		
ウックル 10 15 ウェール ファウル ナル カルカル・ナル ファファン			304	
患者の造血器腫瘍に対する自家造血幹細胞移植を自施設で行う体制を有している。	いいえ		305	
患者の造血器腫瘍に対する同種造血幹細胞移植を自施設で行う体制を有している。	いいえ		306	
患者の造血器腫瘍に対するCAR-T療法を自施設で行う体制を有している。	いいえ	(はい/いいえ)	307	~
			308	
見がん患者への対応について			309	
学級を開催している(院内学級とは、ここでは院内に設置された小・中学特別支援学級、特別支援学校を指す)。	いいえ	(はい/いいえ)	310	
い児がん患者と家族が利用できる宿泊施設を院内に整備している。	いいえ		311	
	いいえ	,	312	
)児かん中名と家族が利用(さん行:1)施設を帰れ、参幅していた。			312	
	U	,,		
、児かん患者と家族が利用できる信泊施設を院外に整備している。 小児がん患者と家族が利用できる院外の最寄宿泊施設院から自施設までの移動時間(該当施設がない場合にはOを記入)			314	
小児がん患者と家族が利用できる院外の最寄宿泊施設院から自施設までの移動時間(該当施設がない場合にはOを記入)				
小児がん患者と家族が利用できる院外の最寄宿泊施設院から自施設までの移動時間(該当施設がない場合にはOを記入) の他の施設について			315	
小児がん患者と家族が利用できる院外の最寄宿泊施設院から自施設までの移動時間(該当施設がない場合にはOを記入)の他の施設について 治療室を設置している。	はい	(はい/いいえ)	315 316	
N児がん患者と家族が利用できる宿泊施設を院外に整備している。		(はい/いいえ)	_	<i>V</i>

_ 1			
2	2 医療機関名	一般社団法人 朝倉医師会 朝倉医師会病院	
3	推薦類型	地域がん診療病院	
4	4 令和6年9月時点指定類型	地域がん診療病院	[
7	5 【記入箇所】 都道府県がん診療連携拠点病 地域がん診療連携拠点病院 特定領域がん診療連携拠点 也域がん診療連携拠が 地域がん診療病院	: I (※特定機能病院である場合には、Ⅲにも回答すること。)	【凡例】 A:必須要件 B:望ましい(*) C:望ましい A:必須要件 C:望ましい:参考(左記の記入箇所に該当しない部分は回答不要) -:参考(左記の記入箇所に該当しない部分は回答不要)
1	1 指針の箇所	要件	要件区分 令和6年9月1 備考欄

LOST		而 IL	75 /J == 1	令和6年9月1	Mt. 45 100
		要件 現病院の指定要件について	要件区分	令和6年9月1 日時点の状況	備考欄
1 都道府	守県協議会に	こおける役割 各都道府県の他の拠点病院等と協働して都道府県協議会を設置し、その運営に主体的に参画している。	-		
		その際、各がん医療圏におけるがん医療の質を向上させるため、当該がん医療圏を代表して都道府県協議会の運営にあたるとともに、都道 府県協議会の方針に沿って各がん医療圏におけるがん医療が適切に提供されるよう努めている。	-		
	疹療機能				
	① 集学的	台療等の提供体制及び標準的治療等の提供 我が国に多いがん(大腸がん、肺がん、胃がん、乳がん、前立腺がん及び肝・胆・膵のがんをいう。以下同じ。)を中心にその他各医療機関が			
	ア	専門とするがんについて、手術、放射線治療及び薬物療法を効果的に組み合わせた集学的治療、リハビリテーション及び緩和ケア(以下「集学的治療等」という。)を提供する体制を有するとともに、各学会の診療ガイドラインに準ずる標準的治療(以下「標準的治療」という。)等がん患	-		別紙2に詳細を記載してください。
		者の状態に応じた適切な治療を提供している。 我が国に多いがんの中でも症例の集約化により治療成績の向上が期待されるもの等、当該施設において集学的治療等を提供しない場合に	_		
	1 <u></u>	は、適切な医療に確実につなげることができる体制を構築している。 医師からの診断結果や病状の説明時及び治療方針の決定時等には、以下の体制を整備している。	_		777 N.C. O. C. D. A.C. C.
	<u> _ i</u>	患者とその家族の希望を踏まえ、看護師や公認心理師等が同席している。 治療プロセス全体に関して、患者とともに考えながら方針を決定している。			
	ウ iii	標準治療として複数の診療科が関与する選択肢がある場合に、その知見のある診療科の受診ができる体制を確保している。 がん患者の病態に応じたより適切ながん医療を提供できるよう、以下のカンファレンスをそれぞれ必要に応じて定期的に開催している。	-		
	i	個別もしくは少数の診療科の医師を主体とした日常的なカンファレンス	-		各診療科で日常的に開催している場合は"はい"を選択しい。
	ii	個別もしくは少数の診療科の医師に加え、看護師、薬剤師、必要に応じて公認心理師や緩和ケアチームを代表する者等を加えた、症例への対 応方針を検討するカンファレンス	-		各診療科で日常的に開催している場合は"はい"を選択しい。
	iii	手術、放射線診断、放射線治療、薬物療法、病理診断及び緩和ケア等に携わる専門的な知識及び技能を有する医師とその他の専門を異にする医師等による、骨転移・原発不明がん・希少がんなどに関して臓器横断的にがん患者の診断及び治療方針等を意見交換・共有・検討・確認 等するためのカンファレンス	-		・一ヶ月当たりの開催回数を記載してください。(●回/月]
	iv	臨床倫理的、社会的な問題を解決するための、具体的な事例に則した、患者支援の充実や多職種間の連携強化を目的とした院内全体の多職	_		・一ヶ月当たりの開催回数を記載してください。(●回/月) ・別紙4に詳細を記載してください。
	i	種によるカンファレンス N のカンファレンスを月 1回以上開催している。 検討した内容について、診療録に記録の上、関係者間で共有している。			*が
	I	「院内の緩和ケアチーム、口腔ケアチーム、栄養サポートチーム、感染防止対策チーム等の専門チームへ、医師だけではなく、看護師や薬剤師等他の診療従事者からも介入依頼ができる体制を整備している。	-		別紙19に詳細を記載してください。
	オ	守地の必然化争者がらもガス依頼ができる体制を整備している。 保険適用外の免疫療法等について、治験、先進医療、臨床研究法(平成29年法律第16号)で定める特定臨床研究または再生医療等の安全性 の確保等に関する法律(平成25年法律第85号)に基づき提供される再生医療等の枠組み以外の形では、実施・推奨していない。	_		
		保険適用外の免疫療法等について、提供または推奨している場合は、上記のどの枠組みに該当するか明記すること。	_		
	2) 手術療法	(なお、提供または推奨していない場合は、「なし」と記入すること。) 法、放射線療法、薬物療法の提供体制の特記事項			
	7		-		
	1	術後管理体制の一環として、手術部位感染に関するサーベイランスを実施している。 「厚生労働省院内感染対策サーベイランス事業(JANIS)へ登録している。			
	ゥ	強度変調放射線治療を提供している。 外来での核医学治療 (RI内用療法)を提供している。			
	Ι	密封小線源治療について、地域の医療機関と連携し、役割分担している。 自施設で密封小線源治療に必要な放射線治療病室を整備している。	-		
	オ	専用治療病室を要する核医学治療(RI内用療法)や粒子線治療等の高度な放射線治療について、患者に情報提供を行うとともに、必要に応じて適切な医療機関へ紹介する体制を整備している。	-		
		RI内用療法に必要な放射線治療病室を整備している。 粒子線治療に必要な放射線治療設備を整備している。	1 1		
	カ	関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。 直近で実施した第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること。(YYYY/MM、例:202309)	-		
		測定機関名を記入すること。	_		
		基準線量の±5%の水準以内である。	-		
	キ	免疫関連有害事象を含む有害事象に対して、他診療科や他病院と連携する等して対応している。	-		
	ケ ③ 緩和ケフ	薬物療法のレジメンを審査し、組織的に管理する委員会を設置している。 Pの提供体制	-		
	ア	がん診療に携わる全ての診療従事者により、全てのがん患者に対し入院、外来を問わず日常診療の定期的な確認項目に組み込むなど頻回 に苦痛の把握に努め、必要な緩和ケアの提供を行っている。	-		
	1	がん患者の身体的苦痛や精神心理的苦痛、社会的な問題等の把握及びそれらに対する適切な対応を、 診断時から一貫して経時的に行っている。	-		
		診断や治療方針の変更時には、ライフステージ、就学・就労、経済状況、家族との関係性等、がん患者とその家族にとって重要な問題について、患者の希望を踏まえて配慮や支援ができるよう努めている。	-		
	ゥ ;	ア、イを実施するため、がん診療に携わる全ての診療従事者の対応能力を向上させることが必要であり、これを支援するために組織上明確に 位置付けられた緩和ケアチームにより、以下を提供するよう体制を整備している。 定期的に病棟ラウンド及びカンファレンスを行い、依頼を受けていないがん患者も含めて苦痛の把握に努めるとともに、適切な症状緩和につい	-	_	別紙8に詳細を記載してください。
	i	」に利用して、必要に応じて主体的に助言や指導等を行っている。 「(2)の②のウに規定する看護師は、苦痛の把握の支援や専門的緩和ケアの提供に関する調整等、外来・病棟の看護業務を支援・強化する役	-	_	別紙8に詳細を記載してください。
	l ii	注意	-		別紙8に詳細を記載してください。
	I	患者が必要な緩和ケアを受けられるよう、緩和ケア外来の設置などが来において専門的な緩和ケアを提供できる体制を整備している。 自施設のが心患者に限らず、他施設でが心診療を受けている、または受けていた患者についても受入れを行っている。			別紙5に詳細を記載してください。
		援和ケア外来等への患者紹介について、地域の医療機関に対して広報等を行っている。 医療用麻薬等の鎮痛薬の初回使用時や用量の増減時には、医師からの説明とともに薬剤師や看護師等により、外来・病棟を問わず医療用麻	_		
	オ	薬等を自己管理できるよう指導している。 その際には、自記式の服薬記録を整備活用している。			
	カ	院内の診療従事者と緩和ケアチームとの連携を以下により確保している。 緩和ケアチームへがん患者の診療を依頼する手順等、評価された苦痛に対する対応を明確化し、院内の全ての診療従事者に周知するととも			
		に、患者とその家族に緩和ケアに関する診療方針を提示している。 緩和ケアの提供体制について緩和ケアチームへ情報を集約するために、がん治療を行う病棟や外来部門に、緩和ケアチームと各部署をつな	_		リンクナース:医療施設において、各種専門チームや委員
	"	ぐ役割を担うリンクナースなどを配置している。	-		看護師等をつなぐ役割を持つ看護師をいう。 アドバンス・ケア・プランニング:人生の最終段階の医療・
	+	患者や家族に対し、必要に応じて、アドバンス・ケア・プランニングを含めた意思決定支援を提供できる体制を整備している。	-		いて、本人が家族等や医療・ケアチームと事前に繰り返し プロセスのこと。
	ク	アからキにより、緩和ケアの提供がなされる旨を、院内の見やすい場所での掲示や入院時の資料配布、ホームページ上の公開等により、がん 患者及び家族に対しわかりやすく情報提供を行っている。	-		
	ケ	かかりつけ医等の協力・連携を得て、主治医及び看護師が緩和ケアチームと共に、退院後の居宅における緩和ケアに関する療養上必要な説 明及び指導を行っている。	-		
	= -	疼痛緩和のための専門的な治療の提供体制等について、以下の通り確保している。 難治性疼痛に対する神経ブロック等について、自施設における麻酔科医等との連携等の対応方針を定めている。			<u>別紙7に詳細を記載してください。</u>
		自施設で実施が困難なために、外部の医療機関と連携して実施する場合には、その詳細な連携体制を確認している。	-		76行目・77行目のいずれかが"はい"の場合のみ、自動的 が選択されます。
		自施設で実施が可能である。 連携する外部の医療機関に患者を紹介して実施している。	-		
	ii ii	ホームページ等で、神経ブロック等の自施設における実施状況や連携医療機関名等、その実施体制について分かりやすく公表している。 緩和的放射線治療を患者に提供できる体制を整備している。		_	
		自施設の診療従事者に対し、緩和的放射線治療の院内での連携体制について周知していることに加え、連携する医療機関に対し、患者の受入れ等について周知している。	-		
	#	ホームページ等で、自施設におけるこれらの実施体制等について分かりやすく公表している。 全てのが心患者に対して苦痛の把握と適切な対応がなされるよう緩和ケアに係る診療や相談支援、患者からのPRO(患者報告アウトカム)、 医生界の患者とは、動きの経済などになる経済など、関係となった。	_		PRO: 自覚症状やQOLに関する対応の評価のために行う 観的な報告をまとめた評価のこと。
	小井井	医療用麻薬の処方量など、院内の緩和ケアに係る情報を把握し、検討・改善する場を設置している。 それを踏まえて自施設において組織的な改善策を講じる等、緩和ケアの提供体制の改善に努めている。 携の推進体制	_	-	説のな数百をまとめた計画のこと。
	ア	プログログログログ			
	i	様ペインの提供に関して、自然が心を振聞する機能が、ではて被がしたが、ここの影響が見ずのマングでストで下がする等、影響で その家族に対し常に地域の緩和ケア提供体制について情報提供できる体制を整備している。 希少がんに関して、専門家による適切な集学的治療が提供されるよう、他の拠点病院等及び地域の医療機関との連携及び情報提供ができる	-		
	<u>"</u>	本野が心に関して、等门家による廻りは来子的石家が提供されるよう。他の他は病院等及び地域の医療機関との連携家及が情報度供ができる 体制を整備している。 高齢のがん患者や障害を持つがん患者について、患者や家族の意思決定支援の体制を整え、地域の医療機関との連携等を図り総合的に支			
	iii	画面的のかの思有や障害を持つかん思有について、思有や家族の思志が定义援い体制を至え、思域の医療機関との連携等を図り総合的に文 接している。 介護施設に入居する高齢者ががんと診断された場合に、介護施設等と治療・緩和ケア・看取り等において連携する体制を整備している。			
	イウ	地域の医療機関の医師と診断及び治療に関する相互的な連携協力体制・教育体制を整備している。 当該が人医療圏内のが人診療に関する情報を集約し、当該が人医療圏内の医療機関やがん患者等に対し、情報提供を行っている。	-		
	I	当該かりに派遣けるがからかった。	-		別紙29に詳細を記載してください。
	オ	地域連携時には、がん疼痛等の症状が十分に緩和された状態での退院に努め、退院後も在宅診療の主治医等の相談に対応するなど、院内での緩和ケアに関する治療が在宅診療でも継続して実施できる体制を整備している。	_		
	カ	退院支援に当たっては、主治医、緩和ケアチーム等の連携により療養場所等に関する意思決定支援を行うとともに、必要に応じて地域の在宅 診療に携わる医師や訪問看護師等と退院前カンファレンスを実施している。	-		
	+	当該が人医療圏において、地域の医療機関や在宅療養支援診療所等の医療・介護従事者とがんに関する医療提供体制や社会的支援、緩和ケアについて情報を共有し、役割分担や支援等について検討する場を年1回以上設けている。	-		
		緩和ケアチームが地域の医療機関や在宅療養支援診療所等から定期的に連絡・相談を受ける体制を確保し、 必要に応じて助言等を行っている。	-		
	1	都道府県や地域の患者会等と連携を図り、患者会等の求めに応じてピア・サポートの質の向上に対する支援等に取り組んでいる。	-		ピア・サポート:患者・経験者やその家族がピア(仲間)とし 共有し、共に考えることで、患者や家族等を支援すること。
	ク				
		オピニオンに関する体制 医師からの診断結果や病状の説明時及び治療方針の決定時等において、すべてのがん患者とその家族に対して、他施設でセカンドオピニオンを受けられることについて説明している。	_		

5 / 44 ページ 様式4(機能別)

┼の箇所		要件	要件区分	令和6年9月1 日時点の状況	備考欄
	1	当該施設で対応可能ながんについて、手術療法、放射線療法、薬物療法又は緩和ケアに携わる専門的な知識及び技能を有する医師によりセ カンドオピニオンを提示する体制を整備し、患者にわかりやすく公表している。	-	日時無切状況	
<u>6</u>	ウ	セカンドオピニオンを提示する場合は、必要に応じてオンラインでの相談を受け付けることができる体制を確保している。 の特性に応じた診療等の提供体制	_		
	ア	希少がん・難治がんの患者の診断・治療に関しては、積極的に都道府県協議会における役割分担の整理を活用し、対応可能な施設への紹介 やコンサルテーションで対応している。	-		
	イウ	小児がん患者で長期フォローアップ中の患者については、小児がん拠点病院や連携する医療機関と情報を共有する体制を整備している。 各地域のがん・生殖医療ネットワークに加入し、「小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業」へ参画するとともに、対象と	_		
		なりうる患者や家族には必ず治療開始前に情報提供している。 患者の希望を確認するとともに、がん治療を行う診療科が中心となって、院内または地域の生殖医療に関する診療科とともに、妊孕性温存療			
		法及びがん治療後の生殖補助医療に関する情報提供及び意思決定支援を行う体制を整備している。 自施設において、がん・生殖医療に関する意思決定支援を行うことができる診療従事者の配置・育成に努めている。	_		別紙10に詳細を記載してください。
		就学、就労、妊孕性の温存、アピアランスケア等に関する状況や本人の希望についても確認し、自施設もしくは連携施設のがん相談支援セン			好学性:子どもをつくるために必要な能力のこと。精子や卵子だけではなく、性機能や生殖器、内分泌機能も重要な要素である。
	I		-		アピアランスケア: 医学的・整容的・心理社会的支援を用いて、外の変化を補完し、外見の変化に起因するがん患者の苦痛を軽減
			_		るケアのこと。 別紙10に詳細を記載してください。
		一般社団法人AYAがんの医療と支援のあり方研究会の開催する「AYA世代がんサポート研修会」を受けた院内の診療従事者の人数 (尚、AYA世代支援チームに在籍する者に限らない)	-		
	オ	高齢者のがんに関して、併存症の治療との両立が図れるよう、関係する診療科と連携する体制を確保している。 意思決定能力を含む機能評価を行い、各種ガイドラインに沿って、個別の状況を踏まえた対応をしている。	-		
	カ	高齢のがん患者に関して、必要に応じて高齢者総合機能評価を行っている。 医療機関としてのBCPを策定している。	-		別紙10に詳細を記載してください。
	療従事者	・ :知識及び技能を有する医師の配置 ※以下、常勤職員の人数を回答する項目において、非常勤職員を常勤換算して常勤職員と合算することは	不可です。		
					常勤:原則として病院で定めた勤務時間の全てを勤務する者をし う。病院で定めた医師の1週間の勤務時間が、32時間未満の場
	ア	当該施設で対応可能ながんについて専門的な知識及び技能を有する手術療法に携わる常勤の医師の人数	-		は、32時間以上勤務している者を常勤とし、その他は非常勤とする。
					※一人以上の配置が必要です。 専任:専任とは当該診療の実施を専ら担当していることをいう。こ
	1	専任の放射線診断に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師の人数	-		場合において、「専ら担当している」とは、その他診療を兼任して ても差し支えないものとする。ただし、その就業時間の少なくとも
					割以上、当該診療に従事している必要があるものとする。 ※一人以上の配置が必要です。
					専従:専従とは当該診療の実施日において、当該診療に専ら従 していることをいう。この場合において、「専ら従事している」とは、
	ゥ	専従の放射線治療に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師の人数 	-		の就業時間の少なくとも8割以上、当該診療に従事していることでいう。
	I	専従の薬物療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師の人数	-		※一人以上の配置が必要です。 ※一人以上の配置が必要です。
	オ	緩和ケアチームに配置されている、専任の身体症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師の人数 緩和ケアチームに配置されている、専従の身体症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師の人数	-		※一人以上の配置が必要です。
		緩和ケアチームに配置されている、専任の身体症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師のうち、 緩和ケアに関する専門資格を有する者の人数	-		
		緩和ケアチームに配置されている、精神症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師の人数 緩和ケアチームに配置されている、専任の精神症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師の人数	-		※一人以上の配置が必要です。
	カキ	専従の病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師の人数 リハビリテーションに携わる専門的な知識および技能を有する医師の人数	-		※一人以上の配置が必要です。
(2)		:知識及び技能を有する医師以外の診療従事者の配置 I			
	ア	放射線治療に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の診療放射線技師の人数 上記の診療放射線技師のうち、放射線治療に関する専門資格を有する者の人数			<u>です。</u>
		専従の放射線治療における機器の精度管理、照射計画の検証、照射計画補助作業等に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の技術者 等の人数	-		※一人以上の配置が必要です。
		上記の技術者のうち、医学物理学に関する専門資格を有する者の人数 放射線治療部門に配置されている、専従の放射線治療に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の看護師の人数	-		※一人以上の配置が必要です。
	1	上記の看護師のうち、放射線治療に関する専門資格を有する者の人数 専任の薬物療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の薬剤師の人数	_		※一人以上の配置が必要です。
	'	上記の薬剤師のうち、がん薬物療法に関する専門資格を有する者の人数 外来化学療法室に配置されている、専従の薬物療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の看護師の人数	_		※一人以上の配置が必要です。
	ゥ	上記の看護師のうち、がん看護又はがん薬物療法に関する専門資格を有する者の人数 緩和ケアチームに配置されている、専従の緩和ケアに携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の看護師の人数	_		
	ī	最初にアプランには、これでは、1985年 日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	_		※一人以上の配置が必要です。 ※一人以上の配置が必要です。 ※一人以上の配置が必要です。
		級ロンファームに配属されている。域がファースのでは、1973と2000人のでは、1973年には、1973	-		※一人以上の配置が必要です。
		上記エの相談支援に携わる者のうち、社会福祉士である者の人数			X
	オ	上記工の相談支援に携わる者のうち、精神保健福祉士である者の人数 緩和ケアチームに協力する、公認心理師等の医療心理に携わる専門的な知識及び技能を有する者の人数	-		
	カ	オの医療心理に携わる者のうち、公認心理師である者の人数 専任の細胞診断に係る業務に携わる専門的な知識及び技能を有する者の人数			※一人以上の配置が必要です。
	+	上記の診療従事者のうち、細胞診断に関する専門資格を有する者の人数 がんのリハビリテーションに係る業務に携わる専門的な知識および技能を有する理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等の人数			
		がんのリハビリテーションに係る業務に携わる専門的な知識および技能を有する理学療法士の人数 がんのリハビリテーションに係る業務に携わる専門的な知識および技能を有する作業療法士の人数			
(3) 70	の他の環境		_		District Class control of the contro
2		・患者とその家族が利用可能なインターネット環境を整備している。 集学的治療等の内容や治療前後の生活における注意点等に関して、冊子や視聴覚教材等を用いてがん患者及びその家族が自主的に確認できる環境を整備している。	_		別紙9に詳細を記載してください。
		(この様様と迷師) しいる。 その冊子や視聴覚教材等はオンラインでも確認できる。 がん治療に伴う外見の変化について、がん患者及びその家族に対する説明やアピアランスケアに関する情報提供・相談に応じられる体制を整	_		
<u>3</u>		が心思報に行うためを記さった。これでは有及びでの象別に対する説明でプログラングがに関する情報提供で指数に応じられる体制を重 情している。 が心患者の自殺リスクに対し、院内で共通したフローを使用し、対応方法や関係機関との連携について明確にしている。	-		別紙14に詳細を記載してください。
9	V	対応方法や関係機関との連携について、関係職種に情報共有を行う体制を構築している。 自施設に精神科、心療内科等がある。			
		自施設でがん患者の自殺リスクに対応できる。			 自施設に精神科はあるが、自施設単体で対応できない場合も回
3 診療実統	结	自施設に精神科、心療内科等がない場合は、地域の医療機関と連携体制を確保している。	-		日地は「特別ではあるが、日地は年降で対応できない場合も国してください。
(1)	194	同一のがん医療圏内にすでに指定されているがん診療連携拠点病院が存在している。	-		
1	ア	院内がん登録数 (基準:年間500件以上、期間: 令和5年1月1日~12月31日)	-		計上方法:入院、外来は問わない自施設初回治療分。症例区分 および30の数をいう。
	1	悪性腫瘍の手術件数	_		計上方法:医科診療報酬点数表第2章第 10 部に掲げる悪性腫 手術をいう。(病理診断により悪性腫瘍であることが確認された:
		(基準:年間400件以上、期間:令和5年1月1日~12月31日)			合に限る。)なお、内視鏡的切除も含む。 計上方法:経口、静注または皮下注射による全身投与を対象と
	ゥ	がんに係る薬物療法のべ患者数 (基準:年間1,000人以上、期間:令和5年1月1日~12月31日)	-		る。ただし内分泌療法単独の場合は含めない。なお、患者数に ては1レジメンあたりを1人として計上する。
		うち、外来化学療法のべ患者数	_		
		(期間: 令和5年1月1日~12月31日)			导上上士,压到多个病和和上来。主体5.44.45.45.4.4
	ı	 放射線治療のベ患者数 (基準:年間200人以上、期間:令和5年1月1日~12月31日)	_		計上方法: 医科診療報酬点数表第2章第12部の放射線治療に れるものとする。ただし、血液照射は除くなお、患者数について 複数数は(N) 原針まる場合では、一連の治療料面であればいより
					複数部位照射する場合でも、一連の治療計画であれば1人としたする。
	オ	緩和ケアチームの新規介入患者数 (基準:年間50人以上、期間:令和5年1月1日~12月31日)	-		計上方法: 患者数については同一入院期間内であれば複数回: しても1人として計上する。
2	J	当該がん医療圏に居住するがん患者の診療実績の割合(%)	_		右隣シート「(参考)診療割合算出表」を適宜ご参照ください。 「①を概ね満たすこと」については、「アからオのそれぞれの9割
		3(1)①または②を概ね満たすこと。 なお、同一がん医療圏に複数の地域拠点病院を指定する場合は、①の項目を全て満たすこと。	-		上であること」と定義され、「②を概ね満たすこと」については、当 がん医療圏に居住するがん患者のうち、「18%以上の診療実績 オストルロギャル・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス
	d) 生				あること」と定義されている。なお、同一がん医療圏に複数の地 拠点病院を指定する場合は、①の項目を全て満たすこと。
4 1 ++ 7	八守	自施設において、2に掲げる診療体制その他要件に関連する取組のために必要な人材の確保や育成に積極的に取り組んでいる。	-		
4 人材育原(1)		1841、 ***安(八月で売べるにか)、小光に、今神学等からですする食科学(八収得についても精確的に支撑している			
		特に、診療の質を高めるために必要な、各種学会が認定する資格等の取得についても積極的に支援している。 広告可能な資格を有する者のが人診療への配置状況について積極的に公差している。	_		i e e e e e e e e e e e e e e e e e e e
		病院長は、自施設においてがん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師等の専門性及び活動実績等を定期的に評価し、当該医師等がその専門性を十分に発揮できる体制を整備している。	-		
(1)		病院長は、自施設においてがん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師等の専門性及び活動実績等を定期的に評価し、当該医師	-		
(2)		病院長は、自施設においてがん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師等の専門性及び活動実績等を定期的に評価し、当該医師等がその専門性を十分に発揮できる体制を整備している。 「がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会の開催指針」(平成29年12月1日付け健発1201第2号厚生労働省健康局長通知の別添)に準拠し、当該がん医療圏においてがん診療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修を、都道府県と協議の上、開催している。 「首施設の長、および自施設に所属する臨床研修医及び1年以上自施設に所属するがん診療に携わる医師・歯科医師が当該研修を修了する	-		
(2)		病院長は、自施設においてがん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師等の専門性及び活動実績等を定期的に評価し、当該医師等がその専門性を十分に発揮できる体制を整備している。 「がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会の開催指針」(平成29年12月1日付け健発1201第2号厚生労働省健康局長通知の別添)に準拠し、当該がん医療圏においてがん診療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修を、都道府県と協議の上、開催している。 「自施設の長、および自施設に所属する臨床研修医及び1年以上自施設に所属するがん診療に携わる医師・歯科医師が当該研修を修了する体制を整備している。 「受講率を現況報告において以下の通り報告する。	-		
(2)		病院長は、自施設においてがん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師等の専門性及び活動実績等を定期的に評価し、当該医師等がその専門性を十分に発揮できる体制を整備している。 「がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会の開催指針」(平成29年12月1日付け健発1201第2号厚生労働省健康局長通知の別添)に準拠し、当該がん医療圏においてがん診療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修を、都道府県と協議の上、開催している。 「自施設の長、および自施設に所属する臨床研修医及び1年以上自施設に所属するがん診療に携わる医師・歯科医師が当該研修を修了する体制を整備している。 受講率を現況報告において以下の通り報告する。 令和6年9月1日時点で自施設に所属する初期臨床研修医の人数	- - - - -		
(2)		病院長は、自施設においてがん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師等の専門性及び活動実績等を定期的に評価し、当該医師等がその専門性を十分に発揮できる体制を整備している。 「がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア修会の開催指針」(平成29年12月1日付け健発1201第2号厚生労働省健康局長通知の別添)に準拠し、当該がん医療圏においてがん診療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修を、都道府県と協議の上、開催している。 日施設の長、および自施設に所属する臨床研修医及び1年以上自施設に所属するがん診療に携わる医師・歯科医師が当該研修を修了する体制を整備している。 受講率を現況報告において以下の通り報告する。 令和6年9月1日時点で自施設に所属する初期臨床研修医の人数 うち当該研修会修了者数 受講率(%)			
(2)		病院長は、自施設においてがん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師等の専門性及び活動実績等を定期的に評価し、当該医師等がその専門性を十分に発揮できる体制を整備している。 「がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケアが修会の開催指針」(平成29年12月1日付け健発1201第2号厚生労働省健康局長通知の別添)に準拠し、当該がん医療圏においてがん診療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修を、都道府県と協議の上、開催している。 「自施設の長、および自施設に所属する臨床研修医及び1年以上自施設に所属するがん診療に携わる医師・歯科医師が当該研修を修了する体制を整備している。 受講率を現況報告において以下の通り報告する。 令和6年9月1日時点で自施設に所属する初期臨床研修医の人数 うち当該研修会修了者数 受講率(%) 1年以上自施設に所属するがん診療に携わる医師・歯科医師の人数(初期臨床研修医を除く) うち当該研修会修了者数 受講率(%)			
(2)		病院長は、自施設においてがん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師等の専門性及び活動実績等を定期的に評価し、当該医師等がその専門性を十分に発揮できる体制を整備している。 「がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会の開催指針」(平成29年12月1日付け健発1201第2号厚生労働省健康局長通知の別添)に準拠し、当該がん医療圏においてがん診療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修を、都道府県と協議の上、開催している。 「首施設の長、および自施設に所属する臨床研修医及び1年以上自施設に所属するがん診療に携わる医師・歯科医師が当該研修を修了する体制を整備している。 受講率を現況報告において以下の通り報告する。 令和6年9月1日時点で自施設に所属する初期臨床研修医の人数 うち当該研修会修了者数 受講率(%6) 1年以上自施設に所属するがん診療に携わる医師・歯科医師の人数(初期臨床研修医を除く) うち当該研修会修了者数 受講率(%6) 「うち当該研修会修了者数 受講率(%6) 「おおいて以下の通り報告するその他の診療従事者についても受講を促している。 研修修了者について、護者とその家族に対してわかりやすく情報提供している。	- - - - -		
(1) (2) (3)		病院長は、自施設においてがん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師等の専門性及び活動実績等を定期的に評価し、当該医師等がその専門性を十分に発揮できる体制を整備している。 「がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア修会の開催指針」(平成29年12月1日付け健発1201第2号厚生労働省健康局長通知の別添)に準拠し、当該がん医療圏においてがん診療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修を、都道府県と協議の上、開催している。 「自施設の長、および自施設に所属する臨床研修医及び1年以上自施設に所属するがん診療に携わる医師・歯科医師が当該研修を修了する体制を整備している。 受講率を現況報告において以下の通り報告する。 令和6年9月1日時点で自施設に所属する初期臨床研修医の人数 うち当該研修会修了者数 受講率(%) 1年以上自施設に所属するがん診療に携わる医師・歯科医師の人数(初期臨床研修医を除く) うち当該研修会修了者数 受講率(%) 「うち当該研修会修了者数 受講率(%) 「うち当該研修会修了者数 受講率(%) 「あり、護和ケアに従事するその他の診療従事者についても受講を促している。 研修修了者について、患者とその家族に対してわかりやすく情報提供している。 ・連携する地域の医療施設におけるがん診療に携わる医師に対して、緩和ケアに関する研修の受講勧奨を行っている。 「(3) のほか、当該がん医療圏において顔の見える関係性を構築し、がん医療の質の向上につながるよう、地域の診療従事者を対象とした研修	- - - -		
(2)		病院長は、自施設においてがん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師等の専門性及び活動実績等を定期的に評価し、当該医師等がその専門性を十分に発揮できる体制を整備している。 「がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会の開催指針」(平成29年12月1日付け健発1201第2号厚生労働省健康局長通知の別添)に準拠し、当該がん医療圏においてがん診療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修を、都道府県と協議の上、開催している。 「自施設の長、および自施設に所属する臨床研修医及び1年以上自施設に所属するがん診療に携わる医師・歯科医師が当該研修を修了する体制を整備している。受講率を現況報告において以下の通り報告する。 令和6年9月1日時点で自施設に所属する初期臨床研修医の人数 うち当該研修会修了者数 受講率(%) 「1年以上自施設に所属するがん診療に携わる医師・歯科医師の人数(初期臨床研修医を除く) 「5ち当該研修会修了者数 受講率(%) 「5ち当該研修会修了者数 受講率(%) 「5ち当該研修会修了者数 の関連に対している。 要講を促している。 「第本(%)	- - - - -		

6 / 44 ページ 様式4(機能別)

11 指針の領	箇所	要件	要件区分	令和6年9月1 日時点の状況	
208		令和5年1月1日~12月31日の期間に実施した研修のうち、代表的な内容を一つ記載してください。	_	日時点の状況	
209	(7)	院内の看護師を対象として、がん看護に関する総合的な研修を定期的に実施している。	_		
210		令和5年1月1日~12月31日の開催回数	_		
211		令和5年1月1日~12月31日の期間に実施した研修のうち、代表的な内容を一つ記載してください。 他の診療従事者についても、各々の専門に応じた研修を定期的に実施するまたは、他の施設等で実施されている研修に参加させている。	-		
213	(8) 6 相談支援及び情報	医科歯科連携による口腔健康管理を推進するために、歯科医師等を対象とするがん患者の口腔健康管理等の研修の実施に協力している。	_		
215 216	(1) がん相談支援	センター 相談支援を行う機能を有する部門(がん相談支援センター)を設置し、①から⑧の体制を確保した上で、がん患者や家族等が持つ医療や療養	_		別紙11に詳細を記載してください。
217		等の課題に関して、病院を挙げて全人的な相談支援を行っている。 必要に応じてオンラインでの相談を受け付けるなど、情報通信技術等も活用している。 コミュニケーションに配慮が必要な者や、日本語を母国語としていない者等への配慮を適切に実施できる体制を確保している。			
219	①		-		DIIが「ハージがサナシュキ」 ナノナ・ナー
221		人ずつ配置している。 がん相談支援センター相談員基礎研修(1)~(3)を修了した専従の相談支援に携わる者の人数	_		別紙13に詳細を記載してください。
222		がん相談支援センター相談員基礎研修(1)~(3)を修了した専任の相談支援に携わる者の人数 当該相談支援に携わる者のうち1名は、社会福祉士である。	-		上記の専従の者は含めないでください。 (専任であり、かつ専従でない者の人数を記載ください。)
224 225	2	がん相談支援センター相談員基礎研修(1)~(3)を修了した専従もしくは専任の相談支援に携わる者のうち、社会福祉士の人数相談支援に携わる者は、対応の質の向上のために、がん相談支援センター相談員研修等により定期的な知識の更新に努めている。	-		一人以上配置されていることが望ましい
226	3	院内及び地域の診療従事者の協力を得て、院内外のがん患者及びその家族並びに地域の住民及び医療機関等からの相談等に対応する体 <u>制を整備している。</u> 相談支援に関し十分な経験を有するがん患者団体との連携協力体制の構築に積極的に取り組んでいる。	-		別紙12に詳細を記載してください。 別紙14に詳細を記載してください。
228	4 7	がん相談支援センターについて周知するため、以下の体制を整備している。 外来初診時から治療開始までを目処に、がん患者及びその家族が必ず一度はがん相談支援センターを訪問(必ずしも具体的な相談を伴わな	-		別紙13に具体的な取り組みを記載してください。
230	1	い、場所等の確認も含む)することができる体制を整備している。 治療に備えた事前の面談や準備のフローに組み込む等、診療の経過の中で患者が必要とするときに確実に利用できるよう	_		別和1310条件の3442分和4分を記載して、たらい。
231 232	ウェ	繰り返し案内を行っている。 院内の見やすい場所にがん相談支援センターについて分かりやすく掲示している。 地域の住民や医療・在宅・介護福祉等の関係機関に対し、がん相談支援センターに関する広報を行っている。	-		
233 234	才	自施設に通院していない者からの相談にも対応している。 がん相談支援センターを初めて訪れた者の数を把握し、認知度の継続的な改善に努めている。	_		
235 236	(5)	がん相談支援センターの業務内容について、相談者からフィードバックを得る体制を整備している。 フィードバックの内容を自施設の相談支援の質の向上のために活用するとともに、都道府県協議会で報告し、他施設とも情報共有している。 患者からの相談に対し、必要に応じて速やかに院内の診療従事者が対応できるよう、病院長もしくはそれに準じる者が統括するなど、がん相			
237	6	版主角からが相談に対し、必要に応じて迷さが活動する体制を整備している。 飲支援センターと院内の診療従事者が活動する体制を整備している。 がん相談支援センターの相談支援に携わる者は、IVの2の(4)に規定する当該都道府県にある都道府県拠点病院が実施する相談支援に携	-		
238	8	わる者を対象とした研修を受講している。 がん患者及びその家族が小の悩みや体験等を語り合うための患者サロン等の場を設けている。	_		
240 241 242	(2)院内がん登録	その際には、一定の研修を受けたピア・サポーターを活用する、もしくは十分な経験を持つ患者団体等と連携して実施するよう努めている。 オンライン環境でも開催できる。			
243	①	がん登録等の推進に関する法律(平成25年法律第111号)第44条第1項の規定に基づき定められた、院内がん登録の実施に係る指針(平成 27年厚生労働省告示第470号)に即して院内がん登録を実施している。	-		
244	2	国立がん研究センターが実施する研修で中級認定者の認定を受けている、専従の院内がん登録の実務を担う者を1人以上配置している。 中級認定者の認定を受けている、専従の院内がん登録の実務を担う者の人数			別紙16に詳細を記載してください。
246 247 248	③ ④ (3) 情報提供・普及	毎年、最新の登録情報や予後を含めた情報を国立がん研究センターに提供している。 院内がん登録を活用することにより、都道府県の実施するがん対策等に必要な情報を提供している。 B 攻発	-		
249 250	1	自施設で対応できるがんについて、提供可能な診療内容を病院ホームページ等でわかりやすく広報している。 希少がん、小児がん、AVA世代のがん患者への治療及び支援(好孕性温存療法を含む)やがんゲノム医療についても、自施設で提供できる			
251		場合や連携して実施する場合はその旨を広報している。 希少がんへの治療及び支援を自施設もしくは連携する施設への紹介等で提供できる。			
252 253 254		提供できる治療・支援の内容を広報している。 小児がんへの治療及び支援を自施設もしくは連携する施設への紹介等で提供できる。 提供できる治療・支援の内容を広報している。	A/- - A/-		
254 255 256 257		AYA世代のがんへの治療及び支援を自施設もしくは連携する施設への紹介等で提供できる。	A/-		
257 258 259		提供できる治療・支援の内容を広報している。 好孕性温存療法を自施設もしくは連携する施設への紹介等で提供できる。 提供できる治療・支援の内容を広報している。 がんゲノム医療への治療及び支援を自施設もしくは連携する施設への紹介等で提供できる。	- A/-		
259 260 261		がんゲノム医療への治療及ひ支援を目施設もしくは連携する施設への紹介等で提供できる。 提供できる治療・支援の内容を広報している。 大規模災害や感染症の流行などにより自院の診療状況に変化が生じた場合には、速やかに情報公開をするよう努めている。	A/- -		
262 263	2	当該がん医療圏内のがん診療に関する情報について、病院ホームページ等でわかりやすく広報している。 特に、我が国に多いがんの中で、自施設で対応しない診療内容についての連携先や集学的治療等が終了した後のフォローアップについて地			
264 265	3	域で連携する医療機関等の情報提供を行っている。 地域を対象として、緩和ケアやがん教育、患者向け・一般向けのガイドラインの活用法等に関する普及啓発に努めている。	_		
266	4	地域を対象として実施した、がんに関するセミナー等の開催回数(総数) 参加中の治験についてその対象であるがんの種類及び薬剤名等を広報している。	-		地域の定義としては少なくとも市民を含むこと。
007		患者に対して治験も含めた医楽品等の臨床研究、先進医療、患者甲出療養等に関する適切な情報提供を行っとともに、必要に応じて適切な医			ロリタチェフィーランタのナーラフ またし ーナノストント・
267	(5) (6)	患者に対して治験も含めた医薬品等の臨床研究、先進医療、患者申出療養等に関する適切な情報提供を行うとともに、必要に応じて適切な医療機関に紹介している。 が必教育について、当該がん医療圏における学校や職域より依頼があった際には、外部講師として診療従事者を派遣し、がんに関する正しい	-		別紙17に詳細を記載してください。
268	6	療機関に紹介している。 がん教育について、当該がん医療圏における学校や職域より依頼があった際には、外部講師として診療従事者を派遣し、がんに関する正しい 知識の普及啓発に努めている。 がん教育の実施に当たっては、児童生徒が当事者である場合や、身近にがん患者を持つ場合等があることを踏まえ、対象者へ十分な配慮を			別紙17に詳細を記載してください。
268 269 270 271	⑥ ⑥ 臨床研究及び調査	療機関に紹介している。 がん教育について、当該がん医療圏における学校や職域より依頼があった際には、外部講師として診療従事者を派遣し、がんに関する正しい 知識の普及啓発に努めている。 がん教育の実施に当たっては、児童生徒が当事者である場合や、身近にがん患者を持つ場合等があることを踏まえ、対象者へ十分な配慮を 行っている。 研究	- - -		
268 269 270 271 272 273	⑥ ⑥ 臨床研究及び調査	療機関に紹介している。 がA教育について、当該がん医療圏における学校や職域より依頼があった際には、外部講師として診療従事者を派遣し、がんに関する正しい 知識の普及啓発に努めている。 がA教育の実施に当たっては、児童生徒が当事者である場合や、身近にがん患者を持つ場合等があることを踏まえ、対象者へ十分な配慮を 行っている。 研究 政策的公衆衛生的に必要性の高い調査研究に協力している。 これらの研究の協力依頼に対応する窓口の連絡先を国立がん研究センターに登録する。 治験を含む医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究コーディネーター(CRC)を配置すること。	-		別紙17に詳細を記載してください。 別紙18に記載してください。 素託も可
268 269 270 271 272 273 274 275	6 6 6 6 (1)	療機関に紹介している。 が、教育について、当該がん医療圏における学校や職域より依頼があった際には、外部講師として診療従事者を派遣し、がんに関する正しい 知識の普及 啓発に努かている。 が、教育の実施に当たっては、児童生徒が当事者である場合や、身近にがん患者を持つ場合等があることを踏まえ、対象者へ十分な配慮を 行っている。 研究 政策的公衆衛生的に必要性の高い調査研究に協力している。 これらの研究の協力依頼に対応する窓口の連絡先を国立がん研究センターに登録する。 治験を含む医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究コーディネーター(CRC)を配置すること。 治験を含む医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究コーディネーター(CRC)を配置すること。 治験を含む医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究コーディネーターを配置している。 臨床研究コーディネーターを配置している。	- - - - -		別紙18に記載してください。
268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278	6 6 6 6 (1)	療機関に紹介している。 がん教育について、当該がん医療圏における学校や職域より依頼があった際には、外部講師として診療従事者を派遣し、がんに関する正しい 知識の音及 啓発に努かている。 がん教育の実施に当たっては、児童生徒が当事者である場合や、身近にがん患者を持つ場合等があることを踏まえ、対象者へ十分な配慮を行っている。 研究 政策的公衆衛生的に必要性の高い調査研究に協力している。 これらの研究の協力依頼に対応する窓口の連絡先を国立がん研究センターに登録する。 治験を含む医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究コーディネーター(CRC)を配置すること。 治験を含む医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究コーディネーターに登録する。 治験を含む医薬品等の臨床研究を行っ場合は、臨床研究コーディネーターに登録する。 治験を含む医薬品等の臨床研究を行っ場合は、臨床研究コーディネーターにも 臨床研究コーディネーターとして動務している。 塩味研究コーディネーターとして動務している者の人数治験を除く医薬品等の臨床研究を行っている。	-		別紙18に記載してください。 委託も可 274が"はい"の場合は要件区分がAになります。
268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278 279 280	(6) (6) (3) <u>臨床研究及び調査</u> (1) (2)	療機関に紹介している。 が仏教育について、当該がん医療圏における学校や職域より依頼があった際には、外部講師として診療従事者を派遣し、がんに関する正しい 知識の普及啓発に努めている。 が仏教育の実施に当たっては、児童生徒が当事者である場合や、身近にがん患者を持つ場合等があることを踏まえ、対象者へ十分な配慮を 行っている。 研究 政策的公衆衛生的に必要性の高い調査研究に協力している。 これらの研究の協力依頼に対応する窓口の連絡先を国立がん研究センターに登録する。 治験を含む医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究コーディネーター(CRC)を配置すること。 治験を含む医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究コーディネーターを配置している。 臨床研究コーディネーターを配置している。 臨床研究コーディネーターとして勤務している者の人数 治験を除く医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究法に則った体制を整備すること。 治験を除く医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究法に則った体制を整備すること。 治験を除く医薬品等の臨床研究を行っている。 臨床研究コーディネーターとして動務している者の人数 治験を除く医薬品等の臨床研究を行っている。 第6年研究コーディネーターとして動務している。 第6年研究コーディネーターとして動務している。	- - - - -		別紙18に記載してください。 委託も可
268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278 279 280 281	(6) (6) (5) (1) (2) (2) (7) (2) (7) (2) (3) (4) (4) (5) (6) (7) (7) (8) (7) (8) (8) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9	療機関に紹介している。 が人教育について、当該が人医療圏における学校や職域より依頼があった際には、外部講師として診療従事者を派遣し、がんに関する正しい 知識の普及啓発に努めている。 が人教育の実施に当たっては、児童生徒が当事者である場合や、身近にがん患者を持つ場合等があることを踏まえ、対象者へ十分な配慮を行っている。 研究 政策的公衆衛生的に必要性の高い調査研究に協力している。 これらの研究の協力依頼に対応する窓口の連絡先を国立が人研究センターに登録する。 治験を含む医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究コーディネーター(CRC)を配置すること。 造験を含む医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究コーディネーター(CRC)を配置すること。 臨床研究コーディネーターを配置している。 臨床研究コーディネーターを配置している。 臨床研究コーディネーターとして勤務している者の人数治験を除く医薬品等の臨床研究を行っている。 臨床研究コーディネーターを配置している。 塩床研究コーディネーターとして勤務している者の人数治験を除く医薬品等の臨床研究を行っている。 「施床研究」に対象を除く医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究法に則った体制を整備すること。 治験を除く医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究法に則った体制を整備すること。 治験を除く医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究法に則った体制を整備すること。 治験を除く医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究法に則った体制を整備すること。 治験を除く医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究法に則った体制を整備すること。 治験を除く医薬品等の臨床研究を行っている。 国施及び安全管理 自施設の診療機能や診療実績、地域連携に関する実績や活動状況の他、がん患者の療養生活の質について把握・評価し、課題認識を院内の関係者で共有したとて、組織的な改善等を講じている。	-		別紙18に記載してください。 委託も可 274が"はい"の場合は要件区分がAになります。
268 269 270 271 272 273 273 274 275 276 277 278 279 280 281 7 282	(6) (6) (5) (1) (2) (2) (7) (2) (7) (2) (3) (4) (4) (5) (6) (7) (7) (8) (7) (8) (8) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9	療機関に紹介している。 がん教育について、当該がん医療圏における学校や職域より依頼があった際には、外部講師として診療従事者を派遣し、がんに関する正しい 知識の音及 啓発に努かている。 がん教育の実施に当たっては、児童生徒が当事者である場合や、身近にがん患者を持つ場合等があることを踏まえ、対象者へ十分な配慮を行っている。 研究 政策的公衆衛生的に必要性の高い調査研究に協力している。 これらの研究の協力依頼に対応する窓口の連絡先を国立がん研究センターに登録する。 治験を含む医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究コーディネーター(CRC)を配置すること。 治験を含む医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究コーディネーターとして動務している。 臨床研究コーディネーターを配置している。 臨床研究コーディネーターとして動務している者の人数治験を除く医薬品等の臨床研究を行うしている。 海験を除く医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究法に則った体制を整備すること。 治験を除く医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究法に則った体制を整備すること。 治験を除く医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究法に則った体制を整備すること。 治験を除く医薬品等の臨床研究を行っている。 東流内容の広報等に努めている。	-		別紙18に記載してください。 委託も可 274が"はい"の場合は要件区分がAになります。 278が"はい"の場合は要件区分がAになります。 別紙20に詳細を記載してください。
268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278 279 280 281 7 282 283 284	(6) (6) (5) (1) (2) (2) (7) (2) (7) (2) (3) (4) (4) (5) (6) (7) (7) (8) (7) (8) (8) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9	療機関に紹介している。 が人教育について、当該が人医療圏における学校や職域より依頼があった際には、外部講師として診療従事者を派遣し、がんに関する正しい 知識の普及啓発に努めている。 が人教育の実施に当たっては、児童生徒が当事者である場合や、身近にがん患者を持つ場合等があることを踏まえ、対象者へ十分な配慮を行っている。 研究 政策的公衆衛生的に必要性の高い調査研究に協力している。 これらの研究の協力依頼に対応する窓口の連絡先を国立が人研究センターに登録する。 治験を含む医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究コーディネーター(CRC)を配置すること。 造験を含む医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究コーディネーター(CRC)を配置すること。 臨床研究コーディネーターを配置している。 臨床研究コーディネーターを配置している。 臨床研究コーディネーターとして勤務している者の人数治験を除く医薬品等の臨床研究を行っている。 臨床研究コーディネーターを配置している。 塩床研究コーディネーターとして勤務している者の人数治験を除く医薬品等の臨床研究を行っている。 「施床研究」に対象を除く医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究法に則った体制を整備すること。 治験を除く医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究法に則った体制を整備すること。 治験を除く医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究法に則った体制を整備すること。 治験を除く医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究法に則った体制を整備すること。 治験を除く医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究法に則った体制を整備すること。 治験を除く医薬品等の臨床研究を行っている。 国施及び安全管理 自施設の診療機能や診療実績、地域連携に関する実績や活動状況の他、がん患者の療養生活の質について把握・評価し、課題認識を院内の関係者で共有したとて、組織的な改善等を講じている。			別紙18に記載してください。 委託も可 274が"はい"の場合は要件区分がAになります。 278が"はい"の場合は要件区分がAになります。
268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278 279 280 281 7 282 283 284 285	(6) (6) (6) (7) (2) (2) (1) (2)	療機関に紹介している。 が人教育について、当該がん医療圏における学校や職域より依頼があった際には、外部講師として診療従事者を派遣し、がんに関する正しい 知識の普及啓発に努めている。 がん教育の実施に当たっては、児童生徒が当事者である場合や、身近にがん患者を持つ場合等があることを踏まえ、対象者へ十分な配慮を行っている。 研究 政策的公衆衛生的に必要性の高い調査研究に協力している。 これらの研究の協力依頼に対応する窓口の連絡先を国立がん研究センターに登録する。 治験を含む医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究コーディネーター(CRC)を配置すること。 治験を含む医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究コーディネーター(CRC)を配置すること。 協康研究コーディネーターを配置している。 臨床研究コーディネーターを配置している。 臨床研究コーディネーターを引動している者の人数治験を除く医薬品等の臨床研究を行っている。 臨床研究コーディネーターを配置している。 ないるの意味研究を行う場合は、臨床研究法に則った体制を整備すること。 治験を除く医薬品等の臨床研究を行っている。 臨床研究コーディネーターを配置している。 ないる研究と行っている。 第本研究法に則った体制を整備している。 実施内容の広報等に努めている。 取組及び安全管理 自施設の診療機能や診療実績、地域連携に関する実績や活動状況の他、がん患者の療養生活の質について把握・評価し、課題認識を院内の関係者で共有したよで、組織的な改善策を講じている。 その際にはQuality Indicatorを利用するなどして、PDCAサイクルが確保できるよう工夫をしている。 医療法等に基づく医療安全にかかる適切な体制を確保している。			別紙18に記載してください。 委託も可 274が"はい"の場合は要件区分がAになります。 278が"はい"の場合は要件区分がAになります。 別紙20に詳細を記載してください。 別紙20に詳細を記載してください。
268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278 280 281 7 282 283 284 285 286	(6) (6) (6) (7) (2) (2) (1) (2)	療機関に紹介している。 が仏教育について、当該がん医療圏における学校や職域より依頼があった際には、外部講師として診療従事者を派遣し、がんに関する正しい 知識の普及を発に努めている。 が仏教育の実施に当たっては、児童生徒が当事者である場合や、身近にがん患者を持つ場合等があることを踏まえ、対象者へ十分な配慮を行っている。 研究 政策的公衆衛生的に必要性の高い調査研究に協力している。 これらの研究の協力依頼に対応する窓口の連絡先を国立がん研究センターに登録する。 治験を含む医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究コーディネーター(CRC)を配置すること。 治験を含む医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究コーディネーターとして勤務している。 臨床研究コーディネーターを配置している。 強康研究コーディネーターとして勤務している。 海験を除く医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究法に則った体制を整備すること。 治験を除く医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究法に則った体制を整備すること。 定床研究法に則った体制を整備している。 実施内容の広報等に努めている。 取組及び安全管理 自施設の診療機能や診療実績、地域連携に関する実績や活動状況の他、がん患者の療養生活の質について把握・評価し、課題認識を院内の関係者で共有した上で、組織的な改善策を満している。 を療法等に基づく医療安全にかかる適切な体制を確保している。 医療法等に基づく医療安全にかかる適切な体制を確保している。 日本医療機能評価機構の審査等の第三者による評価を受けている。 第三者の名称 直近で評価を受けたタイミング(YYYY/MM、例:202309)			別紙18に記載してください。 柔託も可 274が"はい"の場合は要件区分がAになります。 278が"はい"の場合は要件区分がAになります。 別紙20に詳細を記載してください。 別紙20に詳細を記載してください。 日本医療機能評価機構に加え、JCL、ISO9001の認定も該当する。
268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278 280 281 7 282 283 284 285 286 287 288 8	6 6 6 6 6 6 6 6 7 6 7 7 6 7 7 7 8 7 8 7 8 7 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	療機関に紹介している。 が仏教育について、当該がん医療圏における学校や職域より依頼があった際には、外部講師として診療従事者を派遣し、がんに関する正しい知識の普及啓発に努めている。 が仏教育の実施に当たっては、児童生徒が当事者である場合や、身近にがん患者を持つ場合等があることを踏まえ、対象者へ十分な配慮を行っている。 明究 政策的公衆衛生的に必要性の高い調査研究に協力している。 これらの研究の協力依頼に対応する窓口の連絡先を国立がん研究センターに登録する。 治験を含む医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究コーディネーター(CRC)を配置すること。 治験を含む医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究コーディネーター(CRC)を配置すること。 治験を含む医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究コーディネーターとして動務している。 臨床研究コーディネーターを配置している。 地域を除く医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究法に則った体制を整備すること。 治験を除く医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究法に則った体制を整備すること。 治験を除く医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究法に則った体制を整備すること。 を施内容の広報等に努めている。 東施内容の広報等に努めている。 取組及び安全管理 自施設の診療機能や診療実績、地域連携に関する実績や活動状況の他、がん患者の療養生活の質について把握・評価し、課題認識を院内の関係者で共有した上で、組織的な改善策を講じている。 その際は同じないは、対しな、対している。 を療法等に基づく医療安全にかかる適切な体制を確保している。 日本医療機能評価機構の審査等の第三者による評価を受けている。 第三者の名称 直近で評価を受けたタイミング(ソソソノMM、例: 202309) 地域がん診療病院とグループ指定を受ける場合には、以下の体制を整備すること等によりグループ指定を受ける地域がん診療病院と協働して当該地域におけるがん診療等の提供体制を確保すること。			別紙18に記載してください。 委託も可 274が"はい"の場合は要件区分がAになります。 278が"はい"の場合は要件区分がAになります。 別紙20に詳細を記載してください。 別紙20に詳細を記載してください。 日本医療機能評価機構に加え、JCI、ISO9001の認定も該当する。 別紙20に詳細を記載してください。
268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278 280 281 7 282 283 284 285 286 287 288 8 289 290 291	(6) (6) (6) (7) 医療の質の改善の (1) (2) (3) (3) (1) (2) (3)	療機関に紹介している。 が仏教育について、当該がん医療圏における学校や職域より依頼があった際には、外部講師として診療従事者を派遣し、がんに関する正しい 知識の普及啓発に努めている。 が仏教育の実施に当たっては、児童生徒が当事者である場合や、身近にがん患者を持つ場合等があることを踏まえ、対象者へ十分な配慮を 行っている。 研究 政策的公衆衛生的に必要性の高い調査研究に協力している。 これらの研究の協力は類に対応する窓口の連絡先を国立が仏研究センターに登録する。 治験を含む医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究コーディネーター(CRC)を配償すること。 治験を含む医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究コーディネーター(CRC)を配償すること。 治験を含む医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究コーディネーターとして動務している。 臨床研究コーディネーターとして動務している者の人数 治験を除く医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究法に則った体制を整備すること。 海膜を研究は一方に大きないる。 東脳及び安全管理 自施設の診療機能や診療実績、地域連携に関する実績や活動状況の他、がん患者の療養生活の質について把握・評価し、課題認識を院内 の関係者でよれたたよで、組織的な改善策を講じている。 その際にはQuality Indicatorを利用するなどして、PDCAサイクルが確保できるよう工夫をしている。 医療法等に基づく医療安全にかかる適切な体制を確保している。 日本医療機能評価機構の審査等の第三者による評価を受けている。 第三者の名称 地域がん診療病院とグループ指定を受ける場合には、以下の体制を整備すること等によりグループ指定を受ける地域がん診療病院と協働し て当該地域におけるがん診療等の提供体制を確保すること。 地域がん診療病院とのグループ指定を受ける場合には、以下の体制を整備すること等によりグループ指定を受ける地域がん診療病院と協働し て当該地域におけるがん診療等の提供体制を確保すること。 地域がん診療病院とのグループ指定を受ける場合には、以下の体制を整備すること等によりグループ指定を受ける地域がん診療病院と協働し て当該地域におけるが心診療病院とが必ずな必要が表とを提供するためのレジメンの審査等における支援を行っている。			別紙18に記載してください。 委託も可 274が"はい"の場合は要件区分がAになります。 278が"はい"の場合は要件区分がAになります。 別紙20に詳細を記載してください。 別紙20に詳細を記載してください。 日本医療機能評価機構に加え、JCI、ISO9001の認定も該当する。 別紙20に詳細を記載してください。
268 269 270 271 272 273 273 274 275 276 277 278 279 280 281 7 282 283 284 285 286 287 288 8 289 290 291 292 293	 6 6 6 6 6 6 6 6 8 6 7 2 3 5 7 2 3 5 6 7 7 8 8 9 9	療機関に紹介している。 が人教育について、当該がん医療圏における学校や職域より依頼があった際には、外部講師として診療従事者を派遣し、がんに関する正しい 知識の音及啓発に努めている。 が人教育の実施に当たっては、児童生徒が当事者である場合や、身近にがん患者を持つ場合等があることを踏まえ、対象者へ十分な配慮を行っている。 研究 政策的必衆衛生的に必要性の高い調査研究に協力している。 これらの研究の協力依頼に対応する窓口の連絡先を国立が人研究センターに登録する。 治験を含む医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究コーディネーター(GRC)を配置すること。 治験を含む医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究コーディネーターとして動務している。 臨床研究コーディネーターとして動務している者の人数治験を除く医薬品等の臨床研究を行っている。 臨床研究コーディネーターとして動務している者の人数治験を除く医薬品等の臨床研究を行っている。 臨床研究法に則った体制を整備すること。 治験を除く医薬品等の臨床研究を行っている。 原味研究法に則った体制を整備すること。 の関係者で共有したこと、組織的な必要策を構している。 その際にはひuality Indicatorを利用するなどして、PDCAサイクルが確保できるよう工夫をしている。 医療法等に基づく医療安全にかかる適切な体制を確保している。 日本医療機能評価機構の審査等の第三者による評価を受けている。 第二者の名称 直近で評価を受けたタイミング(アソアソ/MM、例・202309) 地域がん診療病院とグループ指定を受ける場合には、以下の体制を整備すること等によりグループ指定を受ける地域がん診療病院と協働して当該地域におけるがん診療等の提供体制を確保すること。 地域がん診療病院とグループ指定を受ける場合には、以下の体制を整備すること等によりグループ指定を受ける地域がん診療病院と協働して当該地域におけるが心診療等の提供体制を確保するにとの。 環英国連接出り手術療法、放射線療法、薬物療法を提供する体制を整備している。 標準的な薬物療法を提供するための定期的な合同カンファレンスの開催を行っている。 建築と連携体制を確保するための定期的な合同カンファレンスの開催を行っている。 建築と連携体制を確保するための定期的な合同カンファレンスの開催を行っている。 通楽な連携体制を確保するための定期的な合同カンファレンスの開催を行っている。			別紙18に記載してください。 委託も可 274が"はい"の場合は要件区分がAになります。 278が"はい"の場合は要件区分がAになります。 別紙20に詳細を記載してください。 別紙20に詳細を記載してください。 日本医療機能評価機構に加え、JCI、ISO9001の認定も該当する。 別紙20に詳細を記載してください。
268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278 280 281 7 282 283 284 285 286 287 288 8 289 290 291 292 293 294 296	(6) (6) (6) (6) (7) 医療の質の改善の (1) (2) (3) (4) (5) (6)	療機関に紹介している。 が人教育(こつて、当該が人医療圏における学校や職域より依頼があった際には、外部講師として診療従事者を派遣し、がんに関する正しい 知識の音及啓発に努めている。 が、教育の実施に当たっては、児童生徒が当事者である場合や、身近にが心患者を持つ場合等があることを踏まえ、対象者へ十分な配慮を行っている。 研究 政策的公衆衛生的に必要性の高い調査研究に協力している。 これらの研究の協力依頼に対応する窓口の連絡先を国立が心研究センターに登録する。 治験を含む医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究コーディネーター(CRC)を配置すること。 治験を含む医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究コーディネーターとして助務している。 臨床研究コーディネーターとして動務している。 施尿研究コーディネーターとして動務している者の人数治験を除く医薬品等の臨床研究を行っている。 海豚な除く医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究法に則った体制を整備すること。 治験を除く医薬品等の臨床研究を行っている。 東施内容の広報等に努めている。 取相及び安全管理 自施認の診療機能や診療実績、地域連携に関する実績や活動状況の他、が心患者の療養生活の質について把握・評価し、課題認識を院内の関係者でよれましたよど、組織的な改善策を表談している。 の関係者で共有したよど、組織的な改善策を表談している。 を療法等に基づく医療安全にかかる適切な体制を確保している。 日本医療機能評価機構の審査等の第三者による評価を受けている。 第三者の名称 「直近で評価を受けたタイミング(ソソソソ/MM、例: 202309) 地域が心診療病院とグルーブ指定を受ける場合には、以下の体制を整備すること等によりグルーブ指定を受ける地域が心診療病院と協働して当該地域におけるが心診療等の提供体制を確保すること。 地域が心診療病院とグルーブ指定を受けている。 選準的な薬物療法を提供するための定期がな合同カンファレンスの開催を行っている。 選集的の主要は発展を発展している。 建携協力により相談支援や緩和ケアを充実させる体制を整備している。 診療機能確保のためのき接情目をより対えを同じないる。 診療機能確保のためのき接情目のよく材で流の計画策定及び実行の体制を整備している。 診療機能確保のためのき接情目の表と対象を対象を対象を対している。 を機能確保のためのき接情相の共き行動の影像を持め、大きな適かといる。 診療機能確保のためのき接情相の共き信している。 診療機能確保のための診療情報の共き情報の表を強している。 診療機能確保のための診療情報の共き情報の表を強している。 診療機能確保のための診療情報の共きに執力を整備している。 診療機能ではのいたの診療情報の共き体制を整備している。 診療機能ではのいためで診察者は表では、対象を除している。 診療機能ではのいきを情報の共きに関する人材で流の計画策定及び実行の体制を整備している。 診療機能ではのいきを情報の共きに関する人材で流の計画策定及び実行の体制を整備している。 を検索を持ている。 「対象ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない			別紙18に記載してください。 委託も可 274が"はい"の場合は要件区分がAになります。 278が"はい"の場合は要件区分がAになります。 別紙20に詳細を記載してください。 別紙20に詳細を記載してください。 日本医療機能評価機構に加え、JCI、ISO9001の認定も該当する。 別紙20に詳細を記載してください。
268 269 270 271 272 273 273 274 275 276 277 278 280 281 7 282 283 284 285 286 287 288 8 299 290 291 291 292 293 294 295 296 297	 6 6 6 6 6 6 7 医療の質の改善の (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) 	療機関に紹介している。 が人教育の実施に当たっては、児童生徒が当事者である場合や、身近にが人患者を持つ場合等があることを踏まえ、対象者へ十分な配慮を行っている。 が人教育の実施に当たっては、児童生徒が当事者である場合や、身近にが人患者を持つ場合等があることを踏まえ、対象者へ十分な配慮を行っている。 研究 政策的公奏衛生的に必要性の高い調査研究に協力している。 これらの研究の協力依頼に対応する窓口の連絡先を国立が人研究センターに登録する。 治験を含む医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究コーディネーター(CRC)を配置すること。 治験を含む医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究コーディネーター(CRC)を配置すること。 治験を含む医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究コーディネーター(CRC)を配置すること。 治験を含む医薬品等の臨床研究を行っている。 臨床研究コーディネーターとしている。 臨床研究コーディネーターとしている。 は一般を含む医薬品等の臨床研究を行っている。 応藤研究コーディネーターとしている。 「海験を除く医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究法に則った体制を整備すること。 治験を除く医薬品等の臨床研究を行っている。 東相及び安全管理 自施設の診療機能や診療実績、地域連携に関する実績や活動状況の他、が人患者の療養生活の質について把握・評価し、課題認識を院内の関係者で表したよで、組織的な改善策を護している。 を療法等に基づく医療安全にかかる適切な体制を確保している。 本医療機能評価機構の審査等の第三者による評価を受けている。 第三者の名称 直近で評価を受けたタイミング(ソソソソ/MM、例:202309) 地域がん診療病院とグルーブ指定を受ける場合には、以下の体制を整備すること等によりグルーブ指定を受ける地域がん診療病院と協働して当該地域におけるがん診療等の選供を制とを受けている。 準性的な実物療法を提供するためのシジンの審査等における支援を行っている。 連携協力により目前変法を提供するためのシジンの審査等における支援を行っている。 連携協力により相談支援や観知でアを充棄させる体制を整備している。 建度協力により相談支援や観知でアを充棄させる体制を整備している。 建度協力により相談支援や展刊アを充棄させる体制を整備している。 診療機能性保のための診療情報のよ者体制を整備している。 診療機能性保のための診療情報のよ者体制を整備している。 診療機能性保のための診療情報のよ者体制を整備している。 診療機能性保のための診療情報のよ者体制を整備している。 診療機能性保のための診療情報のよ者体制を整備している。 診療機能性保のための診療情報が見る体制を整備している。 高療能力により相談支援やの関連なが診療病院をやその連携内容、連携実績等についてわかりやすぐ広報している。 の意味は拠点病院として指定する場合の指定要件についで			別紙18に記載してください。 委託も可 274が"はい"の場合は要件区分がAになります。 278が"はい"の場合は要件区分がAになります。 別紙20に詳細を記載してください。 別紙20に詳細を記載してください。 日本医療機能評価機構に加え、JCI、ISO9001の認定も該当する。 別紙20に詳細を記載してください。
268 269 270 271 272 273 273 274 275 276 277 278 279 280 281 7 282 283 284 285 286 287 288 8 299 291 291 292 293 294 295 297	 6 6 6 6 6 6 7 医療の質の改善の (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) 	療機関に紹介している。 が人教育(こつて、当該が人医療圏における学校や職域より依頼があった際には、外部講師として診療従事者を派遣し、がんに関する正しい 知識の音及啓発に努めている。 が仏教育の実施に当たっては、児童生徒が当事者である場合や、身近にが心患者を持つ場合等があることを踏まえ、対象者へ十分な配慮を行っている。 研究 政策的公衆衛生的に必要性の高い調査研究に協力している。 これらの研究の協力依頼に対応する窓口の連絡先を関立がん研究センターに登録する。 治験を含む医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究コーディネーター(CRC)を配置すること。 治験を含む医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究コーディネーターとして勤務している。 国家、研究コーディネーターを配置している。 強験を除く医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究法に則った体制を整備すること。 治験を除く医薬品等の臨床研究を行っている。 海療を除く医薬品等の臨床研究を行っている。 国家、研究コーディネーターとして勤務している者の人数治験を除く医薬品等の臨床研究を行っている。 海療を除く医薬品等の臨床研究を行っている。 海療を除く医薬品等の臨床研究を行っている。 海療を除く医薬品等の臨床研究を行っている。 海療を除く医薬品等の臨床研究を行っている。 本産施内容の広報等に努めている。 東施内容の広報等に努めている。 東施内容の広報等に努めている。 本経の変にはのはませいます。 「おりますのなどして、PDCのサイクルが確保できるよう工夫をしている。 を療法等に基づく医療安全にかかる適切な体制を確保している。 「おりますの第三者による評価を受けている。 第三者の名称 直近で評価を受けたタイミング(YYYYY/MM、例:202309) 地域がん診療病院とグループ指定を受ける場合には、以下の体制を整備すること等によりグループ指定を受ける地域がん診療病院と協働して当該地域におけるがん診療等の提供体制を確保している。 第三者の名称 直近で評価を受けたタイミング(YYYYY/MM、例:202309) 地域がん診療病院とグループ指定を受ける場合には、以下の体制を整備している。 建策協力により目前療法、放射線療法、薬物療法を提供するためのシメンの審査等における支援を行っている。 通素な連携体が制を確保するための支援等に関する人材交流の計画策定及び実行の体制を整備している。 診療機能確保のための支援等に関する人材交流の計画策定及び実行の体制を整備している。 診療機能確保のための支援等に関する人材交流の計画策定及び実行の体制を整備している。 診療機能確保のための支援等に関する人材交流の計画策定及び実行の体制を整備している。 診療機能確保のための支援等に関する人材交流の計画策定及び実行の体制を整備している。 診療機能確保のためのを機能を発している。 を機能確保のよりの診療情報の共有体制を整備している。			別紙18に記載してください。 委託も可 274が"はい"の場合は要件区分がAになります。 278が"はい"の場合は要件区分がAになります。 別紙20に詳細を記載してください。 別紙20に詳細を記載してください。 日本医療機能評価機構に加え、JCI、ISO9001の認定も該当する。 別紙20に詳細を記載してください。
268 269 270 271 271 272 273 274 275 276 277 278 280 281 282 283 284 285 286 287 288 8 289 290 291 292 293 294 295 296 297 298 III #i	(6) (6) (6) (7) (8) (8) (8) (1) (2) (2) (3) (4) (5) (6) (7) 定機能病院を地域が	離機関に紹介している。 がん教育について、当該がA医療圏における学校や職域より依頼があった際には、外部講師として診療従事者を派遣し、がんに関する正しい 知識の音及啓発に努めている。 がん教育の実施に当たっては、児童生徒が当事者である場合や、身近にがん患者を持つ場合等があることを踏まえ、対象者へ十分な配慮を 行っている。 が表質の実施に当たっては、児童生徒が当事者である場合や、身近にがん患者を持つ場合等があることを踏まえ、対象者へ十分な配慮を 行っている。 これらの研究の協力依頼に対応する窓口の連絡先を国立が人研究センターに登録する。 治験を含む医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究コーディネーター(CRC)を配置すること。 治験を含む医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究コーディネーター(CRC)を配置すること。 治験を含む医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究はに関いた体制を整備すること。 温底研究コーディネーターを配置している。 臨床研究コーディネーターとして勤務している者の人数 治験を除く医薬品等の臨床研究を行っている。 ・			別紙18に記載してください。 委託も可 274が"はい"の場合は要件区分がAになります。 278が"はい"の場合は要件区分がAになります。 別紙20に詳細を記載してください。 別紙20に詳細を記載してください。 日本医療機能評価機構に加え、JCI、ISO9001の認定も該当する。 別紙20に詳細を記載してください。
268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278 279 280 281 7 282 283 284 285 286 287 288 88 289 290 291 292 293 294 295 297 298 300 301 302 303 1 特別	(6) (6) (6) (6) (7) (8) (7) (8) (8) (8) (7) (8) (8) (9) (9) (1) (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) 定機能病院を地域が、 (4) (5) (6) (7) 定機能病院を地域が、 (4) (5) (6) (7) (7) (7) (8) (8) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9	機機関に紹介している。 が外教育について、当該がA医療圏における学校や職域より依頼があった際には、外部講師として診療従事者を派遣し、がAに関する正しい 知識の書及啓発に努めている。 がA教育の実施に当たっては、児童生徒が当事者である場合や、身近にがA患者を持つ場合等があることを踏まえ、対象者へ十分な配慮を行っている。 ### *******************************			別紙18に記載してください。 委託も可 274が"はい"の場合は要件区分がAになります。 278が"はい"の場合は要件区分がAになります。 別紙20に詳細を記載してください。 別紙20に詳細を記載してください。 日本医療機能評価機構に加え、JCI、ISO9001の認定も該当する。 別紙20に詳細を記載してください。
268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278 279 280 281 7 282 283 284 285 286 287 288 8 299 291 291 292 293 294 295 297 298 300 301 302 1V 都3 303 304	(6) (6) (6) (7) (8) (8) (8) (9) (1) (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) 定機能病院を地域が、 (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (8) (8) (8) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9	機機関に紹介している。 がA、教育について、当該がAに医療圏における学校や職域より依頼があった際には、外部講師として診療従事者を派遣し、がAに関する正しい 知識の書及啓発に努力でした。 がA、教育の実施に当たっては、児童生徒が当事者である場合や、身近にがA患者を持つ場合等があることを踏まえ、対象者へ十分な配慮を行っている。 がA、教育の実施に当たっては、児童生徒が当事者である場合や、身近にがA患者を持つ場合等があることを踏まえ、対象者へ十分な配慮を行っている。 これらの研究の協力機関に対応する窓口の連絡先を国立がA研究センターに登録する。 治験を含む医薬品等の協康研究を行う場合は、臨床研究コーディネーター(CRC)を配置すること。 治験を含む医薬品等の協床研究を行う場合は、臨床研究法に則った体制を整備すること。 施尿研究コーディネーターを配置している。 遊妹を除く医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究法に則った体制を整備すること。 ・ 治験を除く医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究法に則った体制を整備すること。 ・ 治験を除く医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究法に則った体制を整備すること。 ・ 海豚研究法に則った体制を整備すること。 ・ 海豚研究法に則った体制を整備すること。 ・ 海豚研究法に則った体制を整備している。 変施の容の広根等に努みている。 取材及び変全管理 自危股の診療機能や診療実績、地域連携に関する実績や活動状況の他、がA患者の療養生活の質について把握・評価し、課題認識を院内の関係者で共有したより、組織的な認識を続じている。 を成法有したより、組織的な認識を続じている。 を成法等に基づく医療安全にかるる適切な体制を確保している。 連携協力により手術療法、放射線療法 薬物療法を提供すると対している。 連携協力により手術療法、放射線療法 薬物療法を提供すること。 地域がん診療病院とグループ指定を受ける場合には、以下の体制を整備している。 連携協力により手術療法、放射線療法 薬物療法を提供すること。 企業な当場体制を確保するための定別的な合同カンフレンスの開催を行っている。 連携協力により目前を支援している。 連携協力により目前を支援している。 連携協力により目前を支援している。 連携とのための支援等に関する人材交流の計画療定及び実行の体制を整備している。 診療機能を保のための支援等に関する人材交流の計画療定及び実行の体制を整備している。 診療機能の保のための支援等に関する人が交流の計画療定及び実行の体制を整備している。 を機能が展にのよるいある連携を動している。 を機能が展にのよるいの連集内の非常を構している。 を機能が展にのよるいの連集内の連携を発している。 を機能が展に対する医師の派遣や人材育成による診療支援に関する関点を参照しているが観点のよるとと。 他の拠点病院等に対する医師の派遣や人材育成による診療支援に関する観点を参照に、那道府県協議会に積極的に参画すること。 他の拠点病院等に対する医師の派遣や人材育成による診療支援に関する観点を参照に、那道府県協議会に積極的に参画している。 (40) 関点病院等に対する医師の派遣や人材育成により依頼の派遣や人材育成による診療支援に関する関点の影響に関する関点の影響に関する関点の影響に対する関点の影響に対する関点の影響に対する関点の影響に対する関点の影響に対する関点の影響に対する機能の影響に対する機能の影響に対する場合には、対域を関する場合には、対域を関するといれている。 (40) 単点病院等に対する医師の派遣を使われているといれている。 (40) 単点病院等に対する医師の派遣を持続の派遣や人材育成による診療を関する関点に表述している。 (40) 単点病院等に対する医師の派遣や人材育成による診療を関すると、関する関するといれているといれているといれている。 (40) 単点病院等に対する医師の派遣を使われているといれ			別紙18に記載してください。 素託も可 274が"はい"の場合は要件区分がAになります。 278が"はい"の場合は要件区分がAになります。 別紙20に詳細を記載してください。 別紙20に詳細を記載してください。 日本医療機能評価機構に加え、JCI、ISO9001の認定も該当する。 別紙20に詳細を記載してください。 別紙27に詳細を記載してください。
268	(a) (b) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c	機機関に紹介している。 が小教育について、当該がん医療圏における学校や職域より依頼があった際には、外部講師として診療従事者を派遣し、がんに関する正しい 知識の書と要条に努めている。 が小教育の文献に当たっては、児童生徒が当事者である場合や、身近にが心患者を持つ場合等があることを踏まえ、対象者へ十分な配慮を行っている。 「神変ないる大教育の文献と当たのでは、児童生徒が当事者である場合や、身近にが心患者を持つ場合等があることを踏まえ、対象者へ十分な配慮を行っている。 「神変ないる大教育の文献と対しているのでは、別量研究に協力している。 「出たらの研究の協力技能性」が対する室口の連絡を全質が大い研究センターに登録する。 「治験を含む医薬品等の際床研究を行う場合は、原味研究コーディネーターに保RC)を配置すること。 「施味研究コーディネーターを配置している。 「施味研究コーディネーターと配置している。 「海峡を含む医薬品等の際床研究を行う場合は、原味研究法に則った体制を整備すること。 「海峡を除く医薬品等の際床研究を行う場合は、原味研究法に則った体制を整備すること。 「海峡を除く医薬品等の際床研究を行う場合は、原味研究法に則った体制を整備すること。 「海峡を除く医薬品等の際床研究を行う場合は、原味研究法に則った体制を整備すること。 「海峡の家体療を除て医薬品等の原味研究を行う場合は、原味研究法に則った体制を整備すること。 「海峡の家体療を除て医薬品等の原味研究を行っている。 「森内容の広報等に努めている。 「神経を除りを発展している。 「神経を保護・「おいました性が、自然では、以下の体制を整備すること等によりグループ指定を受けたタイミング(アソアソ/MM、例: 202309) 地域が心診療病院とのがレーブ指定を受ける場合には、以下の体制を整備すること等によりグループ指定を受ける地域がん診療病院と協働して当該地域におけるが心診療等の提供体制を確保すること。 地域が心診療病院とグルーブ指定を受ける場合には、以下の体制を整備している。 建築協立により相談支援を確保するための足別的な合理を使すること。 建築協立により相談支援を確保するための定期的なる原理がよりまままままままままままままままままままままままままままままままままままま			別紙18に記載してください。 委託も可 274が"はい"の場合は要件区分がAになります。 278が"はい"の場合は要件区分がAになります。 別紙20に詳細を記載してください。 別紙20に詳細を記載してください。 日本医療機能評価機構に加え、JCI、ISO9001の認定も該当する。 別紙20に詳細を記載してください。
268	(6) (6) (6) (6) (7) (8) (7) (8) (8) (7) (8) (8) (9) (9) (1) (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (6) (7) (6) (7) (1) (2) (3) (4) (2) (3) (4) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (6) (7) (7) (8) (8) (9) (1) (1) (2) (3) (4) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (7) (8) (8) (8) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9	機機関に紹介している。 が小教育について、当該がん医療圏における学校や職域より依頼があった際には、外部講師として診療従事者を派遣し、がんに関する正しい 知識の書と要象に努めている。 が小教育の実施に当たっては、児童生徒が当事者である場合や、身近にがん患者を持つ場合等があることを踏まえ、対象者へ十分な配慮を行っている。 「神学学校の実際生的」に必要性の高い調査研究に協力している。 「おもの時変の過去を関している」 「治験を含む医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究ニーディネーターに登録する。 「治験を含む医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究ニーディネーターに登録する。 「治験を含む医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究は、「自身では、自身では、自身では、自身では、自身では、自身では、自身では、自身では、			別紙18に記載してください。 素託も可 274が"はい"の場合は要件区分がAになります。 278が"はい"の場合は要件区分がAになります。 別紙20に詳細を記載してください。 別紙20に詳細を記載してください。 日本医療機能評価機構に加え、JCI、ISO9001の認定も該当する。 別紙20に詳細を記載してください。 別紙20に詳細を記載してください。 別紙27に詳細を記載してください。
268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278 280 281 282 283 284 285 286 287 288 289 290 291 291 292 293 294 297 298 300 301 301 301 302 302 303 304 305 306 307 308 309 22 230 300 301 301 301 303 304 305 306 307 308 309 22 230 300 301 301 303 304 305 306 307 308 309 22 230 24 24 25 25 26 27 28 28 28 28 28 28 28 28 28 28 38 38 300 301 302 303 304 305 306 307 308 309 22 230 300 301 301 302 303 304 305 306 307 308 309 22 230 300 301 301 302 303 304 305 306 307 308 309 22 230 300 301 301 302 303 304 305 306 307 308 309 309 300 300 300 300 300 300 300 300	(6) (6) (6) (6) (7) (8) (8) (7) (8) (7) (8) (8) (9) (1) (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) 定機能病院を地域が (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (8) (8) (8) (9) (1) (1) (2) (3)	機機則に紹介している。 が人参育について、当該が人医療圏における学校や職域より依頼があった際には、外部講師として診療使事者を派遣し、が人に関する正しい が人参育に支払いて、当該が人医療圏における学校や職域より依頼があった際には、外部講師として診療使事者を派遣し、が人に関する正しい 加温の資産を発に努めている。 が人参育の実施に当たっては、児童生徒が当事者である場合や、身近にが人患者を持つ場合等があることを踏まえ、対象者へ十分な配慮を 行っている。 第文 改変的公産権生約に必要性の高い調査研究に協力している。			別紙18に記載してください。 素託も可 274が"はい"の場合は要件区分がAになります。 278が"はい"の場合は要件区分がAになります。 別紙20に詳細を記載してください。 別紙20に詳細を記載してください。 日本医療機能評価機構に加え、JCI、ISO9001の認定も該当する。 別紙20に詳細を記載してください。 別紙20に詳細を記載してください。 別紙27に詳細を記載してください。
268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278 280 281 282 283 284 285 286 287 288 289 290 291 292 293 294 297 292 293 294 295 297 298 300 301 301 302 301 303 304 305 306 307 308 309 310	(6) (6) (6) (6) (7) (8) (7) (8) (7) (8) (7) (8) (9) (1) (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (6) (7) (6) (7) (7) (8) (1) (1) (2) (3) (4) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (6) (7) (7) (8) (8) (1) (9) (1) (1) (2) (3) (4) (1) (2) (3)	機機則・紹介している。 が人参育について、当該が人医療圏における学校や職域より依頼があった際には、外部講師として診療役事者を派遣し、がんに関する正しい 知識の意思を見に努めている。 が人参育の支援に関かっている。 が人参育の支援に関かっている。 が人参育の支援に当たっては、児童生徒が当事者である場合や、身近にがん患者を持つ場合等があることを踏まえ、対象者へ十分な配慮を打変。 建設 変演的/宗療生的に必要性の高い調査研究に協力している。			別紙18に記載してください。 素託も可 274が、はい、の場合は要件区分がAになります。 278が、はい、の場合は要件区分がAになります。 別紙20に詳細を記載してください。 日本医療機能評価機構に加え、JCI、ISO9001の認定も該当する。 別紙20に詳細を記載してください。 別紙20に詳細を記載してください。 別紙20に詳細を記載してください。 別紙27に詳細を記載してください。
268	(6) (6) (6) (6) (7) (8) (7) (8) (7) (8) (7) (8) (9) (1) (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (6) (7) (6) (7) (7) (8) (1) (1) (2) (3) (4) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (6) (7) (7) (8) (8) (1) (9) (1) (1) (2) (3) (4) (1) (2) (3)	機機則に紹介している。 が小板育について、当該かん医療圏における学校や職域より依頼があった際には、外部講師として診療従事者を派遣し、が小に関する正しい が小板育について、当該から、原生性が当事者である場合や、身近にが人患者を持つ場合等があることを請求え、対象者へ十分な配慮を 打変 変数分を素性を別った要性の高い調査研究に協力している。 一点の研究の協力に対している。 「海域を含む医薬品等の顕珠研究を行う性の方に協力している。 「海域を含む医薬品等の顕珠研究を行う場合は、臨床研究ニーディネーター(CRC)を配置する。 「海域を含む医薬品等の過族研究を行う場合は、臨床研究ニーディネーター(CRC)を配置する。 「海域を含む医薬品等の過族研究を行う場合は、臨床研究ニーディネーター(CRC)を配置する。 「海域を含む医薬品等の過族研究と行う場合は、臨床研究ニーディネーター(CRC)を配置する。 「海域を含む医薬品等の過族研究と行う場合は、臨床研究ニーディネーター(CRC)を配置する。 「海域を含む医薬品等の過族研究と行う場合は、臨床研究ニーディネーター(CRC)を配置する。 「海域を含む医薬品等の過族研究と行う場合は、臨床研究法に削った体制を整備する。」 「海域を含む医薬品等の過族研究と行う場合は、臨床研究法に削った体制を発情する。 「海域を含む医薬品等の通族が関究を行う場合は、臨床研究法に削った体制を整備する。」 「海域を含む医薬品等の通療研究と行う場合は、臨床研究法に削った体制を発情する。 「海域を含む医薬品等の通療研究を行う場合は、臨床研究法に削った体制を発情する。 「海域を含む医療変をとかかるの違切な格験を信候している。 の際はよびな金種質 自能投の診論機能学の変換を含また。 「本の際ははないはでは、以下の体制を整備することで等によりグループ指定を受ける地域が人診療病院と協物して当該の議論と経験する。 「東域が人診療病院と経療の事業のの事業と関係と関係と関係と関係を受けている。 「海域のよりに対しまする。 「東域のよりに対しまする。 「東域のよりに対しまが、対しなが、対しないが、表しまが、対しないが、表しまが、対しないが、表しまが、対しないが、表しまが、表しまが、対している。 「地域のよりに対します」 「地域のよりに対します」 「地域のよりに対しまする。 「地域のよりに対しまする。 「地域のよりに対しまする。 「地域のよりに対しまする。 「地域のよりに対します。 「地域のよりに対しまする。 「地域のよりに対しまする。 「地域のよりに対します。 「			別紙18に記載してください。 素託も可 274が"はい"の場合は要件区分がAになります。 278が"はい"の場合は要件区分がAになります。 278が"はい"の場合は要件区分がAになります。 別紙20に詳細を記載してください。 日本医療機能評価機構に加え、JCI、ISO9001の認定も該当する。 別紙20に詳細を記載してください。 別紙20に詳細を記載してください。 別紙27に詳細を記載してください。 別紙27に詳細を記載してください。 別紙27に詳細を記載してください。 別紙27に詳細を記載してください。
268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278 280 281 285 286 287 288 289 290 291 292 293 294 295 296 297 298 III 45 45 45 45 45 45 4	(6) (6) (6) (6) (7) (8) (7) (8) (8) (7) (8) (9) (1) (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (7) (6) (7) (7) (7) (8) (8) (8) (8) (9) (1) (1) (2) (3) (4) (4) (5) (6) (7) (7) (8) (8) (8) (9) (9) (9) (1) (1) (2) (3) (4) (4)	意機側に紹介している。 が必要前について、当該が人医療側における学校や職域より依頼があった際には、外部講師として診療従事者を派遣し、がんに関する正しい が出版の意思と答案に努めている。 が必要前の実施に患力では、児童生徒が当事者である場合や、身近にが人患者を持つ場合等があることを踏まえ、対象者へ十分な配慮を 行っている。 現職の企業者生的に必要性の高い職業研究に協力している。 これの研究の協力で観して対応する窓口の運動が生態立かん研究センターに登録する。 「総議と書む医素高等の職務研究を行う埋命は、職体研究ニーティホーター(CRSC)を限限すると 「施族研究ニーティネーターを起間している。 現族研究ニーティネーターを起置している。 「施族研究ニーティネーターとして勤務している。 「施族研究ニーティネーターとして勤務している。 「施族研究ニーティネーターとして動物している。 「施族研究ニーティネーターとして動物している。 「施族研究ニーティネーターとして動物している。 「施族研究ニーティネーターとして動物している。 「施族研究ニーティネーターとして動物している。 「施族研究ニーティネーターとして動物している。 「施族研究」ニーティネーターとして動物している。 「施族研究」ニーティネーターとして動物している。 「施族研究」ニーティネーターとして動物している。 「施族研究」に対している。 「施族研究」に対している。 「施族研究」に対している。 「施族研究」に対している。 「施族研究」に対している。 「施族研究」に対している。 「施族研究」に対している。 「他の関係で大き利用するだとして、PDCAサイクルが確保できるよう工夫をしている。 「原族法」と、「基礎的などの通りな体的を確保している。 「本理的に実物情とグループ指定を受けている。 「本理的に実物情とが人診療病院とび事かし、対したいが、と、対し、と、対したいが、と、対したいが、と、対したいが、と、対したいが、と、対したいが、と、対したいを表が、と、対したいが、と、対したいが、と、対したいが、と、対したいが、と、対したいが、と、対したいが、と、対したいが、と、対したいが、と、対している。 「他の関係を関係で、と対したいが、と、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、			別紙18に記載してください。 素託も可 274が"はい"の場合は要件区分がAになります。 278が"はい"の場合は要件区分がAになります。 278が"はい"の場合は要件区分がAになります。 別紙20に詳細を記載してください。 別紙20に詳細を記載してください。 別紙20に詳細を記載してください。 別紙20に詳細を記載してください。 別紙27に詳細を記載してください。 別紙27に詳細を記載してください。 別紙27に詳細を記載してください。 別紙27に詳細を記載してください。 別紙27に詳細を記載してください。 別紙3に詳細を記載してください。 - 別紙3度料で、都道府県協議会の議題や議事録等、議論の内容がわかる資料を添付してください。
268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278 280 281 285 286 287 288 289 290 291 292 293 294 295 296 297 298 III \$\frac{45}{300}\$ 300 301 303 304 305 306 307 308 309 310 311	(6) (6) (6) (6) (7) (8) (7) (8) (8) (7) (8) (9) (1) (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (7) (6) (7) (7) (7) (8) (8) (8) (8) (9) (1) (1) (2) (3) (4) (4) (5) (6) (7) (7) (8) (8) (8) (9) (9) (9) (1) (1) (2) (3) (4) (4)	機関に紹介している。 がんの育について、動弦が心態機関における学校や職球より依頼があった際には、外部講師として診療後事者を派遣し、かんに関する正しい 知識の資金を発生、努めている。 がんを育につまた。これで、関金を使が当事者である場合や、身近にが心患者を持つ場合等があることを踏まえ、対象者へ十分な配慮を行っている。 一般を含む原素品等の側接続である。 一部の形式の切力技能に対ちる名類ロの連絡未を間立が心研究センターに参替する。 一般を含む原素品等の側接研究を行う場合は、職種研究コーディネーター(GRC)を影響する。 一般を含む原素品等の側接研究を行う場合は、職種研究コーディネーター(GRC)を影響する。 一般を含む原素品等の側接研究を行う場合は、職種研究コーディネーター(GRC)を影響する。 一般を含む原素品等の側接研究を行う場合は、職様研究は、アイネーターを配置している。 一般を修び復業品等の側接研究を行う場合は、職様研究法に削った体制を整備すること。 一般を修び復業品等の領法研究を行う場合は、職様研究法に削った体制を整備すること。 一般を修び復業品等の領法研究を行う場合は、職体研究法に削った体制を整備すること。 一般を修び復業品等の領法研究を行う場合は、職体研究法に削った体制を整備すること。 一般を修び復業品等の関係が対象を表しまいた。 「機能力が必要を表しました。」 ・ は他の影とは表しました。 ・ は他の影とは表しました。 ・ は他の影とは表しました。 ・ は他の影とは表しました。 ・ は他の影とはなの地のいたのもでは、ま物を表と提出する体制を整備すること等によりグループ指定を受けたタイミング(YYYY/MM、例・202300) ・ はまびよ様体的を後度するための定規的な合同がよってレスの機能を整備すること等によりグループ指定を受けたら地域が必能療験とは他して当該地域に対けるがんが必要を受けませる。 ・ はまびよ様体的を後までは、なり目標を表しましまりまましましましましましましましましましましましましましましましましま			別紙18に記載してください。 素託も可 274が"はい"の場合は要件区分がAになります。 278が"はい"の場合は要件区分がAになります。 278が"はい"の場合は要件区分がAになります。 別紙20に詳細を記載してください。 別紙20に詳細を記載してください。 別紙20に詳細を記載してください。 別紙20に詳細を記載してください。 別紙27に詳細を記載してください。 別紙27に詳細を記載してください。 別紙27に詳細を記載してください。 別紙27に詳細を記載してください。 別紙27に詳細を記載してください。 別紙3に詳細を記載してください。 - 別紙3度料で、都道府県協議会の議題や議事録等、議論の内容がわかる資料を添付してください。
268 269 270 271 272 273 274 275 278 282 283 284 285 286 287 282 291 292 293 294 295 296 297 298 303	(6) (6) (6) (6) (7) (7) (8) (7) (8) (7) (8) (7) (8) (4) (5) (6) (7) (7) (8) (7) (8) (1) (1) (2) (3) (4) (4) (5) (6) (7) (7) (8) (7) (8) (9) (1) (1) (2) (3) (4) (4) (5) (6) (7) (7) (8) (8) (9) (9) (1) (1) (2) (3) (4) (4) (5) (6) (7) (7) (8) (8) (9) (9) (9) (9) (9) (1) (1) (2) (3) (4) (4) (5) (6) (7) (7) (8) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9	連盟の日本ので、当該が人医療側における学校や職域より依頼があった際には、外部講師として診療従事者を派遣し、が人に関する正しい 対域の含意と乗りまめている。 が人を育りました。 を表した。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といるの研究のほの技術に対比する際日の重要を全国立な人研究センターに登録する。 「おきを含む医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究ニーディネーター(CRC)を配際すること。 「施設・含む医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究ニーディネーター(CRC)を配際すること。 「施設・含む医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究ニーディネーター(CRC)を配際すること。 「施設・会か、医療品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究ニーディネーター(CRC)を配際すること。 「海技・含む医薬品等の臨床研究を行う場合は、協床研究ニーディネーターとして動物では、 「海技・含む医薬品等の臨床研究を行う場合は、協体研究によりた体制を整備すること。 「海技・会か、医療品等の臨床研究を行うせいる。 「海域を修べ、医薬品等の施味研究を行っている。 「海域を修べ、医薬品等の施味研究を行っている。 「海域のから構物で素性、地域連続に関する実情や活動に沢の他、がん患者の健養生活の質について把握・評価し、課題認識を険内の関係者では有した。 「本庭性機能評価機構の審査等の第三者による評価を受けている。 「連定の事情の後とのかいから通知な体制を健康している。 「連定の事情の後とのがして、 「東西は一般の様とのがして、 「東西は一般の様とのがして、 「東西は一般の様とのがして、 「東西は一般の様とのがして、 「東西は一般の様とのがして、 「東西は一般の様とのがして、 「東西は一般の様とのがして、 「東西は一般の様とのがした。 「東西は一般の人とのが、 「東西は一般の人とのとない。 「東西は一般の人とのとない。 「東西は一般の人とのいか」を確情の人も有限による診療を関している。 「最近によるが多で、 「東西は一般の人とのとないました。 「東西は一般の人とのいました。			別紙18に記載してください。 委託も可 274が"はい"の場合は要件区分がAになります。 278が"はい"の場合は要件区分がAになります。 別紙20に詳細を記載してください。 日本医療機能評価機構に加え、JCI、ISO9001の認定も該当する。 別紙20に詳細を記載してください。 別紙20に詳細を記載してください。 別紙27に詳細を記載してください。 別紙27に詳細を記載してください。 別紙27に詳細を記載してください。 別紙27に詳細を記載してください。 別紙13に詳細を記載してください。 別紙13に詳細を記載してください。 一人以上配置が必要 別紙13に詳細を記載してください。

ページ 様式4(機能別)

	指針の箇所		要件	要件区分	令和6年9月1	備考欄
320		3	緊急緩和ケア病床を確保し、かかりつけ患者や連携協力リストを作成した在宅療養支援診療所等からの紹介患者を対象として、緊急入院体制を整備している。	-	日時点の状況	914 5 (AV
321		4	耐空空喘している。 地域の病院や在宅療養支援診療所、ホスピス・緩和ケア病棟等の診療従事者と協働して、緩和ケアにおける連携協力に関するカンファレンス を月1回程度定期的に開催している。	-		
322		⑤	緩和ケアセンターの構成員が参加するカンファレンスを週1回以上の頻度で開催し、緩和ケアセンターの業務に関する情報共有や 検討を行っている。	-		
323		6	緩和ケアセンターは、都道府県と協力する等により、都道府県内の各拠点病院等が、緩和ケア提供体制の質的な向上や、地域単位の緩和ケアに関する取組について検討できるように、支援を行っている。	-		
324		7	緩和ケアセンターには、IIの2の(2)の①のオに規定する緩和ケアチームの医師に加えて、以下の専門的な知識及び技能を有する医師を配置している。	-		
325 326		7	緩和ケアセンターの機能を統括する医師を緩和ケアセンター長として1人配置している。 当該医師については、常勤であり、かつ、院内において管理的立場の医師である。			
327 328		1	緊急緩和ケア病床を担当する専門的な知識及び技能を有する常勤の医師を1人以上配置している。 (なお、Iの2の(2)の①のオに規定する緩和ケアチームの医師との兼任を可とする。) 当該医師については、夜間休日等も必要時には主治医や当直担当医と連絡を取ることができる体制を整備している。	-		
329		8	緩和ケアセンターには、IIの2の(2)の2のウからオに規定する緩和ケアチームの構成員に加えて、以下の専門的な知識及び技能を有する 医師以外の診療従事者を配置している。	-		
330 331		ア	緩和ケアセンターの機能を管理・調整する、専従のジェネラルマネージャーを配置している。 ジェネラルマネージャーは、常動であり、かつ院内において管理的立場にある看護師である。	- -		
332 333		7	当該看護師はがん看護に関する専門資格を有する者である。 アに規定するジェネラルマネージャーとは別に、専従かつ常勤の看護師を2人以上配置している。	- -		
334			当該看護師はがん看護に関する専門資格を有する者である。 (また、当該看護師はIIの2の(2)の2のウに規定する看護師との兼任を可とする。)	-		
335		ゥ	緩和ケアセンターの業務に協力する薬剤師を配置している。 当該薬剤師はがん薬物療法に関する専門資格を有する者である。 (また、当該薬剤師はⅡの2の(2)の②のエに規定する薬剤師との兼任を可とする。)			
337		ī	(また、 当該条件間は 1002の(2)の2の工に成たする条件間との系性で可とする。) 専任の緩和ケアセンターにおける相談支援業務に携わる者を1人以上配置している。 (また、当該者についてはがん相談支援センターの相談支援に携わる者との兼任および、がん相談支援センター内にて当該業務に従事するこ	_		
Н			とを可とする。) ジェネラルマネージャーを中心に、歯科医師や医療心理に携わる者、理学療法士、管理栄養士、歯科衛生士等の			
338		イ がん診療連携	診療従事者が連携している。 拠点病院の指定要件について	-		
340	1		特定のがんについて、集学的治療等を提供する体制を有している。	_		別紙22に詳細を記載してください。
341			集学的治療等を提供する体制を有する、具体的ながん種について記載してください。	_		
342 343			標準的治療等がん患者の状態に応じた適切な治療を提供している。 当該がんについて当該都道府県内で最も多くの患者を診療している。			
344 345	3		Ⅱに規定する地域拠点病院の指定要件を満たしている。緊急対応が必要な患者や合併症を持ち高度な管理が必要な患者に対して拠点病院等と連携し適切ながん医療の提供を行っている。	-		12~290に関して、区分Aの要件に未充足がない場合に"はい"を選択してください。 別紙23に詳細を記載してください。
346	4		<u> </u>	_		別紙24に詳細を記載してください。
347 348		診療病院の指 府県協議会に	定要件についておける役割			
349 350			各都道府県の他の拠点病院等と協働して都道府県協議会を設置し、その運営に主体的に参画すること。 その際、各がん医療圏におけるがん医療の質を向上させるため、当該がん医療圏を代表して都道府県協議会の運営にあたるとともに、都道	A A	はい	
351	2 診療(府県協議会の方針に沿って各がん医療圏におけるがん医療が適切に提供されるよう努めること。	^	10.0	
352 353		診療機能 ① 集学的治	計療等の提供体制及び標準的治療等の提供 我が国に多いがんを中心として、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携して集学的治療等を提供する体制を有するとともに、標			
354 355		アイ	我が国に多いかんを中心として、クルーノ指定を受けるかん診療連携拠点病院と連携して果学的治療等を提供する体制を有するとともに、標 準的治療等がん患者の状態に応じた適切な治療を提供している。 確実な連携体制を確保するため、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と定期的な合同のカンファレンスを開催している。	A	はい	別紙25に詳細を記載してください。
356 357		ا ا ا	##美な連携体制を確保することの、ワルーフ指定を受けるか心診療運携施品病院と足効的な音向のカラブドレジへを開催している。 医師からの診断結果、病状の説明時や治療方針の決定時には、以下の体制を整備している。 患者とその家族の希望を踏まえ、看護師や公認心理師等が同席している。	A	はい	
358 359		ii	治療プロセス全体に関して、患者とともに考えながら方針を決定している。 標準治療として複数の診療科が関与する選択肢がある場合に、その知見のある診療科の受診ができる体制を確保している。	A A	はい	
360 361		工	診療機能確保のための支援等に関し、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院との人材交流計画を策定・実行している。 特に、集学的治療等を提供することが困難な場合における専門的な知識及び技能を有する医師等の定期的な派遣の依頼、専門外来の設置	A A	はい	別紙26に詳細を記載してください。 別紙3に詳細を記載してください。
362		オ	等に努めている。 がん患者の病態に応じたより適切ながん医療を提供できるよう以下のカンファレンスをそれぞれ必要に応じて定期的に開催している。	A	はい	
363		į.	個別もしくは少数の診療科の医師を主体とした日常的なカンファレンス	А	はい	各診療科で日常的に開催している場合は"はい"を選択してください。
364		ii	個別もしくは少数の診療科の医師に加え、看護師、薬剤師、必要に応じて公認心理師や緩和ケアチームを代表する者などを加えた、症例への 対応方針を検討するカンファレンス	А	はい	各診療科で日常的に開催している場合は"はい"を選択してください。
365		iii	手術、放射線診断、放射線治療、薬物療法、病理診断及び緩和ケア等に携わる専門的な知識及び技能を有する医師とその他の専門を異にする医師等による、骨転移・原発不明がん・希少がんなどに関して臓器横断的にがん患者の診断及び治療方針等を意見交換・共有・検討・確認 等するためのカンファレンス	Α	9	・一ヶ月当たりの開催回数を記載してください。(●回/月)
366		iv	等する。こののアプラインへ 臨床倫理的、社会的な問題を解決するための、具体的な事例に則した患者支援の充実や多職種間の連携強化を目的とした院内全体の多職 種によるカンファレンス	Α	5	-ーヶ月当たりの開催回数を記載してください。(●回/月)別紙4に詳細を記載してください。
367 368		'	IVのカンファレンスを定期的に開催している。 検討した内容について、診療録に記録の上、関係者間で共有している。	A A	はい	
369		カ	院内の緩和ケアチーム、口腔ケアチーム、栄養サポートチーム、感染防止対策チーム等の専門チームへ、医師だけではなく、看護師や薬剤師等、他の診療従事者からも介入依頼ができる体制を整備している。	A	はい	別紙19に詳細を記載してください。
370		+	保険適用外の免疫療法等について、治験、先進医療、臨床研究法で定める特定臨床研究または再生医療等の安全性の確保等に関する法律 に基づき提供される再生医療等の枠組み以外の形では、実施・推奨していない。	Α	はい	
371			保険適用外の免疫療法等について、提供または推奨している場合は、上記のどの枠組みに該当するか明記すること。 (なお、提供または推奨していない場合は、「なし」と記入すること。)	-	なし	
372		② 手術療法	」 ま、放射線療法、薬物療法の提供体制の特記事項 「集学的治療等を適切に提供できる体制を整備する上で、適宜グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院との連携により			
373		ア	特に以下に対応すること。 我が国に多いがんに対する手術のうち、提供が困難であるものについてはグループ指定を受けるがん診療連携拠点病院との連携により提供	A	はい	
375		1	できる体制を整備している。 グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより術中迅速病理診断を提供できる体制を整備している。	A	はい	
376			(なお、当該体制は遠隔病理診断でも可とする。) 術中迅速病理診断を遠隔病理診断で対応依頼することがある。	-	いいえ	
377 378		ゥ	術後管理体制の一環として、手術部位感染に関するサーベイランスを実施している。	Α	はい	
379 380		エ	その際、厚生労働省院内感染対策サーベイランス事業(JANIS)へ登録している。 設備や上せ配置の占れた対射線治療の提供が困難でなる場合には、グループ指定を受けるがく診療連進拠占病院と連携することにより対射	С	はい	390行日・391行日のいずかかが/けい"の場合のみ 自動的に"けー
		_	設備や人材配置の点から放射線治療の提供が困難である場合には、グルーブ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射 線治療を提供できる体制を整備すること。	C A -	はい	380行目・381行目のいずれかが"はい"の場合のみ、自動的に"は い"が選択されます。
381			設備や人材配置の点から放射線治療の提供が困難である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射 線治療を提供できる体制を整備すること。 自施設で放射線治療を提供している。 グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射線治療を提供できる体制を整備している。	A	はいいえはい	い"が選択されます。
381 382		<i>†</i>	設備や人材配置の点から放射線治療の提供が困難である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射 線治療を提供できる体制を整備すること。 自施設で放射線治療を提供している。 グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射線治療を提供できる体制を整備している。 関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。	A –	はいいえ	
381 382 383 384			設備や人材配置の点から放射線治療の提供が困難である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射 線治療を提供できる体制を整備すること。 自施設で放射線治療を提供している。 グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射線治療を提供できる体制を整備している。 関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。 ●リニアックについて(※自施設で実施している場合のみ)。 直近で実施した第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること。(YYYY/MM、例:202309)	A	はいいえはい	い"が選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には"い
381 382 383 384 385			設備や人材配置の点から放射線治療の提供が困難である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射 線治療を提供できる体制を整備すること。 自施設で放射線治療を提供している。 グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射線治療を提供できる体制を整備している。 関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。 ●リニアックについて(※自施設で実施している場合のみ) 直近で実施した第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること。(YYYY/MM、例:202309) 測定機関名を記入すること。	A	はいいえはい	い"が選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には"い
381 382 383 384 385 386 387		t b	設備や人材配置の点から放射線治療の提供が困難である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射 線治療を提供できる体制を整備すること。 自施設で放射線治療を提供している。 グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射線治療を提供できる体制を整備している。 関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。 ●リニアックについて(※自施設で実施している場合のみ) 直近で実施した第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること。(YYYY/MM、例:202309) 測定機関名を記入すること。 基準線量の±5%の水準以内である。 外来化学療法を実施しているがん患者が急変時等の緊急時に入院できる体制を確保している。	A A	はいいえはいいいえ	い"が選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には"い
381 382 383 384 385 386		カ キ ク	設備や人材配置の点から放射線治療の提供が困難である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射 線治療を提供できる体制を整備すること。 自施設で放射線治療を提供している。 グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射線治療を提供できる体制を整備している。 関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。 ●リニアックについて(※自施設で実施している場合のみ) 直近で実施した第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること。(YYYY/MM、例:202309) 測定機関名を記入すること。 基準線量の±5%の水準以内である。 外来化学療法を実施しているがん患者が急変時等の緊急時に入院できる体制を確保している。 免疫関連有害事象を含む有害事象に対して、他診療科や他病院と連携する等して対応している。 グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院との連携により、薬物療法のレジメンを審査するとともに、標準的な薬物療法を提供できる体制を整備している。	A	はいいえばいいいえ	い"が選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には"い
381 382 383 384 385 386 387 388 389 390		<i>t</i>	設備や人材配置の点から放射線治療の提供が困難である場合には、グループ指定を受けるが心診療連携拠点病院と連携することにより放射 線治療を提供できる体制を整備すること。 自施設で放射線治療を提供している。 グループ指定を受けるが心診療連携拠点病院と連携することにより放射線治療を提供できる体制を整備している。 関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。 ●リニアックについて(※自施設で実施している場合のみ) 直近で実施した第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること。(ソソソソ/MM、例:202309) 測定機関名を記入すること。 基準線量の±5%の水準以内である。 外来化学療法を実施しているが心患者が急変時等の緊急時に入院できる体制を確保している。 免疫関連有害事象を含む有害事象に対して、他診療科や他病院と連携する等して対応している。 グループ指定を受けるが心診療連携拠点病院との連携により、薬物療法のレジメンを審査するとともに、標準的な薬物療法を提供できる体制 を整備している。 の提供体制 が心診療に携わる全ての診療従事者により、全てのが心患者に対し入院、外来を問わず日常診療の定期的な確認項目に組み込むなど頻回 がん診療に携わる全ての診療従事者により、全てのが心患者に対し入院、外来を問わず日常診療の定期的な確認項目に組み込むなど頻回	A A A A A	はいいえはいいえ	い"が選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には"い
381 382 383 384 385 386 387 388 389 390		カ キ ク	設備や人材配置の点から放射線治療の提供が困難である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射 線治療を提供できる体制を整備すること。 自施設で放射線治療を提供している。 グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射線治療を提供できる体制を整備している。 関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。 ●リニアックについて(※自施設で実施している場合のみ) 直近で実施した第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること。(YYYY/MM、例:202309) 測定機関名を記入すること。 基準線量の±5%の水準以内である。 外来化学療法を実施しているがん患者が急変時等の緊急時に入院できる体制を確保している。 免疫関連有害事象を含む有害事象に対して、他診療科や他病院と連携する等して対応している。 グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院との連携により、薬物療法のレジメンを審査するとともに、標準的な薬物療法を提供できる体制 を整備している。 の提供体制 が仏診療に携わる全ての診療従事者により、全てのがん患者に対し入院、外来を問わず日常診療の定期的な確認項目に組み込むなど頻回 に苦痛の把握に努め、必要な緩和ケアの提供を行っている。 がん患者の身体的苦痛や精神心理的苦痛、社会的な問題等の把握及びそれらに対する適切な対応を、	A A A A A	はいいえはいはいはいはい	い"が選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には"い
381 382 383 384 385 386 387 388 389 390	-	カ キ ク	設備や人材配置の点から放射線治療の提供が困難である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射線治療を提供できる体制を整備すること。 自施設で放射線治療を提供している。 グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射線治療を提供できる体制を整備している。 関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。 ●リニアックについて(※自施設で実施している場合のみ) 直近で実施した第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること。(YYYY/MM、例:202309)測定機関名を記入すること。 外来化学療法を実施しているがん患者が急変時等の緊急時に入院できる体制を確保している。 多疫関連有害事象を含む有害事象に対して、他診療科や他病院と連携する等して対応している。 グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院との連携により、薬物療法のレジメンを審査するとともに、標準的な薬物療法を提供できる体制を整備している。 の提供体制 がん診療に携わる全ての診療従事者により、全てのがん患者に対し入院、外来を問わず日常診療の定期的な確認項目に組み込むなど頻回に苦痛の把握に努め、必要な緩和ケアの提供を行っている。 がん患者の身体的苦痛や精神心理的苦痛、社会的な問題等の把握及びそれらに対する適切な対応を、診断的から一貫して経時的に行っている。 診断や治療方針の変更時には、ライフステージ、就学・就労、経済状況、家族との関係性等、がん患者とその家族にとって重要な問題につい	A A A A A	はいいえはいいえ	い"が選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には"い
381 382 383 384 385 386 387 388 389 390 391		カ キ ク	設備や人材配置の点から放射線治療の提供が困難である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射 線治療を提供できる体制を整備すること。 自施設で放射線治療を提供している。 グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射線治療を提供できる体制を整備している。 関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。 ●リニアックについて(※自施設で実施している場合のみ) 直近で実施した第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること。(ソΥΥΥ/ΜΜ、例:202309) 測定機関名を記入すること。 基準線量の±5%の水準以内である。 外来化学療法を実施しているがん患者が急変時等の緊急時に入院できる体制を確保している。 免疫関連有害事象を含む有害事象に対して、他診療科や他病院と連携する等して対応している。 グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院との連携により、薬物療法のレジメンを審査するとともに、標準的な薬物療法を提供できる体制 を整備している。 の提供体制 がん診療に携わる全ての診療従事者により、全てのがん患者に対し入院、外来を問わず日常診療の定期的な確認項目に組み込むなど頻回 に苦痛の把握に努め、必要な緩和ケアの提供を行っている。 がん患者の身体的苦痛や精神心理的苦痛、社会的な問題等の把握及びそれらに対する適切な対応を、 診断時から一貫して経時的に行っている。 診断時から一貫して経時的に行っている。 診断時から一貫して経時的に行っている。 診断・ら一貫して経時的に行っている。 診断・ら一貫して経時的に行っている。 診断・ら一貫して経時的に行っている。 診断・ら一貫して経時的に行っている。 診断・ら一貫して経時的に行っている。 診断・ら一貫して経時的に行っている。 診断・ら一貫して経時的に行っている。 診断・ら一貫して経時的に行っている。	A A A A A A A	はいいえはいいえばいはいはいはい	い"が選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には"い
381 382 383 384 385 386 387 388 389 390 391 392		カ キ ク 3 緩和ケア ア	設備や人材配置の点から放射線治療の提供が困難である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射 線治療を提供できる体制を整備すること。 自施設で放射線治療を提供している。 グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射線治療を提供できる体制を整備している。 関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。 ●リニアックについて(※自施設で実施している場合のみ) 直近で実施した第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること。(YYYY/MM、例:202309) 測定機関名を記入すること。 基準線量の±5%の水準以内である。 外来化学療法を実施しているがん患者が急変時等の緊急時に入院できる体制を確保している。 免疫関連有害事象を含む有害事象に対して、他診療科や他病院と連携する等して対応している。 免疫関連有害事象を含む有害事象に対して、他診療科や他病院と連携する等して対応している。 グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院との連携により、薬物療法のレジメンを審査するとともに、標準的な薬物療法を提供できる体制 が仏診療に携わる全ての診療従事者により、全てのがん患者に対し入院、外来を問わず日常診療の定期的な確認項目に組み込むなど頻回 に苦痛の把握に努め、必要な緩和ケアの提供を行っている。 がん患者の身体的苦痛や精神心理的苦痛、社会的な問題等の把握及びそれらに対する適切な対応を、 診断時から一貫して経時的に行っている。 診断的治療力針の変更時には、ライフステージ、就学・就労、経済状況、家族との関係性等、がん患者とその家族にとって重要な問題につい て、患者の希望を踏まえて配慮や支援ができるよう努めている。 ア、イを実施するため、がん診療に携わる全ての診療従事者の対応能力を向上させることが必要であり、これを支援するために組織上明確に 位置付けられた緩和ケアチームにより、以下を提供するよう体制を機合しいる。 下規的に緩和ケアチームにより、以下を提供するよう体制を機合しいる。 で期的に養種ウケアンアンスを行い、依頼を受けていないがん患者も含めて苦痛の把握に努めるとともに、適切な症状緩和につい。 で期的に養種ウケアシアンスを行い、依頼を受けていないがん患者も含めて苦痛の把握に努めるとともに、適切な症状緩和につい。	A A A A A A A	はいいえはいはいはいはいはいはい	い"が選択されます。 才については、自施設で放射線治療を提供していない場合には"いいえ"を選択してください。
381 382 383 384 385 386 387 390 391 392 393 394 395 396		カ キ ク 3 緩和ケア ア	設備や人村配置の点から放射線治療の提供が困難である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射線治療を提供できる体制を整備すること。 自施設で放射線治療を提供している。 グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射線治療を提供できる体制を整備している。 関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。 関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること。(YYYY/MM、例:202309)	A	はい いいえ はい いいえ	い"が選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には"いいえ"を選択してください。
381 382 383 384 385 386 387 388 390 391 392 393 394 395 396 397 398		カ キ ク 3 緩和ケア ア	設備や人材配置の点から放射総治療の提供が困難である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射 総治療を提供できる体制を整備すること。	A A A A A A A A A A A	はい いいえ はい いいえ はい はい はい はい はい	い"が選択されます。 才については、自施設で放射線治療を提供していない場合には"いいえ"を選択してください。 別紙8に詳細を記載してください。
381 382 383 384 385 387 388 389 390 391 392 393 394 395 396 397		オ カキーク タ 緩和ケア アイ	設備や人材配置の点から放射線治療の提供が困難である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射 総治療を提供できる体制を整備すること。 グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射線治療を提供できる体制を整備している。 グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射線治療を提供できる体制を整備している。 ●リニアックについて(※自施設で実施している場合のみ) 直近で実施した第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること。(YYYY/MM、例:202309) 測定機関名を記入すること。 基準線量の±5%の水準以内である。 外来化学療法を実施しているが心患者が急変時等の緊急時に入院できる体制を確保している。 免疫関連有害事象を含む有害事象に対して、他診療科や他病院と連携する等して対応している。 グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院との連携により、薬物療法のレジメンを審査するとともに、標準的な薬物療法を提供できる体制を整備している。 の提供体制 が心診療に携わる全ての診療従事者により、全てのが心患者に対し入院、外来を問わず日常診療の定期的な確認項目に組み込むなど類回に苦痛の担握に努め、必要な緩和ケアの提供を行っている。 が心患者の身体的苦痛や精神心理的苦痛、社会的な問題等の把握及びそれらに対する適切な対応を、診断や治療が針の変更時には、ライフステージ、就学・就労、経済状況、家族との関係性等、が心患者とその家族にとって重要な問題について、患者の希望を踏まえて配慮や支援ができるよう努めている。 ア・イを実施するため、が心診療に携わる全ての診療従事者の対応能力を向上させることが必要であり、これを支援するために組織上明確に位置付けられた緩和ケアチームにより、以下を提供するよう体制を整備している。 定期的に病棟ラウンド及びカンファレンスを行い、依頼を受けていないが心患者自含のとともに、適切な症状緩和について協議し、必要に応じて主体的に助言や指導等を行っている。 (2)の20つうに規定する看護師は、苦痛の把握の支援や専門的緩和ケアの提供に関する調整等、外来・病棟の看護業務を支援・強化する役割を担っている。 建者が必要な緩和ケアを受けられるよう、緩和ケア外来の設置など外来において専門的な緩和ケアを提供できる体制を整備している。 患者が必要な緩和ケアを受けられるよう、緩和ケア外来の設置など外来において専門的な緩和ケアを提供できる体制を整備している。	A — — — — — — — — — — — — — — — — — — —		い"が選択されます。 才については、自施設で放射線治療を提供していない場合には"いいえ"を選択してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。
381 382 383 384 385 386 389 390 391 392 393 394 395 396 397 398 399 400 401		オ カキーク タ 緩和ケア アイ	設備や人材配置の点から放射線治療の提供が困難である場合には、グルーブ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射線治療を提供できる体制を整備すること。	A — — — — — — — — — — — — — — — — — — —		い"が選択されます。 才については、自施設で放射線治療を提供していない場合には"いいえ"を選択してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。
381 382 383 384 385 386 387 391 392 393 394 395 396 397 400 401 402 403		オ カキゥ ク ② 緩和ケア イ ゥ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	設備や人材配置の点から放射線治療の提供が困難である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射 総治療を提供できる体制を整備すること。	A — — — — — — — — — — — — — — — — — — —		い"が選択されます。 才については、自施設で放射線治療を提供していない場合には"いいえ"を選択してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。
381 382 383 384 385 386 387 390 391 392 393 394 395 396 397 398 399 400 401 402 403 404		オ カキゥ ク マ イ ウ ・ iii エ オ	設備や人材配置の点から放射線治療の提供が困難である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射 総治療を提供できる体制を整備すること。	A — — — — — — — — — — — — — — — — — — —	the control of the	い"が選択されます。 才については、自施設で放射線治療を提供していない場合には"いいえ"を選択してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。
381 382 383 384 385 386 387 389 390 391 392 393 394 395 396 397 398 399 400 401 402 403 404 405		オ カキゥ ク マ イ ウ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	設備や人材配置の点から放射線治療の提供が困難である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射 競治療を提供できる体制を整備すること。	A — — — — — — — — — — — — — — — — — — —		い"が選択されます。 才については、自施設で放射線治療を提供していない場合には"いいえ"を選択してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。
381 382 383 384 385 386 387 390 391 392 393 394 395 396 397 398 399 400 401 402 403 404		オ カキゥ ク マ イ ウ ・ iii エ オ	接債や人材配置の点から放射線治療の提供が困難である場合には、グループ指定を受けるが心診療連携拠点病院と連携することにより放射 競治療を提供できる体制と整備すること。 グループ指定を受けるが心診療連携拠点病院と連携することにより放射線治療を提供できる体制を整備している。 関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	A — — — — — — — — — — — — — — — — — — —	the control of the	い"が選択されます。 才については、自施設で放射線治療を提供していない場合には"いいえ"を選択してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙5に詳細を記載してください。
381 382 383 384 385 386 387 389 390 391 392 393 394 395 396 397 398 399 400 401 402 403 404 405 406 407		オ カキゥ マイ ウ i ii ii キ ク	設備や人材配置の点から放射線治療の提供が国難である場合には、グルーブ指定を受けるが心診療連携拠点病院と連携することにより放射 競流療を提供できる体制を整備すること。 クルーブ指定を受けるが心診療連携拠点病院と連携することにより放射線治療を提供できる体制を整備している。 関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。 ・ サーブンについて(※自施設で実施している場合のみ)・	A — — — — — — — — — — — — — — — — — — —		い"が選択されます。 才については、自施設で放射線治療を提供していない場合には"いいえ"を選択してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙5に詳細を記載してください。 別紙5に詳細を記載してください。 「リンクナース:医療施設において、各種専門チームや委員会と病棟看護師等をつなぐ役割を持つ看護師をいう。 アドバンス・ケア・プランニング:人生の最終段階の医療・ケアについて、本人が家族等や医療・ケアチームと事前に繰り返し話し合う
381 382 383 384 385 386 387 389 390 391 392 393 394 395 396 397 398 399 400 401 402 403 404 405 406 407 408		オ カキ ク マコ エ オ カ i ii ii キ ク ケコ	設備や人材配置の点から放射線治療の提供が困難である場合には、グルーブ指定を受けるがん診療連携製点病院と連携することにより放射 総治療を提供できる体制を整備すること。 グルーブ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射線治療を提供できる体制を整備している。 関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。 ●リニアンクについて(※自施設て集施している場合のみ) 直近で実施した第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること。(ソソソソ/MM、例:202300) 測定機関名を記入すること。 基準機量の土ち%の水準以内である。 み変関連有害事象を含む有害事象に対して、他診療科や他病院と連携する等して対応している。 グルーブ指定を受けるがん診療連携拠点病院との連携により、薬物療法のレジンを審査するとともに、標準的な薬物療法を提供できる体制 を整備している。 がループ指定を受けるがん診療連携拠点病院との連携により、薬物療法のレジンと審査するとともに、標準的な薬物療法を提供できる体制 を整備している。 が発展に持わる全ての診療従事者により、全てのが心患者に対し入院、外来を問わず日常診療の定期的な確認項目に組み込むなど頻回 に書摘の犯機に勢わら金での診療従事者により、全てのが心患者に対し入院、外来を問わず日常診療の定期的な確認項目に組み込むなど頻回 に書摘の犯機に与わる全ての診療従事者により、全てのが心患者に対し入院、外来を問わず日常診療の定期的な確認項目に組み込むなど頻回 に書摘の犯機に与わら金での診療従事者により、数学、就労、経済状況、家族との関係性等、が心患者とその家族にとって重要な問題について、患者の発達を踏まえて配慮と支援ができるよう勢がている。 診断や治療方針の変更強には、ライフステージ、数学、放労、経済状況、家族との関係性等、が心患者とその家族にとって重要な問題について、患者の発生踏まえて配慮と支援ができるよう勢がている。 診断が治療力が必要を確定する場合を支援ができるよう勢がている。 に関付けられた線和ケアンで見にいましたはにの最合と対象を受けていないが心患者も含めて苦痛の把値に努めるとともに、適切な症状験和について に適したの主体に対したの最らでは関すると関係を受けていないが心を着も含めて苦痛の把値に努めるとともに、適切な症状験和について に選出したいる。 認定としたこまは対しの最もに助意く治療を受けている。または受けていな、患者の治療等、外来・病様を関心でいる。 建和ケアケチェキの患者が高いでは、全部でより、連和ケアケアを浸している、これと考問を発信している。 は親カケアケールとの過度を経済に対したいる。 総和ケアケールとの過度を設定している。 総カケアケールとの過度を設定している。 総和ケアケールとの過度を設定している。 総和ケアケールとの過度を設定している。 総和ケアケールとの過度を設定している。 ・総を受けるのと、総和ケアケームの情能を集に対したいる。 ・おきで家族に対したかりやすく情報を集めするために、がん治療を行っている。 総和ケアケールの考慮を経りエーレいる。 ・おきに対しための事でを検討する手順等、評価された苦痛に対する対しを明確化し、院内の全での診療後事者に周知するととも に、患者を変態に対したかりやすく情報を集めするというに、が、のないの意味を検討を関している。 ・おきな家族に対したかが、と思わなどの意味を検討を関している。 ・おりのの事に対しないる。 ・おりのの事に対しないる。 ・説ののの事に対しないる。 ・おりのの事に対しないる。 ・説ののの事に対しないる。 ・おしている。 ・おしている。 ・おしているといるに対しないる。 ・おしているといるといるといるといるといるといるのが、 ・説のののでは、 ・おしているといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるとい	A — — — — — — — — — — — — — — — — — — —	tan	い"が選択されます。 才については、自施設で放射線治療を提供していない場合には"いいえ"を選択してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙5に詳細を記載してください。 別紙5に詳細を記載してください。 「リンクナース:医療施設において、各種専門チームや委員会と病棟看護師等をつなぐ役割を持つ看護師をいう。 アドバンス・ケア・プランニング:人生の最終段階の医療・ケアについて、本人が家族等や医療・ケアチームと事前に繰り返し話し合う
381 382 383 384 385 386 387 388 390 391 392 393 394 395 396 397 398 399 400 401 402 403 404 405 406 407 408 409 410		オ カキ ク マコ エ オ カ i ii ii キ ク ケコ	設備や人材配置の点から放射線治療の提供が困難である場合には、グルーブ指定を受けるがん診療連携製点病院と連携することにより放射 総治療を提供できる体制を整備すること。 グルーブ指定を受けるが心診療連携拠点病院と連携することにより放射線治療を提供できる体制を整備している。 関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。 ●リニアンクについて(※自施設で実施している場合のみ) 直近で実施した第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること。(ソソソソ/MM、例:202309) 測定機関名を配入すること。 本準線量の上ち%の水準以内である。 及及関連有音事象を含む有音事象に対して、他診療料や他病院と選携する等して対応している。 グルーブ指定を受けるが心診療連携製品病院との連携により、薬物療法のレジンを含むするとともに、標準的な薬物療法を提供できる体制を整備している。 が必要ではるが心診療連携製品病院との連携により、実施しているとである。 が必要ではるが心診療連携製品病院との連携により、実施している。 が必要の関連有音事象を含む有害事態に対して、他診療料や他病院と選携する等して対応している。 が必要の関連を受けるが心診療連携製品病院との連携により、外来を問わず日常診療の定期的な確認項目に組み込むなど頻回に主意摘の把握し勢が、必要な嫌迫やアの提供を行っている。 が心患者の身体的音像や精神心理的音痛、社会的な問題等の把握及びそれらに対する適切な対応を、 が必要ではあれる金での診療従事者により、全てのが心を表して対しな。 診断や治療方針の変更明には、ライフステージ、数学、就労、経済状況、常族との関係性等、が心患者とその家族にとって重要な問題について、患者の参望診査えて配慮と支援ができるよう勢がている。 ア、イを実施するため、が心診療に振わる全ての診療性事者の対応能力を向上させることが必要であり、これを支援するために組織上明確に 位間付けられば胸わケアチー仏により、以下を提供するよう機能を整備している。 に関付けるは無知ケアメを受いにままた的に助意や指導を受けている。 経験用の事態をと応にままた的に助意や指導を受けている。 が必要とい応にままた的に助意や指導を受けている。 は関わケアメ等・の患者能介にい意やが心診療を受けている。または受けていた。 建物インアを提供をはよれるよう、緩和ケアケアメテルを通常を必要には、自記式の服薬配達を機両により、外来・病様を関わず医療用麻 業等を自己管理できるよう課題している。 と変用麻薬等の協病薬の初回使用時や用量の対策を受けている。または受けていた患を強をでしている。 経験カケアメデリエル・対応を関係を受けている。または受けていたまして、製力といる。 は最初インアを提供がされるよう、緩和クアメネの診察を対している。 は機力イアメキャラの経り無違を整備に対している。 はカイアメキャラの経り無違を整備に対している。 は関わてアクル・対応を発展している。 と変用麻薬等の験痛寒の切回使用時や用量の増減をするとと、 に、患者との家族に対したかりやすく情報を集と以下により環候すること。 はを発展している。の意味を経過する手順等、非確なよれた意味に対しための変を関係であると見れための表が多様を関値している。 を変別を必要ないまれためである。 とないまれために対している。 を変別のが、患者に関係が表がでアチームへ情報を集めするに対している。 を変別のが、患者に関係を整備により、などの意味を整備している。 と変別のが、患者に対している。 を変別しないの事を使用するといれためにより、 はためにより、があるといれためによりな必要があるといれたるを関節的では、 を関係を関係と関係を関係といれている。 はなり、なりになりまないないないないまないないないないないないないないないないないないないない	A — — — — — — — — — — — — — — — — — — —	tan	い"が選択されます。 才については、自施設で放射線治療を提供していない場合には"いいえ"を選択してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙5に詳細を記載してください。 別紙5に詳細を記載してください。 別紙7に詳細を記載してください。 別紙7に詳細を記載してください。 別紙7に詳細を記載してください。
381 382 383 384 385 386 387 388 390 391 392 393 394 395 396 397 398 399 400 401 402 403 404 405 406 407 408 409 410 411 412		オ カキ ク マコ エ オ カ i ii ii キ ク ケコ	診債や人材配置の点から放射線治療の提供が写真である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院は連携することにより放射 総治療を提供できる体制を整備すること。 グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射線治療を提供している。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	A — — — — — — — — — — — — — — — — — — —		い"が選択されます。 才については、自施設で放射線治療を提供していない場合には"いいえ"を選択してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙5に詳細を記載してください。 別紙5に詳細を記載してください。 別紙5に詳細を記載してください。 別紙7に詳細を記載してください。 別紙7に詳細を記載してください。 別紙7に詳細を記載してください。
381 382 383 384 385 386 387 388 389 390 391 392 393 395 396 397 398 399 400 401 402 403 404 405 406 407 408 409 410 411		オ カキゥ (3)	設備や人材配置の点から放射線治療の提供が可識である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射 能治療を提供できる体制を整備すること。 グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射線治療を提供している。 グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射線治療を提供している。 ・・・ ・・・ ・・・ ・・・ ・・・ ・・・ ・・・	A — — — — — — — — — — — — — — — — — — —		い"が選択されます。 才については、自施設で放射線治療を提供していない場合には"いいえ"を選択してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙5に詳細を記載してください。 別紙5に詳細を記載してください。 別紙7に詳細を記載してください。 別紙7に詳細を記載してください。 別紙7に詳細を記載してください。

様式4(機能別)

### Company of the Co	11 指:	針の箇所		要件	要件区分	令和6年9月1 日時点の状況	備考欄
	416				Α		
The content of the	417			ホームページ等で、自施設におけるこれらの実施体制等について分かりやすく公表している。 全てのがん患者に対して苦痛の把握と適切な対応がなされるよう緩和ケアに係る診療や相談支援、患者からのPRO(患者報告アウトカム)、			PRO: 自覚症状やQOLに関する対応の評価のために行う患者の主
The content of the	419			それを踏まえて自施設において組織的な改善策を講じる等、緩和ケアの提供体制の改善に努めている。	L		観的な報告をまとめた評価のこと。
The control of the	420 421	(4)	プログログログ アロー・	がん患者の紹介、逆紹介に積極的に取り組むとともに、以下の体制を整備している。	A	はい	
### 1997 1997 1997 1997 1997 1997 1997 1	422		i	接続イデルが提供に関して、当該が心医療圏内の緩和ケア操作体制について情報提供できる体制を整備している。 「その家族に対し常に地域の緩和ケア提供体制について情報提供できる体制を整備している。 「希少がんに関して、専門家による適切な集学的治療が提供されるよう、他の拠点病院等及び地域の医療機関との連携及び情報提供ができる。			
The content of the	423		"-	体制を整備している。 高齢のがん患者や障害を持つがん患者について、患者や家族の意思決定支援の体制を整え、地域の医療機関との連携等を図り総合的に支			
2	425			介護施設に入居する高齢者ががんと診断された場合に、介護施設等と治療・緩和ケア・看取り等において連携する体制を整備している。	Α	はい	
### 1997 1997 1997 1997 1997 1997 1997 1	426 427		ゥ	当該がん医療圏内のがん診療に関する情報を集約し、当該がん医療圏内の医療機関やがん患者等に対し、情報提供を行っている。		はい	
	428			科医師と連携して対応している。			別紙29に詳細を記載してください。
### 19	430			退院支援に当たっては、主治医、緩和ケアチーム等の連携により療養場所等に関する意思決定支援を行うとともに、必要に応じて地域の在宅			
### 17 Pro- 19 (19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 1	431			当該がん医療圏において、地域の医療機関や在宅療養支援診療所等の医療·介護従事者とがんに関する医療提供体制や社会的支援、緩和	Α	はい	
### 100 1	432			緩和ケアチームが地域の医療機関や在宅療養支援診療所等から定期的に連絡・相談を受ける体制を確保し、	Α	はい	
### 15 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	433		-	都道府県や地域の患者会等と連携を図り、患者会等の求めに応じてピア・サポートの質の向上に対する支援等に取り組んでいる。	Α	はい	
	434 435	(5)		医師からの診断結果や病状の説明時及び治療方針の決定時等において、すべてのがん患者とその家族に対して、他施設でセカンドオピニオ	Α	はい	
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	436 437			説明の際、心理的な障壁を取り除くことができるよう留意している。	A	はい	
### 15 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	438		1	当該施設で対応可能ながんについて、手術療法、放射線療法、薬物療法又は緩和ケアに携わる専門的な知識及び技能を有する医師によりセ	Α	·	
	439 440	6	,	の特性に応じた診療等の提供体制	С	いいえ	
### 19 0	441		ア	やコンサルテーションで対応している。			
### 19 1	443		ゥ	各地域のがん・生殖医療ネットワークに加入し、「小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業」へ参画するとともに、対象と			
### 1985/# 1987 1995 1995 1995 1995 1995 1995 1995 199	444			患者の希望を確認するとともに、がん治療を行う診療科が中心となって、院内または地域の生殖医療に関する診療科とともに、妊孕性温存療	А	はい	
### 17 17 17 17 17 17 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18	445			自施設において、がん・生殖医療に関する意思決定支援を行うことができる診療従事者の配置・育成に努めている。	Α	はい	妊孕性:子どもをつくるために必要な能力のこと。精子や卵子だけ
### 14 1	446		I		Α	はい	アピアランスケア:医学的・整容的・心理社会的支援を用いて、外見
### 1997	447			それらの相談に応じる多職種からなるAYA世代支援チームを設置している。	С	はい	るケアのこと。
#2. 東京政権が全性機能であった。	448			一般社団法人AYAがんの医療と支援のあり方研究会の開催する「AYA世代がんサポート研修会」を受けた院内の診療従事者の人数	-		777 PD 1 O 1 C BT POW C BO MA O C C 1/2 C V 3
10	449 450		オ	また、意思決定能力を含む機能評価を行い、各種ガイドラインに沿って、個別の状況を踏まえた対応をしている。	Α	はい	
10	451 452	(O) =\sigma(S)					別紙10に詳細を記載してください。
	453 454 455	(2) 部分	景促事者 専門的な マ		不可です。 ^Δ	9	※一人以上の配置が必要です
	400			N Po - N Po - N N N N N N N N N N		3	専従:専従とは当該診療の実施日において、当該診療に専ら従事
日本語で大学が設定されている。	456		1	専従の放射線治療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の人数(※放射線治療を実施する場合)	-	0	の就業時間の少なくとも8割以上、当該診療に従事していることを
日							※自施設で放射線治療を実施している場合は、一人以上の配置が
中							
### 1. **** ***** ***** ***** ***** ******	457		ゥ	専任の薬物療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師の人数	Α	1	ても差し支えないものとする。ただし、その就業時間の少なくとも5
Table							
日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日							
	458		エ	緩和ケアチームに配置されている、専任の身体症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師の人数	Α	1	る。
1	459					1	
1	461			当該医師のうち、専任の者の人数	С		※一人以上の配直が必要です。
### 2000 日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	463		オ	専任の病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の人数 リハビリテーションに携わる専門的な知識および技能を有する医師の人数	C	0	
	466	2		知識及び技能を有する医師以外の診療従事者の配置 放射線治療に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の診療放射線技師を2人以上配置している。(放射線治療を実施する場合)	-		
	467				-		
### 100 100	469			専任の放射線治療に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の看護師を1人以上配置している。(放射線治療を実施する場合)			
選択の人数 第一人の上の配面があまり。 1	470 471				-		
75	472		1	外来化学療法室に配置されている、専任の薬物療法に携わるがん看護又はがん薬物療法に関する専門的な知識及び技能を有する常勤の看護師の人数		·	※一人以上の配置が必要です。
第4の多種物語に関うる機能のという。	473 474			外来化学療法室に配置されている、専任の薬物療法に携わるがん看護又はがん薬物療法に関する専門的な知識及び技能を有する常勤の看			
「最初の複数値の人態 一	475		_	専任の薬物療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の薬剤師の人数			W INLOSTE PATENT
□	476 477		9	常勤の看護師の人数 当該看護師のうち、がん看護又は緩和ケアに関する専門資格を有する者の人数		-	※一人以上の配直が必要です。
	478		I	緩和ケアチームに協力する薬剤師、社会福祉士等の相談支援に携わる者、公認心理師等の医療心理に携わる者を それぞれ1人以上配置している。		15.1	
(3) その他の現境整備等 必要に応じアルーブ指定を受けるが心管確達機型と高機に進布する管理と満たけ鉄能を有する管理診理すると、	479 480 481			緩和ケアチームに協力する社会福祉士等の相談支援に携わる者の人数	C	1	
(3) その他の現境整備等 必要に応じアルーブ指定を受けるが心管確達機型と高機に進布する管理と満たけ鉄能を有する管理診理すると、	482 483		オ	細胞診断に係る業務に携わる専門的な知識及び技能を有する者の人数	A	2	
(3) その他の現境整備等 必要に応じアルーブ指定を受けるが心管確達機型と高機に進布する管理と満たけ鉄能を有する管理診理すると、	484 485			がんのリハビリテーションに係る業務に携わる専門的な知識および技能を有する理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等の人数 がんのリハビリテーションに係る業務に携わる専門的な知識および技能を有する理学療法士の人数		12 7	
必要に応じガルーブ指定を使けるが心診療連携拠点病院と連携する等により、I の2の(3)に定める原件を満たすこと。	486 487 488	(0) 7.1	り他の理せ	がんのリハビリテーションに係る業務に携わる専門的な知識および技能を有する言語聴覚士の人数			
2 集学的治療等の内容や治療前後の生活における注意点等に関して、冊子や視聴覚教材等を用いてが心患者及びその家族が自主的に確認で	488 489 490			<u>必要に応じグループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携する等により、Ⅱ の2の(3)に定める要件を満たすこと。</u>	C	(±1.)	別紙9に詳細を記載してください。
その曲子や視聴変数体等にオンラインでも確認できる。	491			集学的治療等の内容や治療前後の生活における注意点等に関して、冊子や視聴覚教材等を用いてがん患者及びその家族が自主的に確認できる環境を整備している。	Α	はい	The state of the s
1932 1933 1934 1935	492 493	(3))	その冊子や視聴覚教材等はオンラインでも確認できる。 がん治療に伴う外見の変化について、がん患者及びその家族に対する説明やアピアランスケアに関する情報提供・相談に応じられる体制を整			
自施設に精神科、心療内科等がない場合は、地域の医療機関と連携体制を確保している。	494 495			がん患者の自殺リスクに対し、院内で共通したフローを使用し、対応方法や関係機関との連携について明確にしている。	A	はい	別紙14に詳細を記載してください。
自施設に精神科、心療内科等がない場合は、地域の医療機関と連携体制を確保している。	495 496 497			自施設に精神科、心療内科等がある。	<u> </u>	いいえ	
当該がん医療圏のがん患者を一定程度診療していること。Aはい502 503 504当該がん医療圏のがん患者の診療割合(%) 院内がん登録数 (期間:令和5年1月1日~12月31日)-25右隣シート「(参考)診療割合算出表」を適宜ご参照ください。 計上方法: 入院、外来は問わない自施設初回治療分。症例区分20 および30の数をいう。 計上方法: 医科診療報酬点数表等2章第10 部に掲げる悪性腫瘍 手術をいう。病療診断により悪性腫瘍であることが確認された場合に限る。)なお、内視鏡的切除も含む。 合に限る。)なお、内視鏡的切除も含む。504 505 506かんに係る薬物療法のべ患者数 (期間:令和5年1月1日~12月31日)-1660 3。ただし内分泌療法単独の場合は含めない。なお、患者数については1レジメンあたりを1人として計上する。505 506放射線治療のべ患者数 (期間:令和5年1月1日~12月31日)-1400507 508計上方法: 医科診療報酬点数表等2章第12部の放射線治療に含まれるものとする。ただし、血液照射は除く。なお、患者数については2がメンあたりを1人として計上する。509 509放射線治療のべ患者数 (期間:令和5年1月1日~12月31日)-0計上方法: 医科診療報酬点数表等2章第12部の放射線治療に含まれるものとする。ただし、血液照射は除く。なお、患者数については複数部位照射する場合でも、一連の治療計画であれば1人として計	498				Α		
院内がん登録数 (期間:令和5年1月1日~12月31日)	499 500	3 診療実統	摃				- 上版:
振性腫瘍の手術件数 (期間:令和5年1月1日~12月31日)	501 502				-		計上方法:入院、外来は問わない自施設初回治療分。症例区分20
合に限る。) なお、内視鏡的切除も含む。	503			悪性腫瘍の手術件数 (期間:令和5年1月1日~12月31日)	-	97	計上方法:医科診療報酬点数表第2章第 10 部に掲げる悪性腫瘍 手術をいう。(病理診断により悪性腫瘍であることが確認された場
505 うち、外来化学療法のべ患者数(期間: 令和5年1月1日~12月31日) - 1400 506 放射線治療のべ患者数(期間: 令和5年1月1日~12月31日) - 0							合に限る。)なお、内視鏡的切除も含む。 計上方法:経口、静注または皮下注射による全身投与を対象とす
計上方法: 医科診療報酬点数表第2章第12部の放射線治療に含まれるものとする。ただし、血液照射は除く、なお、患者数については複数部位照射する場合でも、一連の治療計画であれば1人として計	504			ID: No. ()	-	1660	
放射線治療のべ患者数 (期間: 令和5年1月1日~12月31日)	505			うち、外来化学療法のべ患者数 (期間:令和5年1月1日~12月31日)	-	1400	
	506			放射線治療のべ患者数 (期間:令和5年1月1日~12月31日)	-	0	れるものとする。ただし、血液照射は除く。なお、患者数については
	Ш			I			

9 / 44 ページ 様式4(機能別)

11 指針0	り箇月	听	要件	要件区分	令和6年9月1 日時点の状況	備考欄
507			緩和ケアチームの新規介入患者数 (期間:令和5年1月1日~12月31日)	-	53	計上方法: 患者数については同一入院期間内であれば複数回介入しても1人として計上する。
	4 ,	人材育成等				
509 510	1	(1)	必要に応じグループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携する等により、II の4に定める要件を満たすこと。 自施設において、2に掲げる診療体制その他要件に関連する取組のために必要な人材の確保や育成に積極的に取り組んでいる。	A	はい	
511 512			特に、診療の質を高めるために必要な、各種学会が認定する資格等の取得についても積極的に支援している。 広告可能な資格を有する者のがん診療への配置状況について積極的に公表している。 病院長は、自施設においてがん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師等の専門性及び活動実績等を定期的に評価し、当該医師	A A	はい	
513		(2)	一般の表現では、日本のでは、これでは、「大学のでは、「はないは、「はないは、「はないには、「はないには、「はないには、」は、「はないには、「はないには、「はないには、」には、「はないには、「はないには、」には、「はないには、「はないには、」には、「はないには、「はないには、」には、「はないには、「はないには、」には、「はないには、「はないには、」には、「はないには、」には、「はないには、「はないには、」には、「はないには、「はないには、」には、「はないには、」には、「はないには、」には、「はないには、」には、「はないには、「はないには、」には、「はないには、」には、「はないには、」には、「はないには、」には、「はないには、」には、「はないには、」には、「はないには、」には、「はないには、」には、「はないには、」には、「はないには、」には、「はないには、」には、「はないには、」には、「はないには、」には、「はないには、」には、「はないには、「はないには、」には、「はないには、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これ	A	はい	
514		(3)	「がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会の開催指針」(平成29年12月1日付け健発1201第2号厚生労働省健康局長通知の別添)に準拠し、当該がん医療圏においてがん診療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修を、都道府県と協議の上、開催している。	Α	はい	
515			また、自施設の長、および自施設に所属する臨床研修医及び1年以上自施設に所属するがん診療に携わる医師・歯科医師が当該研修を修了	Α	はい	
516 517			する体制を整備している。 受講率を現況報告において以下の通り報告する。 令和6年9月1日時点で自施設に所属する初期臨床研修医の人数	A	はい	
518 519			〒和6年9月1日時景で自地設に別属する初州端床研修医の人数 うち当該研修会修了者数 受講率	-	0	
520			1年以上自施設に所属するがん診療に携わる医師・歯科医師の人数(初期臨床研修医を除く) うち当該研修会修了者数		24 23	
521 522 523			受講率 医師・歯科医師と協働し、緩和ケアに従事するその他の診療従事者についても受講を促している。	_ A	95.8% はい	
524 525		(4)	研修修了者について、患者とその家族に対してわかりやすく情報提供している。 連携する地域の医療施設におけるがん診療に携わる医師に対して、緩和ケアに関する研修の受講勧奨を行っている。	A A	はい	
526		(5)	(3)のほか、当該がん医療圏において顔の見える関係性を構築し、がん医療の質の向上につながるよう、地域の診療従事者を対象とした研修やカンファレンスを定期的に開催している。	Α	はい	
527	1	(6)	自施設の診療従事者等に、がん対策の目的や意義、がん患者やその家族が利用できる制度や関係機関との連携体制、自施設で提供している診療・患者支援の体制について学ぶ機会を年1回以上確保している。 自施設のがん診療に携わる全ての診療従事者が受講している。	A	はい	
528 529			日施設のかん診療に抜わる主との診療化争省が支請している。 令和5年1月1日~12月31日の開催回数	<u>C</u> -	いいえ	
530			令和5年1月1日~12月31日の期間に実施した研修のうち、代表的な内容を一つ記載してください。	-	「がん相談支援センターとは」	
531 532		(7)	院内の看護師を対象として、がん看護に関する総合的な研修を定期的に実施している。 令和5年1月1日~12月31日の開催回数	A	はい	
533			帝和5年1月1日~12月31日の期間に実施した研修のうち、代表的な内容を一つ記載してください。		ELNEC-J	
555					ELNEC-J	
534 535		(8)	他の診療従事者についても、各々の専門に応じた研修を定期的に実施するまたは、他の施設等で実施されている研修に参加させている。 医科歯科連携による口腔健康管理を推進するために、歯科医師等を対象とするがん患者の口腔健康管理等の研修の実施に協力している。	A	はい	
	5	(8) <u>相談支援及び情報</u> (1) がん相談支援	の収集提供	A	140,	
538		(1) 另701日改义]及	がん相談支援センターを設置し、①、②の体制を確保した上で、グループ指定のがん診療連携拠点病院との連携と役割分担によりⅡの5の ((1)の③から⑧に規定する相談支援業務を行っている。	Α	はい	
539 540			必要に応じてオンラインでの相談を受け付けるなど、情報通信技術等も活用している。 コミュニケーションに配慮が必要な者や、日本語を母国語としていない者等への配慮を適切に実施できる体制を確保している。		はい	
541 542		1	情報取得や意思疎通に配慮が必要な者に対するマニュアルを作成している 国立がん研究センターによるがん相談支援センター相談員研修を修了した専従及び専任の相談支援に携わる者を1人ずつ配置している。	_ А	いいえ はい	
543 544		(2)	当該者のうち、1名は相談員基礎研修(1)、(2)を、もう1名は基礎研修(1)から(3)を修了している。 相談支援に携わる者は、対応の質の向上のために、がん相談支援センター相談員研修等により定期的な知識の更新に努めている。	A A	はい	別紙13に詳細を記載してください。
545		3	院内及び地域の診療従事者の協力を得て、院内外のがん患者及びその家族並びに地域の住民及び医療機関等からの相談等に対応する体制を整備している。	Α	はい	別紙12に詳細を記載してください。
546 547		4	相談支援に関し十分な経験を有するがん患者団体との連携協力体制の構築に積極的に取り組んでいる。 がん相談支援センターについて周知するため、以下の体制を整備している。	A A	はい	別紙14に詳細を記載してください。
548		ア	外来初診時から治療開始までを目処に、がん患者及びその家族が必ず一度はがん相談支援センターを訪問(必ずしも具体的な相談を伴わない、場所等の確認も含む)することができる体制を整備している。	В	はい	別紙13に具体的な取り組みを記載してください。
549 550		1	治療に備えた事前の面談や準備のフローに組み込む等、診療の経過の中で患者が必要とするときに確実に利用できるよう 繰り返し案内を行っている。	Α	はい	
551 552		고 고	院内の見やすい場所にがん相談支援センターについて分かりやすく掲示している。 地域の住民や医療・在宅・介護福祉等の関係機関に対し、がん相談支援センターに関する広報を行っている。 自施設に通院していない者からの相談にも対応している。	A A A	はい はい はい	
553		オ	がん相談支援センターを初めて訪れた者の数を把握し、認知度の継続的な改善に努めている。	A	はい	※指定された期間以前に、がん相談支援センターを利用した者の
554 555		(5)	令和5年1月1日~12月31日の期間に、がん相談支援センターを初めて利用した者の相談件数がん相談支援センターの業務内容について、相談者からフィードバックを得る体制を整備している。	_ A	347 はい	件数については、計上しないようご注意ください。
556			フィードバックの内容を自施設の相談支援の質の向上のために活用するとともに、都道府県協議会で報告し、他施設とも情報共有している。 患者からの相談に対し、必要に応じて速やかに院内の診療従事者が対応できるよう、病院長もしくはそれに準じる者が統括するなど、がん相	Α	はい	
557 558		© ⑦	談支援センターと院内の診療従事者が協働する体制を整備している。 がん相談支援センターの相談支援に携わる者は、Nの2の(4)に規定する当該都道府県にある都道府県拠点病院が実施する相談支援に携	A A	はい	
559		(8)	わる者を対象とした研修を受講している。 がん患者及びその家族が心の悩みや体験等を語り合うための患者サロン等の場を設けている。	A	はい	
560 561			その際には、一定の研修を受けたビア・サポーターを活用する、もしくは十分な経験を持つ患者団体等と連携して実施するよう努めている。 オンライン環境でも関催できる。	C C	はい はい	
562 563		(2) <u>院内がん登録</u> ① ②	院内がん登録の実施に係る指針に即して院内がん登録を実施している。 国立がん研究センターが実施する研修で認定を受けている、専従の院内がん登録の実務を担う者を1人以上配置している。	A	はい	別紙16に詳細を記載してください。 初級認定者または中級認定者の1人以上配置が必要です。
563 564 565 566		2	・ 中級認定者の認定を受けている、専従の院内が心登録の実務を担う者の人数 初級認定者の認定を受けている、専従の院内が心登録の実務を担う者の人数	A C A	1	20 March 2 1 St. 1 St. 1 March 2 2 1 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
567		(3) 情報提供・普及	毎年、最新の登録情報や予後を含めた情報を国立がん研究センターに提供している。	A	はい	
569 570		1	□の5の(3)に定める要件を満たすこと。 自施設で対応できるがんについて、提供可能な診療内容を病院ホームページ等でわかりやすく広報している。 希少がん、小児がん、AYA世代のがん患者への治療及び支援(妊孕性温存療法を含む)やがんゲノム医療についても、自施設で提供できる	Α	はい	
571			場合や連携して実施する場合はその旨を広報している。	Α	はい	
572 573			希少がんへの治療及び支援を自施設もしくは連携する施設への紹介等で提供できる。 提供できる治療・支援の内容を広報している。	_ A	はい	
574 575 576			小児がんへの治療及び支援を自施設もしくは連携する施設への紹介等で提供できる。 提供できる治療・支援の内容を広報している。	_ A 	はい	
577 578			AYA世代のがんへの治療及び支援を自施設もしくは連携する施設への紹介等で提供できる。 提供できる治療・支援の内容を広報している。 妊孕性温存療法を自施設もしくは連携する施設への紹介等で提供できる。	A	はい はい はい	
579 580			姓学は通行療法を自施設もしては連携する施設への紹介するで使味できる。 提供できる治療・支援の内容を広報している。 がんゲノム医療への治療及び支援を自施設もしては連携する施設への紹介等で提供できる。	A	はい	
581 582			提供できる治療・支援の内容を広報している。 大規模災害や感染症の流行などにより自院の診療状況に変化が生じた場合には、速やかに情報公開をするよう努めている。	A A	はい	
583 584		2	当該がん医療圏内のがん診療に関する情報について、病院ホームページ等でわかりやすく広報している。 特に、我が国に多いがんの中で、自施設で対応しない診療内容についての連携先や集学的治療等が終了した後のフォローアップについて地	A	はい	
585		3	域で連携する医療機関等の情報提供を行っている。 地域を対象として、緩和ケアやがん教育、患者向け・一般向けのガイドラインの活用法等に関する普及啓発に努めている。	Α	はい	
586 587		4	地域を対象として実施した、がんに関するセミナー等の開催回数(総数) 参加中の治験についてその対象であるがんの種類及び薬剤名等を広報している。	_ A	7 はい	地域の定義としては少なくとも市民を含むこと。
588		(5)	患者に対して治験も含めた医薬品等の臨床研究、先進医療、患者申出療養等に関する適切な情報提供を行うとともに、必要に応じて適切な医療機関に紹介している。 がん教育について、当該がん医療圏における学校や職域より依頼があった際には、外部講師として診療従事者を派遣し、がんに関する正しい	Α	はい	別紙17に詳細を記載してください。
589		6	かん教育について、当該かん医療圏における学校や職項より依頼かあった際には、外部講師として診療使事者を派遣し、かんに関する止しい 知識の普及啓発に努めている。 なお、がん教育の実施に当たっては、児童生徒が当事者である場合や、身近にがん患者を持つ場合等があることを踏まえ、対象者へ十分な	A	はい	
590 591	6 8	臨床研究及び調査	配慮を行っている。	A	はい	
592		(1)	政策的公衆衛生的に必要性の高い調査研究に協力に努めている。 	Α	はい	別紙18に詳細を記載してください。別紙18へ記載して現況報告書を
593			これらの研究の協力依頼に対応する窓口の連絡先を国立がん研究センターに登録する。	Α	はい	が成れています。 原生労働省に提出することをもって、本要件は充足したとしてください。
594 595		(2)	治験を含む医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究コーディネーター(CRC)を配置すること。 治験を含む医薬品等の臨床研究を行っている。		いいえ	
596 597			臨床研究コーディネーターを配置している。 臨床研究コーディネーターとして勤務している者の人数	-	いいえ	
598 599			治験を除く医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究法に則った体制を整備している。 治験を除く医薬品等の臨床研究を行っている。	_	いいえ	
600 601			臨床研究法に則った体制を整備している。 実施内容の広報等に努めている。		いいえ いいえ	
602 603		<u>医療の質の改善の</u> (1)	自施設の診療機能や診療実績、地域連携に関する実績や活動状況の他、がん患者の療養生活の質について把握・評価し、課題認識を院内	A	はい	
604			の関係者で共有した上で、組織的な改善策を講じている。 その際にはQuality Indicatorを利用するなどして、PDCAサイクルが確保できるよう工夫をしている。	A	はい	日本 4 0 0 1 - 3 2 4 2 1 4 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
606		(2)	医療法等に基づく医療安全にかかる適切な体制を確保している。 日本医療機能評価機構の審査等の第三者による評価を受けている。	A C	はい	別紙20に詳細を記載してください。 別紙20に詳細を記載してください。
$H \mid$						日本医療機能評価機構に加え、JCI、ISO9001の認定も該当する。
607			第三者の名称 直近で評価を受けたタイミング (YYYY/MM、例: 202309)	-	日本医療機能 202306	平価機構 病院機能評価
			E.起 Cetimo ス・バースコミンフ(TTTT/ Wiwi、例: 202309/		232000	

様式4(機能別)

様式4(機能別)の該当指定要件のAのうち満たしていない項目について

記載の有無:入力済/未入力あり/不要 不要

病院名: 一般社団法人 朝倉医師会 朝倉医師会病院 時期・期間: 令和6年9月1日時点

等期・期間
※様式4(機能別)の該当指定要件のAのうち満たしていない項目について、満たしていない項目とその理由と今後の見通し等について具体的に記載してください。
※通し番号については、株式4(機能別)シートのA列(左場)の番号を記入してください。
※令和6年9月2日以降に、要件の方足状況に支勢があった場合には、別途、都追昇県を造じて文書で厚生労働省健康・生活衛生局が心・疾病対策課へ届け出てください。
※右上について、最初は「不要」と表示されます。株式4(機能別)を入り後に、上部にある「様式4(機能別)シートの入力後、クリックしてください。」ボタンを押下ください。未充足要件が抽出されます。

	通し番号	令和6年9月1日時点で満たせていない要件 (通し番号を入力すれば、自動入力されます。)	現状の説明	充足見込み時期
例	120	専任の放射線診断に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師の人数	令和6年9月1日時点では専任の医師は配置できていない(兼任で配置している)。	令和7年3月1日段階での整備を行う予定である。
例	176	放射線治療のベ患者数 (基準:年間200人以上、期間:令和5年1月1日~12月31日)	令和5年〇月〇日~令和5年〇月〇日までの期間、放射線治療機器の入れ替えを行ったため同期 間の治療ができなかった。令和5年〇月〇日以降は通常通りの治療を行っている。また、直近1年間 の治療実績は〇件であった。	令和6年は基準の治療数を達成できる見込み。
例	278	治験を除く医薬品等の臨床研究を行っている。	日本医療機能評価機構の審査等の第三者による評価を受けていない。	令和7年1月に日本医療機能評価機構の第二者評価を受審予定である。
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				

11/44

_		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
31		
32		
33		
34		
35		
36		
37		
38		
39		
40		

12/44 別紙1未充足要件

専門とするがんの診療状況

記載の有無:入力済/未入力あり

入力済

病院名: 一般社団法人 朝倉医師会 朝倉医師会病院

時期・期間: 令和5年1月1日~12月31日

- 時期・期間: 令和5年1月1日~12月31日 我が国に多いがんと、希少がんを含むそれ以外のがんの各がん種において、
 ■診断および初発例に対する各治療、再発例への治療について自施設の専門レベルを専門: ②、対応可: ○、他施設へ紹介: △で記入してください。
 ・専門(③): 当該がんを特に専門とする医師がおり、周囲の施設から患者を積極的に集めている
 ・対応可(○): (積極的に患者を実施るわけではないが)の受診された患者は自施設で標準的な対応(診断・治療)が可能である
 ・他施設へ紹介: (△): 他の施設に紹介することで対応している
 ・他施設へ紹介: (△): 他の施設に紹介することで対応している
 ・他施設へ紹介: (△): 他の施設に紹介することで対応している
 ・ 国立がん研究センターにおいて計算、提供しますので記入不要です。その際には、より詳細な区分で集計します。
 ・ 国衛者には、手術・放射線・薬物療法以外で行っている治療や特に当該がん種に関する窓口などがあれば、記載して下さい。
 「確定は説の実績の有無について、過去5年間の臨床試験の参加実績の有無についてご記入ださい(有・無)。
 特に明記されていないところでは、各臓器でリンパ腫を除く各部位のがんについてお答えください。
 通常初回治療として行われない治療については、記入不要です(グレー背景)。それ以外は全てご回答ください。

- - 注1 専門(③): 当該がんを特に専門とする医師がおり、周囲の施設から患者を積極的に集めている 対応可(〇): (積極的に患者を集めるわけではないが)受診された患者は自施設で標準的な対応(診断・治療)が可能である 他施設へ紹介(△):他の施設に紹介することで対応している

					きもよい。					=
		直門◎/対応	→ <u>記</u> 可○/他施設・)			に専門/対応可 開始数	としたときは公開	備考
			初発例への治療			## # = b # A () :	/CI 73K1	7117430		DHT.C
成人(15歳以上)	診断 (生検等)	手術	放射線	薬物療法	再発例 への治療	臨床試験(注 2)の実績の有 無	2022年	2023年	担当診療科 (複数記載可)	公開の窓口・特記事項など
脳腫瘍(リンパ腫以外)	0	0	Δ	0	0	無	(良悪性を別に	集計表示)	脳神経外科	
脳腫瘍(リンパ腫)	Δ		Δ	Δ	Δ	無				
脊髄腫瘍	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	無				
眼腫瘍(眼瞼以外)	\triangle	Δ	Δ.	Δ	<u> </u>	無				
鼻腔・副鼻腔がん 口腔がん	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	無無				
咽頭がん(上・中・下)	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	無	(上・中・下咽頭	を別に集計表示)	
喉頭がん	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	無	\ <u></u>	C///		
唾液腺がん	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	無				
外耳道がん	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	無				
頭頚部肉腫	Δ 0	Δ	Δ.	Δ 0	Δ_	無			al fo	
甲状腺がん	0	0 ©	Δ	0	0	無無			<u>外科</u> 外科	
気管がん	Δ	Δ	Δ	Δ					V F 1-F	1
気管がん 非小細胞肺がん	0	0	Δ	0	<u>∆</u> ⊚	無無			外科·呼吸器内科	
小細胞肺がん	0	0	Δ	0	0	無			外科·呼吸器内科	
胸腺がん	0	0	Δ	0	0	無			外科·呼吸器内科	
胸腺腫	0	0	Δ	0	0	無無			外科・呼吸器内科	1
縦隔胚細胞腫瘍 縦隔腫瘍(上記以外の腫瘍)	00	0	Δ	0	00	無無			外科·呼吸器内科 外科·呼吸器内科	
中皮腫(胸膜)	Ö	ŏ	Δ	Ö	0	無			外科·呼吸器内科	
中皮腫(腹膜)	Ö	ŏ	Δ	ŏ	ŏ	無			外科·呼吸器内科	
食道がん	0	0	Δ	0	0	無無			外科·消化器内科	
胃がん	0	0	Δ	0	0				外科·消化器内科	
小腸がん	0	0	Δ	0	0	無			外科・消化器内科	
大腸がん(結腸・直腸) 肛門・肛門管がん	0	0	Δ	0	0	無無			外科·消化器内科 外科·消化器内科	
消化管間質性腫瘍(GIST)	0	ŏ		0	0	無			外科・消化器内科	
消化管の神経内分泌腫瘍(NET/NEC)	Ö	Δ	Δ	Δ	Δ	無	(NET,NECは別	に集計表示)	71'14 76 IDBFF 314	
肝臓がん	0	0	Δ	0	0	無			外科·消化器内科	
胆のう・胆管がん	0	0	Δ	0	0	無	(肝内、肝外を)	別に集計表示)	外科 消化器内科	
膵臓がん(NET/NEC以外)	0	0	Δ	0	<u> </u>	無	/verveo/ hou	1-#=1 + =\	外科・消化器内科	
<u>膵臓の神経内分泌腫瘍(NET/NEC)</u> 腹膜偽粘液腫(他のがんの腹膜播種を除く)	0	0	Δ	0	<u> </u>	無無	(NET,NECは別	に集計表示)	外科·消化器内科	
成族間柏及唯(他のかんの放族権権を除く) デスモイド腫瘍	Ö	ŏ	Δ	Ö	0	無			外科	
後腹膜肉腫	ŏ	ŏ	Δ	ŏ	ŏ	#			外科	
腎がん	0	0		0	0	無			泌尿器科	
褐色細胞腫・傍神経節腫瘍(頭頸部以外)	0	0	Δ	0	0	無			泌尿器科	
副腎皮質がん	0	0	Δ	0	<u> </u>	無	/取干. 尸竺. 啐	마나마나佐士士	泌尿器科	
腎盂尿管がん・膀胱がん 精巣腫瘍	© O	0	Δ	0	<u> </u>	無無	(育血・冰官・膀	脱は別に集計表	泌尿器科 泌尿器科	
前立腺がん	©	ŏ	Δ	ŏ	Ö	無			泌尿器科	
子宮頸がん(上皮性)	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	無			AND PARKET	
子宮体がん(上皮性)(子宮がん肉腫を含む)	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	無				
子宮肉腫	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	無				
卵巣がん、卵管がん、腹膜がん(上皮性)	Δ	<u> </u>		Δ	Δ_	無				1
卵巣悪性胚細胞腫瘍 外陰がん	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	無無				
四肢・表在体幹の悪性軟部腫瘍	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	無				
四肢の悪性骨腫瘍	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	無				İ
脊椎・骨盤の悪性骨腫瘍	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	無				
皮膚の悪性黒色腫	0	0	Δ	0	Q	無			皮膚科	
皮膚がん(悪性黒色腫以外)	0	0	Δ.	0	0	無			皮膚科	
悪性リンパ腫 急性白血病(骨髄性、リンパ性)	0		Δ	0	0	無無			血液内科 血液内科	
忌性日皿病(育髄性、リンハ性) 慢性白血病(骨髄性、リンパ性)	0		Δ	0	00	無無			血液内科	<u> </u>
多発性骨髄腫	ŏ		Δ	ŏ	Ö	無			血液内科	1
原発不明がん	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	無				
			対応可〇/他施				治療	開始数		備考
小児(15歳未満)	診断 (生検等)	手術	初発例への治療 放射線	薬物療法	再発例への治療	臨床試験の 実績の有無	2022年	2023年	担当診療科 (複数記載可)	公開の窓口・特記事項など
	Α	Δ	Δ	Δ	Δ	無			小児科·小児外科	
小児脳腫瘍	Δ									
小児脳腫瘍 小児眼腫瘍	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	無			小児科·小児外科	
小児脳腫瘍 小児眼腫瘍 小児悪性骨軟部腫瘍 小児造血器腫瘍									小児科·小児外科 小児科·小児外科 小児科·小児外科	

我が国に多いがんに対して、自施設で対応しない診療内容

記載の有無:入力済/未入力あり 入力済

病院名: 一般社団法人 朝倉医師会 朝倉医師会病院 時期·期間: 令和6年9月1日時点

我が国に多いがんに対して、下の表に状況を記載してください。

我が国に多いがん		诊療内容について"○"を 療内容について"×"をλ		自施設で対応していない診療内容についての連携先
	手術療法	手術療法 薬物療法 放射線療法		(施設名・診療内容)
(例)膵臓がん	×	0	×	手術を要する膵臓がん患者は、連携する××病院に紹介している。 手術後の薬物療法については、自施設で対応している。
大腸がん	0	0	×	放射線治療を要する患者さんは連携する久留米大学病院へ紹介している。
肺がん	0	0	×	放射線治療を要する患者さんは連携する久留米大学病院へ紹介している。
胃がん	0	0	×	放射線治療を要する患者さんは連携する久留米大学病院へ紹介している。
乳がん	0	0	×	放射線治療を要する患者さんは連携する久留米大学病院へ紹介している。
前立腺がん	0	0	×	放射線治療を要する患者さんは連携する久留米大学病院へ紹介している。
肝がん	0	0	×	放射線治療を要する患者さんは連携する久留米大学病院へ紹介している。
胆のう・胆管がん	0	0	×	放射線治療を要する患者さんは連携する久留米大学病院へ紹介している。
膵臓がん	0	0	×	放射線治療を要する患者さんは連携する久留米大学病院へ紹介している。

カンファレンスについて

記載の有無:入力済/未入力あり

入力済

病院名: 一般社団法人 朝倉医師会 朝倉医師会病院

時期・期間: 令和6年9月1日時点

※この別紙は任意記載です。整備指針Ⅱの2の(1)の①のウ及びVIの2の(1)の①のオに定めるカンファレンスのうち、iv について記載してください。 なお、記載がない場合は、「記載なし」と記入してください。

ivのカンファレンスについて、検討している症例・テーマ・参加する職種等について自由記載してください。

定期的な開催が現状難しい場合には、その理由を記載してください。 外科カンファ(毎週)において、手術対象と考えられる症例に対し患者に応じた術式の選択について検討するとともに、必要に応じ他診療科の医師にコンサルトする等行い、適切な治療が行えるよう取り組んでいる。また、がん薬物療法委員会(月1回)においては医師の他、薬剤師、看護師、栄養士、事 務も参加し、新規治療方法の共有やレジメンの検討行っている。

緩和ケア外来の状況

記載の有無:入力済/未入力あり

入力済

病院名: 一般社団法人 朝倉医師会 朝倉医師会病院

時期・期間: 令和6年9月1日時点

1	緩和ケア外来が設定されている (はい/いし	ハえ)				はい	١	
2	2 緩和ケア外来の名称 緩和ケア外来							
3	担当診療科名		外科					
4	緩和ケア外来の頻度(〇回/週)		2回/週					
5	主な診療内容・特色・アピールポイント		午前に再来患者、午後に新患患者の診察や面談を行っている。日程 いる。 緩和ケア病棟の機能や入棟・退棟基準の説明および病棟の見学を行					
	緩和ケア外来の説明が掲載されているペー	見出し	緩和ケア外来について					
6	ジの見出しとアドレス ※アドレスは、手入カせずにホームページからコピー してください	アドレス	https://www.asakura-med.or.jp/hospital/consultation/kanwa/					
7	他施設でがんの診療を受けている、または、	診療を	- 受けていた患者さんを受け入れている (はい/いいえ)			はし	١	
	■地域の患者さんやご家族向けの問い合わ	せ窓口	が設定されている(はい/いいえ)			はし	١	
8	窓口の名称		がん相談支援センター					
	電話番号		0946-23-0077	(内線)		7391		
	■地域の医療機関向けの問い合わせ窓口が	設定さ	れている (はい/いいえ)			はい	١	
9	窓口の名称		地域医療連携室					
J	電話番号		0946-23-0077 (内線)			8105		
	祝祭日、年末年始以外の休み(創立記念日など)	なし					
			以下については、自施設でがん診療を受けている患者について	記載して	ください。			
			緩和ケア外来患者の年間新規診療患者数	75	人			
10	緩和ケア外来の状況 期間:令和5年1月1日~12月31日		緩和ケア外来患者の年間受診患者のべ数	人				
10			以下については、 <u>緩和ケア外来受診まで自施設でがん診療を</u>	受けていた	かった患者につい	て記載してく	ださい。	
			地域の医療機関からの年間新規紹介患者数		114	Д		
			地域の医療機関からの年間受診患者のべ数		171	人		

緩和ケア病棟の状況

記載の有無:入力済/未入力あり

入力済

病院名: 一般社団法人 朝倉医師会 朝倉医師会病院

時期・期間: 令和6年9月1日時点

※緩和ケア病棟が設定されている場合に限り、「2」以降を記載してください。

1	緩和ケア病棟を有	している		病棟があ	あります	す					
2	緩和ケア病棟入院	料の届出・受理	届	け出て受理	里され	てし	いる				
3	緩和ケア病棟の形	式	院内病棟型								
4	緩和ケア病棟の病	床数	20	床							
	緩和ケア病棟に入	院した患者の申し込む	みから入院で	するまでの	平均待	5 栈	幾期間			2	日
5	緩和ケア病棟の年	間新入院患者数(令	和5年1月1	日~12月3	1日)					96	人
	緩和ケア病棟の年	間死亡患者数(令和	5年1月1日	~12月31日	3)					172	人
	緩和ケア病棟の説 るページの見出しる	明が掲載されてい	見出し	朝倉医師	会病院	記級	爰和ケア病棟(の入棟・退棟基	基準		
6		せずにホームページからコ	アドレス	https://ww	ww.asa	akı	ura-med.or.jp/	/hospital/pdf/	kanwa_ny	utoukijy	un.pdf
		(例) 医師			2	((例) 精神的	呆健福祉士		1	
		医師			1						
	緩和ケア病棟を担	看護師			15						
	当するスタッフの職	臨床心理士※うち、	公認心理士	2名	2						
	種・人数(人)	薬剤師			1						
7	※常勤・非常勤、専 従・専任・兼任などに	理学療法士			2						
	関わらず、緩和ケア病	医療ソーシャルワー	カー		1						
	棟の診療に携わって いるスタッフについて 記載してください。	管理栄養士			1						
		看護助手			5						
		病棟クラーク(事務)			1						
	■地域の患者さん	やご家族向けの問い				る	(はい/いい	え)			はい
	<u> </u>	の名称	がん相談支		-						
8	電話	話番号	0946-23-0077 (内線) 73					7391			
		いて掲載しているホー		見出しがん相談支援センター							
	ムページ		アドレス	https://wv	ww.asa	akı	ura-med.or.jp/	/hospital/diag	nosis/cen	ter/cc/	/
	■地域の医療機関	間向けの問い合わせ窓	窓口が設定さ	されている	(はい	/	いいえ)				はい
9	窓口	の名称	地域医療連	携室							
3	電話	括番号	0946-23-00	077				(内線)	8105/810	06/8107	7/8108
		いて掲載しているホー	見出し	医療関係	者のた	ī^	、 地域医療過	連携室			
	ムページ		アドレス	https://wv	ww.asa	akı	ura-med.or.jp/	/hospital/orga	nization/		
10	緩和ケア病棟の	《族室、談話室 }室	を、ランドリー	・、デイ	ル	ーム(食事や面	i会者との談話、	ボランティ	アによる	ティーサー	
	設備	家族用キッチン、家族室、談話室、ランドリー、デイルーム(食事や面会者との談話、イベント催し物等あり)、特殊入浴室、家庭菜園を備えた屋上テラス						物等あ			
11	訪問看護ケアの	例:自施設で実施しを紹介している、など		-医療法人(の施設	とて	デ実施している	 、連携している	<u></u> る訪問看記	<u>ー</u> 隻ケアス	、テーション
11	有無	連携している訪問看	護ステーショ	ョンを紹介し	てい	る、	退院後訪問	を実施している	3		

地域緩和ケア連携体制

記載の有無:入力済/未入力あり 入力済 病院名: 一般社団法人 朝倉医師会 朝倉医師会病院 時点: 令和6年9月1日時点 【緩和ケアに関する地域連携を推進するために、地域の施設が開催する多職種連携カンファレンスに参加した年間回数】 令和5年1月1日~12月31日 自施設が主催したもの(※共催を含む) 回 地域内の他施設が主催したもの 注1) 多職種連携カンファレンスとは「地域全体の医療を推進するため地域医療を支える多施設かつ多職種の連携強化と顔の見える関係づくりを目的として、緩和ケアに関わる多職種の医療・介護従事者等が一堂に会する場」とする。 注2) 患者の退院支援カンファレンス等、患者個人の情報共有のために開催したカンファレンスは含まない。 【緊急緩和ケア病棟について(都道府県がん診療連携拠点病院のみ)】 緊急緩和ケア病床数 床 緊急緩和ケア病床の入院患者数(令和5年1月1日~12月31日) 【がんの難治性疼痛に対する神経ブロックについて】 ・がんの難治性疼痛に対する神経ブロックについて、自施設で実施している。 いいえ ・がんの難治性疼痛に対する神経ブロックの提供実施延べ人数(令和5年1月1日~12) 0 【自施設で実施できない場合には、連携している医療機関名等、がんの難治性疼痛に対する神経ブロックの提供における連携協力体制を記入】 久留米大学病院をはじめ12医療機関と連携しており、ホームページ上にも連携先を案内している

緩和ケアチームのメンバーと活動

記載の有無:入力済/未入力あり

入力済

病院名: 一般社団法人 朝倉医師会 朝倉医師会病院

期間: 令和6年9月1日時点

緩和ケアチームのメンバーについて記載してください。

注/ 帝動Cは、原則Cしに例防じたのに動物时间の主にを動物する白をいり。例防じたのに体即の1週间の動物时间か、32时间不満の場合は、

20時間以上勤務 アハス老を受動と その他は非受動とする

医師以外の診療従事者について(複数の資格を有する者は、主たる業務に係る職種についてのみ記載)

	職種	常勤 /非常勤	専門資格(取得している場合)
例	管理栄養士	常勤	がん病態栄養専門管理栄養士
1	チーム専従看護師	常勤	緩和ケア認定看護師・両立支援コーディネーター
2	がん相談看護師	常勤	がん相談支援センター基礎研修(3)・両立支援コーディネーター
3	緩和ケア病棟師長	常勤	緩和ケア認定看護師・公認心理師
4	管理栄養士	常勤	
5	薬剤師	常勤	
6	公認心理師	常勤	臨床心理士
7	公認心理師	常勤	
8	理学療法士	常勤	
9	MSW	常勤	社会福祉士•精神保健福祉士
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19 20			
20			

緩和ケアチームの活動頻度について記載してください。(〇回/週(もしくは月、年)となるように入力してください。)

病棟ラウンドの頻度	1	回/週
カンファレンスの頻度	1	回/週

緩和ケアチームの活動内容について記載してください。

定期的な病棟ラウンド及びカンファレンスによる、依頼を受けていないがん患者も含めた苦痛の把握、適切な症状緩和に関する助言や指導等の方法や内容を記載してください。

定期的な病棟ラウンドで苦痛スクリーニング用紙を確認している。苦痛スクリーニング陽性者に対して、カルテや病棟スタッフからの情報 収集や直接介入し状態を把握している。病棟スタッフへの対応依頼は直接口頭での助言とカルテ掲示板へ記載している。

緩和ケアチームの看護師による、苦痛の把握の支援や専門的緩和ケアの提供に関する調整等、外来・病棟における看護業務の支援・強化の内容について記載してください。(記載例:看護師を含む院内の全スタッフに対する苦痛の把握や専門的緩和ケアに関する研修会を実施。病棟ラウンド時に各病棟の看護師に対し、苦痛の把握について指導。)

院内看護師を対象に緩和ケアに関する研修会を実施。

患者及び家族が利用可能なインターネット環境

記載の有無:入力済/未入力あり 入力済

病院名: 一般社団法人 朝倉医師会 朝倉医師会病院

時期・期間: 令和6年9月1日時点

1	入院患者とその家族が病室で利用できるインターネット環境がある。	はい	(はい/いいえ)					
	(上記が"はい"の場合に回答してください)上記は無料で利用できる。	はい	(はい/いいえ)					
	(1が"はい"の場合に回答してください)インターネット環境が医療機器等に干渉しないよう、各種のガイドラインを参照している。	はい	(はい/いいえ)					
	2が"はい"の場合に、参考としたガイドライン名を以下の欄に記入し	てください。						
2	電波環境協議会 『医療機関において安心・安全に電波を利用するための手引き』							

がん患者の特性に応じた支援

記載の有無:入力済/未入力あり

入力済

病院名: 一般社団法人 朝倉医師会 朝倉医師会病院

時期・期間: 令和6年9月1日時点

	自施設でAYA世代のがん患者の支援を行っている	はい	(はい/いいえ)						
	「はい」の場合は、自施設で行うことができる支援の内容を記載してください。								
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・								
	来院時に気がかりチェックシートを利用し、内容によって心理士や看護師など多職種が介	入して半構造化	面接などを行っている。						
1									
	自施設でAYA世代のがん患者に関する支援が行えない場合は、患者を紹介する等、AYA世代の支	援で連携する施言	役名を記載してください。						
	支援内容によっては該当の医療機関に紹介をしている。 連携医療機関:久留米大学病院	完							
	多職種からなるAYA支援チームを設置している。	はい	(はい/いいえ)						
	「はい」の場合は、AYA支援チーム構成員の職種を記載してください。								
2	医師·看護師·臨床心理士·栄養士·薬剤師·理学療法士								
	自施設で、がん・生殖医療に関する意思決定支援を行うことができる診療従事者の育成・配置を行	はい	(はい/いいえ)						
	「はい」の場合は、意思決定支援を行うことができる診療従事者の育成に関する取組状況を記載して	てください。							
3	多職種で外部研修に参加している								
	がん患者の妊孕性の温存に関する支援について、自施設もしくは連携施設への紹介で実施している。	る場合に内容を記	記載してください。						
4	該当の患者さんがおられなかったが、必要時連携病院へ紹介する。								
7									
	がん患者の就学に関する支援について自施設もしくは連携施設への紹介で実施している場合に内容	容を記載してくだる	さい。						
5	該当の患者さんがおられなかった								
ŭ									
	がん患者の就業に関する支援について自施設もしくは連携施設への紹介で実施している場合に内	容を記載してくだる	さい。						
6	職業安定所や九州がんセンター内の社労士への相談案内などを行っている								
	がん患者のアピアランスケアに関する支援について自施設もしくは連携施設への紹介で実施してい								
_	相談内容により薬剤師や化学療法認定看護師、皮膚排泄認定看護師への介入依頼を行 者)に関しては、業者を紹介している。また地域の助成金などの説明を行う	つ。ワイックや補	止下着について説明し、必要な方(希望 						
	古八に対しては、末日と利力している。また地域の場所の立ちとの配列を刊り								
	高齢のがん患者に関して、高齢者機能評価の実施状況や、評価を行う体制、人員の状況などについ機能評価を実施している場合は、そのツール等も記載してください。	ハて記載してくだる	い。なお、ツールや尺度等を用いて高齢者						
		咄廷ぶ入 1 オ	とフン・コニノギャリ ひあに内にて見か						
	新患患者65歳以上を対象に、「G8・VES-13」を行なっている。問題となる方には必要な多 川式などの評価を行っている	 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	さるンスナムかめり、必要に応して長谷						
	7124 GC 4741 IM C 17 2 C 4 G								

相談支援センターの相談件数と相談支援内容

記載の有無:入力済/未入力あり

入力済

病院名: 一般社団法人 朝倉医師会 朝倉医師会病院

期間:令和5年1月1日~12月31日

※「自施設の患者・家族」とは、貴院で診療を受けている患者・家族、および以前に貴院で診療を受けた患者・家族のことをさしています。 「他施設の患者・家族」とは、貴院以外の医療機関で診療を受けている患者・家族、および以前に貴院以外の医療機関で診療を受けていた患者・家族のことをさしています。なお、自施設と他施設のいずれでも診療を受けている患者・家族については、「自施設の患者・家族」に含めてください。 ※本設問は相談支援センターでの相談件数及び体制についてお伺いしております。

●年間ののべ相談件数

974

1. 相談件数(新規相談件数に限る)

1 ПДТ									
	相談者	計							
1	自施設の患者・家族	81							
2	1以外の患者・家族・地域住民等	44							
3	他の医療機関等の職員	33							
	合計	158							

- ●年間ののべ相談件数の内容についてそれぞれ相談件数を記載してください。・項目の番号については、厚生労働省研究費補助金「がん対策における進捗管理指標の策定と計測システムの確立に関する研究班」が作成した「相談記入シート」を参考にして がます。 ・1回の相談で複数の内容について相談された場合は、それぞれの項目に計上して構いません。なお、詳細なカウントの方法については「相談記入シート」をご参照ください。
- https://ganjoho.jp/med_pro/consultation/support/registration_sheet.html

相談内容	件数	相談内容	件数
01.がんの治療	71	15.食事・服薬・入浴・運動・外出など	48
02.がんの検査	10	16.介護·看護·養育	94
03.症状·副作用·後遺症	242	17-1.社会生活(仕事·就労)	2
03-01. 03のうち妊孕性・生殖機能	0	17-2.社会生活(学業)	0
03-02. 03のうちアピアランス	47	18.医療費・生活費・社会保障制度	42
03-03. 03のうち晩期合併症	3	19.補完•代替医療	0
03-04. 03のうち長期フォローアップ	0	20.生きがい・価値観	0
04.セカンドオピニオン(一般)	0	21.不安·精神的苦痛	144
05.セカンドオピニオン(受け入れ)	0	22.告知	28
06.セカンドオピニオン(他へ紹介)	6	23.医療者との関係・コミュニケーション	6
07.治療実績	0	24.患者-家族間の関係・コミュニケーション	5
08.臨床試験・先進医療	1	25.友人・知人・職場との関係・コミュニケーション	0
09.受診方法	237	26.患者会・家族会(ピア情報)	2
10.転院	37	88.不明	5
11.医療機関の紹介	1	99.その他(下段に自由記載してください)	2
12.がん予防・検診	0	自分の話を聞いてもらいたいだけ	
13.在宅医療	94	がんとは関係のない話	
14.ホスピス・緩和ケア	152		

がん相談支援センターの問い合わせ窓口

記載の有無:入力済/未入力あり

入力済

病院名: 一般社団法人 朝倉医師会 朝倉医師会病院

時期・期間: 令和6年9月1日時点

	MIND THEOTOTIC TRAINM							
1	相談支援センターの名称	がん相談支持	ら					
2	問い合わせ先電話番号		0946-23-0077	(内線)	7391/7384			
2	WebサイトのURL		https://www.asakura-med.or.jp/hospital/diagnosis/cer	ter/cc/				
3	■対面相談の実施 (実施/未実施)	実施						
3	予約の要否 (必要/不要)	不要						
	■電話相談の実施 (実施/未実施)	実施						
	電話番号		0946-23-0077	(内線)	7391/7384			
	予約の要否 (必要/不要)	不要						
4	■FAX相談の実施 (実施/未実施)	未実施						
4	FAX番号							
	■電子メール相談の実施 (実施/未実施)	実施						
	メールアドレス ※個人のメールアドレスは記載しないでください		gansoudan@asakura-med.or.jp					
	■Web会議ツールを活用した遠隔相談の 実施(実施/未実施)	実施						

がん相談支援センターの体制

記載の有無:入力済/未入力あり

入力済

一般社団法人 朝倉医師会 朝倉医師会病院

時期·期間: 令和6年9月1日時点

※様式4の回答と齟齬がないようにすること。

注1)「専任」および「専任」とは、当該医療機関における当該診療従事者が、「専従」については「8割以上」、「専任」については「5割以上」、当該業務に従事している者をいう。

注2)常勤とは、原則として病院で定めた勤務時間の全てを勤務する者をいう。病院で定めた医師の1週間の勤務時間が、32時間未満の場合は、32時間以上勤務している者を常勤とし、その他は非常勤とする。

■国立がん研究センターによる「相談支援センター相談員研修・基礎研修」について(がん相談支援センター内の人数)

	<u> </u>				
対象者					
国立がん研究センターによる「相談支援センター相談員研修・基礎研修」(1)~(3)の修了者数	5				
うち相談支援に携わる者の専任の人数 (<u>専任</u> かつ <u>専従でない者</u>) (注1)	1				
うち相談支援に携わる者の専従の人数(注1)	1				
国立がん研究センターによる「相談支援センター相談員研修・基礎研修」(1)および(2)のみの修了者数					
うち相談支援に携わる者の専任の人数(<u>専任</u> かつ <u>専従でない</u> 者)(注1)	0				
うち相談支援に携わる者の専従の人数(注1)	0				

■定期的な知識の更新のための研修等(がん相談支援センター内の人数)

対象者				
①がん相談支援センターに配置されている相談支援に携わる者のうち、国立がん研究センターによる がん相談支援センター相談員継続研修の受講もしくは「相談支援センター相談員研修・基礎研修」(1)および(2)の再受講を した人数※	0			
②相談支援に携わる者のうち、上記以外の研修を受講した人数				
②の具体例 福岡県がん専門相談員研修				

[※]がん相談支援センター相談員継続研修は令和5年度より廃止され、「相談支援センター相談員研修・基礎研修」(1)(2)に統一されていま

■がん相談支援センターの体制について

- ※以下の1~6に該当する人数は必ず記載すること。その他の体制についてはそれぞれ記載すること。 ※専従・専任・その他については、当該の相談支援に携わる者が8割以上当該業務に従事している場合には専従、5割以上 8割未満の

場合には専任、5割未満の場合にはその他としてください。

	職種等	専従/専任/その他(注1)	人数	うち常勤の 人数(<mark>注2</mark>)	両立支援コーディネーター研修を受講した人数
例	社会福祉士	専従	3	2	3
例	看護師	専任	2	1	2
1	社会福祉士	専従	0	0	0
2	社会福祉士	専任	0	0	0
3	社会福祉士	その他	1	1	0
4	精神保健福祉士	専従	0	0	0
5	精神保健福祉士	専任	0	0	0
6	精神保健福祉士	その他	0	0	0
7	看護師	専従	1	1	1
8	看護師	専任	1	1	0
9	看護師	その他	0	0	0
10	医療心理に携わる者	専従	0	0	0
11	医療心理に携わる者	専任	0	0	0
12	医療心理に携わる者	その他	2	2	0
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					

22			
23			

■がん患者及びその家族が必ず一度はがん相談支援センターを訪問することができる体制

整備していると回答した場合、記載すること。整備していない場合は、「整備していない」と記入すること。

※必ずしも具体的な相談を伴わない、場所等の確認も含む

がん患者及びその家族ががん相談支援センターを訪問できる体制に関する、具体的な取り組み状況を記入してください。

告知時や新患のがん疾患患者さんに担当した看護師よりがん相談支援センターについて説明しパンフレットを渡して場所の説明も行っている。また介入がすぐに必要と思われた患者・家族への介入依頼が医師・看護師より連絡がある。生活のつらさに関するアンケート内にがん相談があることを示したり、待合室のデジタルサイネージでがん相談について提示している。さらに、入院時にもがん相談支援センターの前を通り病棟へ案内し、認知度を上げる工夫をしている。

■がん相談支援センターの業務内容について、相談者からフィードバックを得る体制

がん相談支援センターの業務内容について、相談者からフィードバックを得る体制に関する、具体的な取り組み状況を記入してください。

利用した患者さん・家族へ対してアンケートを行っている。またホームページ内からでもアンケートに入力するシステムを構築している。

院内外のがん患者等からの相談に対応するための連携協力体制の状況

記載の有無:入力済/未入力あり 入力済

(複数回答可)

(はい/いいえ)

病院名: 一般社団法人 朝倉医師会 朝倉医師会病院

がん相談支援センター

はい

時期・期間: 令和6年9月1日時点

●就労	一月月 	・ヱ゛ぁ	性力	+1/+	41

①専門家による相談会の開催回数

②専門家の職種(例:社労士、キャリアコンサルタント等を全て記載)

●アピアランスケアに関する連携協力体制

アピアランスに関する相談を院内で対応している

院内でアピアランスケアに関する相談・支援を行っている部署

相談・支援の件数(がん相談支援センターでの件数は除く)

●がん患者の好孕性温存に関する連携協力体制

①相談に対応している部署(例:がん相談支援センター、化学療法室等)

①-1意思決定支援に関わる医療従事者による相談を院内で実施している

①-2意思決定支援に関わる医療従事者による相談を院外に依頼している

②がん患者の妊孕性温存のための生殖医療

②-1がん患者の妊孕性温存のための生殖医療を専門とする自施設内の部門へ紹介した患者の人数

②-2がん患者の妊孕性温存のための生殖医療を専門とする他施設へ紹介した患者の人数

③自治体のがん・生殖医療ネットワークを通じて、生殖医療を専門とする施設に紹介している

③-1紹介先施設名(複数回答可)

④他の自治体のがん・生殖医療ネットワークを通じて、生殖医療を専門とする施設に紹介している

④-1紹介先施設名(複数回答可)

⑤意思決定支援に関わる人材育成を実施している(「いいえ」の場合は⑤-1、⑤-2は「いいえ」を記入ください。

⑤-1研修会を院内で実施している

⑤-2学会等の研修会への参加を励行している

●がん患者の自殺リスクに対する体制

院内で自殺リスクに対する研修を開いている。

- ●患者サロン等の開催状況
- ①患者サロンの開催件数
- ②患者会の開催件数

②-1患者会のうち、オンラインで開催した件数

③サポートグループが主催した研修の開催件数

●がん患者団体との連携協力体制

①連携協力しているがん患者団体数

②連携協力しているがん患者団体

(期間:令和5年1月1日~12月31 九州がんセンター内の社労士への紹介 (複数回答可)

はい	(はい/いいえ)
がん化学療法室・がん相談支援センター	(複数回答可)
5	(期間:令和5年1月1日~12月31 日)

	140,	(はい/いいえ)
		-
	0	(期間:令和5年1月1日~12月31日
	0	(期間:令和5年1月1日~12月31日
	はい	(はい/いいえ)
	久留米大学病院	(複数回答可)
	はい	(はい/いいえ)
	久留米大学病院	(複数回答可)
,)	はい	(はい/いいえ)
	はい	(はい/いいえ)
	はい	(はい/いいえ)

はい	(はい/いいえ)
	_
22	(期間:令和5年1月1日~12月31日)
12	(期間:令和5年1月1日~12月31日)
6	(期間:令和5年1月1日~12月31日)
11	(期間:令和5年1月1日~12月31日)
	_

	※患者団体の参加対象者が特定の疾患に限られていない場合には、「 <mark>すべてのがん</mark> 」と記載してください。 ※「紹介の可否」には、患者さんや家族から、その団体について問い合わせがあった際、具体的な紹介ができるかどうかについて記載してください。						
	連携協力しているがん患者団体		日は北大は掛け上のよう		具体协约体验协士 办中南	#7 A m → T	
	団体名	参加対象者 の疾患名	具体的な連携協力の内容	紹介の可否			
例	00000会	造血器腫瘍	患者会と共同で、月1回、患者サロンを開催している。	可			
例	00000会	乳がん	相談支援センターで、週1回、2名ずつ、ピアサポーターとして活動してもらっている。	可			
例	00000会	すべてのがん	年4回開催している市民講演会の開催への協力、また、演者として参加してもらっている。	不可			
1	虹の会	すべてのがん	北筑後ブロック(5施設)と患者会と共同で毎月1回患者サロンと運営会議を行っている。共催での市民公開講座の開催。	可			
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							

別紙14連携協力体制

がんの診療に関連した専門外来の問い合わせ窓口

記載の有無:入力済/未入力あり入力済

一般社団法人 朝倉医師会 朝倉医師会病院 病院名:

時期・期間: 令和6年9月1日時点 ※ がん診療に関連した専門外来の「対象となる疾患名」の項目は、以下の表の疾患名を用いて記載してください。

表の中に、該当する病名がない場合は、その病名を直接記載してください。 また、すべてのがん種が対象となる場合は、「**すべてのがん**」と記載してください。

頭部/頸部	消化管	泌尿器	女性	その他
脳腫瘍 脊髄腫瘍 眼・眼窩腫瘍 口腔がん 咽頭がん・喉頭がん甲状腺がん	食道がん 胃がん 小腸がん 大腸がん GIST	腎がん 尿路がん 膀胱がん 副腎腫瘍	子宮頸がん・子宮体がん 卵巣がん その他の女性生殖器がん	後腹膜・腹膜腫瘍 性腺外胚細胞腫瘍 原発不明がん
胸部	肝臓 /胆道 /膵臓	男性	皮膚/骨と軟部組織	小児
肺がん	肝がんがは関がん		皮膚腫瘍 悪性骨軟部腫瘍	小児脳腫瘍 小児の眼・眼窩腫瘍
乳がん 縦隔腫瘍	胆道がん	精巣がん その他の男性	血液・リンパ	小児悪性骨軟部腫瘍
中皮腫	膵がん	生殖器がん	造血器腫瘍	その他の小児固形腫瘍 小児造血器腫瘍

1. 【ストーマ外来】の問い合わせ窓口

1	ストーマ外来が設定されている(はい/いいえ)		いいえ
2	上記外来の名称		
3	対象となるストーマの種類		
4	対象となる疾患名		
5	他施設でがんの診療を受けている、または、診	療を受けていた患者さんを受け入れている (はい/いいえ)	いいえ

2. 【リンパ浮腫外来】の問い合わせ窓口

1	リンパ浮腫外来が設定されている	いいえ	(はい/いいえ)	※リンパ浮腫の研修修了者とは、厚生労働省後援のがんの ビリテーション研修におけるリンパ浮腫研修運営委員会が た、「専門的なリンパ浮腫研究に関する教育要綱」にそった (講義45時間以上)を修了した医療従事者のことをいう。	
2	研修を修了した担当者が配置されている※	いいえ	(はい/いいえ)		
3	上記外来の名称				
4	対象となる疾患名				
5	リンパ浮腫の診療担当科				
6	リンパ浮腫の入院治療に対応している	対応していない (対応している/対応していない)			
7	では、他施設でがんの診療を受けている、または診療を受けていた患者さんを受け入れている(はい/いいえ) いい				いいえ

3. 【 禁煙外来 】の問い合わせ窓口

1	禁煙外来が設定されている(はい/いいえ)				
2	2 上記外来の名称 禁煙・肥満外来				
3	他施設でがんの診療を受けている、または診療を受けていた患者さんを受け入れている(はい/いいえ)				

4. 【アスベスト外来】の問い合わせ窓口

1	アスベスト外来が設定されている(はい/いいえ)				
2	上記外来の名称				

3	他施設でがんの診療を受けている、または診療を受けていた患者さんを受け入れている (はい/いいえ)	いいえ

5. 遺伝性腫瘍に関連した専門外来の問い合わせ窓口

1	遺伝性腫瘍外来が設定されている(はい/いいえ)					
2	上記外来の名称					
3	他施設でがんの診療を受けている、または診療を受けていた患者さんを受け入れている(はい/いいえ) いいえ					

6. 追加で記載を希望する外来について	
1 追加で記載を希望する外来がある場合には、以下に疾患名等の情報を自由に記載してください。	

院内がん登録部門の体制

記載の有無:入力済/未入力あり入力済

-般社団法人 朝倉医師会 朝倉医師会病院 病院名:

時期・期間: 令和6年9月1日時点

※院内がん登録業務に携わっているスタッフを記載してください。

注1)様式4の回答と齟齬がないようにすること。

- 注2) 常勤とは原則として病院で定めた勤務時間の全てを勤務する者をいう。病院で定めた医師の1週間の勤務時間が、32時間未満の 場合は、32時間以上勤務している者を常勤とし、その他は非常勤とする。
- 注3)「専従」および「専任」とは、当該医療機関における当該診療従事者が、「専従」については「8割以上」、「専任」については「5割以 上」、当該業務に従事している者をいう。

т,	上」、ヨ該未務に使事している名をいう。 										
	資格	診療情報 管理業務の 経験年数 (年)	院内がん 登録業務の 経験年数 (年)	常勤 /非常勤	院内がん登録業務 についての 専従/専任/その他	がん対策情報センターによる院内がん登録 実務 初級者研修会・中級者研修会の修了状況 研修会名・受講状況					
例	診療情報管理士	4	2	常勤	専従(8割以上)	初級認定者(みなし含む)					
例	なし	1	1	非常勤	専任(5割以上8割未満)	初級認定試験・受験なし					
1	なし	14	12	常勤	専従	中級認定者					
2	診療情報管理士	15	10	常勤	その他	初級認定者(みなし含む)					
3	診療情報管理士	2	1	常勤	その他	初級認定試験·受験予定					
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											

<u>臨床試験・治験の実施状況および問い合わせ窓口</u>

記載の有無:入力済/未入力あり

入力済

病院名: 一般社団法

-般社団法人 朝倉医師会 朝倉医師会病院

1. 臨床試験・治験の問い合わせ窓口

令和6年9月1日時点

1) 【 臨床試験(治験を除く) 】の問い合わせ窓口

	■臨床試験に参加し	て	窓口はない								
	※臨床試験専用の窓がある場合に限り、以下の表に記載してください。									_	
	問い合わせへ対応し	去に〇をつけてください。	窓口		電話		FAX		電子メール		
	窓口の名称	7									
1	上記の窓口の説明が 掲載されているペー ジの見出しとアドレス ※アドレスは、手入力せ ずにホームページからコ	見出し									
	ピーしてください	アドレス									
	電話番号					(内線)				
	■臨床試験に参加し	地域の医療機関向けの問い合わ	わせ窓口について				窓口はない				
	※臨床試験専用の窓	ごさい 。				_					
	問い合わせへ対応し	去に〇をつけてください。	窓口		電話		FAX		電子メール		
	窓口の名称	7									
2	上記の窓口の説明が掲載されているページの見出しとアドレス※アドレスは、手入力セ	見出し									
	ずにホームページからコ ピーしてください	アドレス									
	電話番号					()	内線)				

2)【治験】の問い合わせ窓口

2)	【治験】の問い合わ	で治口										
	■治験に参加してい	ない、地域	或の患者さんやご家族向けの問い?	合わせ窓口	につい	て		治験	専用の	窓口がある		
	※治験専用の窓がある場合に限り、以下の表に記載してください。									_		
	問い合わせへ対応し	ている方法	法に〇をつけてください。	窓口	0	電話	0	FAX	0	電子メール	0	
	窓口の名称	7	臨床治験センター									
1	上記の窓口の説明が 掲載されているペー ジの見出しとアドレス ※アドレスは、手入カセ	見出し	診療科・部門 臨床治験センター									
	ずにホームページからコ ピーしてください	アドレス	https://www.asakura-med.or.jp/hospital/diagnosis/section_c					niken/				
	電話番号		0946-23-0077 (内紀				内線)	7366				
	■治験に参加していない、地域の医療機関向けの問い合わせ窓口について							治験	専用の	窓口がある		
	※治験専用の窓がある場合に限り、以下の表に記載してください。											
	問い合わせへ対応し	ている方法	法に〇をつけてください。	窓口	0	電話	0	FAX	0	電子メール	0	
	窓口の名称	7	臨床治験センター									
2	上記の窓口の説明が 掲載されているペー ジの見出しとアドレス ※アドレスは、手入力せ	見出し	診療科・部門 臨床治験センター	:療科・部門 臨床治験センター								
	ずにホームページからコ ピーしてください	アドレス	https://www.asakura-med.or.jp/h	ospital/dia	gnosis/	section	_chiker	1/				
	電話番号		0946-23-0077 (内総				内線)	7366				

院内のチーム医療の提供体制

記載の有無:入力済/未入力あり入力済

-般社団法人 朝倉医師会 朝倉医師会病院

令和6年9月1日時点

1	(がん患者の身体的苦痛や精神心理的苦痛、社会的な問題等の把握及びそれらに対する適切な対応を、診断時から一貫して行っており、緩和ケアに関する診療報酬の項目が算定できる体制であるニと)	はい
2	院内に口腔ケアチームが設置されている。 (周術期等口腔機能管理に関する項目が算定できる体制であること。)	はい
3	院内に栄養サポートチームが設置されている。 (診療報酬の栄養サポートチーム加算が算定できる体制であること。)	はい
4	院内に感染防止対策チーム(感染制御チーム)が設置されている。 (感染対策に関する診療報酬の項目が算定できる体制であること。)	はい
5	院内に摂食嚥下支援チームが設置されている。 (診療報酬の摂食嚥下機能回復体制加算等が算定できる体制であること。)	いいえ
6	院内にリハビリテーションチームが設置されている。 (診療報酬のがん患者リハビリテーション料が算定できる体制であること。)	はい
7	院内に排尿ケアチームが設置されている。 (診療報酬の外来排尿自立指導料が算定できる体制であること。)	いいえ
8	院内に精神科リエゾンチームが設置されている。 (診療報酬の精神科リエゾンチーム加算が算定できる体制であること。)	いいえ

医療安全管理等の体制について

記載の有無:入力済/未入力あり

入力済

病院名: 一般社団法人 朝倉医師会 朝倉医師会病院

時期・期間: 令和6年9月1日時点

①-1 医療安全管理部門が配置されている。

はい (はい/いいえ)

①-2 医療安全管理部門がある場合に、そのメンバーについて記載してください。(①-1が"はい"の場合のみ、①-2に回答してください。) 注1)研修医は除いてください。

注2) 常勤とは、原則として病院で定めた勤務時間の全てを勤務する者をいう。病院で定めた医師の1週間の勤務時間が、32時間未満の場合は、32時間以上勤務している者を常勤とし、その他は非常勤とする。

注3)「専従」および「専任」とは、当該医療機関における当該診療従事者が「専従」については「8割以上」、「専任」については「5割以上」、当該業務に従事している者をいいます。

注4)「医療安全管理者の業務指針および養成のための研修プログラム作成指針」(平成19年3月30日付け医政発0330019号厚生労働省医政局長通知及び薬食発第 0330009号厚生労働省医薬食品局長通知)に基づく研修を想定しています。

		職種(注1)	常勤	専従/専任	医绷	寮安全に関する研修の受講状況(注	(4)
		100 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1	/非常勤(<mark>注2</mark>)	/その他 <mark>(注3)</mark>	受講した研修名	研修主催者名	修了日
1	部門長	医師	常勤	専任(5割以上8割未満)	医療安全管理者研修	セコム医療システム	2018年12月10日
2		医師	常勤	その他(5割未満)	医療安全管理者養成研修	日本医療機能評価機構	2023年12月13日
3		看護師	常勤	専従(8割以上)	医療安全管理者研修	福岡県看護協会	2015年10月17日
4		看護師	常勤	専従(8割以上)	医療安全管理者研修	福岡県看護協会	2024年12月修了予定
5		薬剤師	常勤	専任(5割以上8割未満)	医療安全管理者研修	地域医療振興協会	2013年10月4日
6		その他	常勤	専任(5割以上8割未満)	医療安全管理者研修	セコム医療システム	2017年11月1日
7		その他	常勤	その他(5割未満)	医療安全管理者養成研修	日本医療機能評価機構	2023年1月18日
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

②第三者による評価に関する状況について記載してください。 要件充足としては、JCI、ISO9001、日本医療機能評価機構 病院機能評価のみ該当と整理している。 第三者による評価を受けていない場合は、「受審なし」と記入ください。また、最終評価日は最終受審年月日(初日のみで構いません)を記入ください。

	活用した第三者評価	最終評価日	有効期間 (定められている場合のみ記
例	JCI	平成31年〇月〇〇日	令和7年〇月〇〇日
例	ISO9001	令和2年〇月〇〇日	令和7年〇月〇〇日
例	日本医療機能評価機構 病院機能評価	平成30年〇月〇〇日	令和7年〇月〇〇日
1	日本医療機能評価機構病院機能評価	令和5年6月26日	令和9年8月5日
2			
3			
4			
5			

緩和ケアセンターのメンバー(医師および医師以外の診療従事者)

記載の有無:入力済/未入力あり

入力済

病院名: 一般社団法人 朝倉医師会 朝倉医師会病院

時期・期間: 令和6年9月1日時点

緩和ケアセンターのメンバーについて記載してください。なお、別紙8緩和ケアチームのメンバーを含めて記載して構いません。

※様式4の回答と齟齬がないように記載してください。

注1)研修医は除いてください。

注2)常勤とは、原則として病院で定めた勤務時間の全てを勤務する者をいう。病院で定めた医師の1週間の勤務時間が、32時間未満の場合は、

32時間以上勤務している者を常勤とし、その他は非常動とする。 注3)「専従」および「専任」とは、当該医療機関における当該診療従事者が「専従」については「8割以上」、「専任」については「5割以上」、当該業務 に従事している者をいいます。

に仕事している者をいいます。 注4)ジェネラルマネージャーは、緩和ケアセンターの機能を管理・調整する常勤・専従、かつ院内において管理的立場の看護師であること。 注5)相談支援に携わる者については、相談支援センターの相談支援に携わる者との兼任および、相談支援センター内にて当該業務に従事することを可とする。ただし、この場合の専任とは、緩和ケアセンターにおける相談支援業務を中心となって担当していればよく、その就業時間の5割以上を緩和ケアセンターにおける相談支援業務に従事していることは求めない。

1. 緩和ケアセンターが設定されている (はい/いいえ)

いいえ

2. 緩和ケアセンターの医師について(注1)

	役割	人数	診療科の内訳	
例	身体症状の緩和に携わる医師	3	麻酔科2名(※内1名は緩和ケアセンター長)、消化器外科1名	
	身体症状の緩和に携わる医師			※都道府県がん診療連携拠 点病院は、1名以上配置必須
	精神症状の緩和に携わる医師			※都道府県がん診療連携拠 点病院は、1名以上配置必須

3. 緩和ケアセンターの看護師について(ジェネラルマネージャーおよび専門資格を有する者のみ記載してください。)

_	3. 製化ケアセンターの有限的について(シェイブルマイーンマーのよい専門具備を有する有のの記載してください。)					
	センターでの役割	常勤/ 非常勤(<mark>注2</mark>)	専従/専任 /その他(注3)	専門資格 (がん看護専門看護師、緩和ケア認定看護師等)		
1	ジェネラルマネージャー(<u>注</u> 4)	常勤	専従(8割以上)		※都道府県がん診療連携拠点病院は、1名以上配置必須	
2	ジェネラルマネージャーではない看護 師	常勤	専従(8割以上)		※都道府県がん診療連携拠	
3	ジェネラルマネージャーではない看護 師	常勤	専従(8割以上)		点病院は、2名以上配置必須	
4	ジェネラルマネージャーではない看護 師					
5	ジェネラルマネージャーではない看護 師					
6	ジェネラルマネージャーではない看護 師					
7	ジェネラルマネージャーではない看護 師					

4. 薬剤師について

	II MATINITIZED A					
	センターでの役割	常勤/ 非常勤(<mark>注2</mark>)	専従/専任 /その他 <mark>(注3)</mark>	専門資格 (がん専門薬剤師、がん薬物療法認定薬剤師、緩和薬物療法認定薬剤師 等)		
1	薬剤師				※都道府県がん診療連携拠点病院は、1名以上配置必須	
2	薬剤師					
3	薬剤師					

5. 専任の緩和ケアセンターにおける相談支援業務に携わる者について(注5)

	センターでの役割	常勤/ 非常勤(<mark>注2</mark>)	専従/専任 /その他(注3)	専門資格	
1	専任の緩和ケアセンターにおける相談 支援業務に携わる者		専任		※都道府県がん診療連携拠点病院は、1名以上配置必須
2	専任の緩和ケアセンターにおける相談 支援業務に携わる者				

3	専任の緩和ケアセンターにおける相談 支援業務に携わる者		
	又抜未物に携わる白		

6. 緩和ケアセンターの医師・看護師・薬剤師・専任の緩和ケアセンターにおける相談支援業務に携わる者以外の診療従事者について

	職種	常勤/ 非常勤(<mark>注2</mark>)	専従/専任 /その他(<u>注3)</u>	専門資格(取得している場合)
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				

特定のがん種に対する集学的治療提供体制について

記載の有無:入力済/未入力あり/不要

不要

特定領域がん診療連携拠点病院が記入

病院名: 一般社団法人 朝倉医師会 朝倉医師会病院

期間: 令和5年1月1日~12月31日

特定のがん種に対する集学的治療提供体制について、都道府県内で最も多くの患者を診療していることを明記し、必要に応じ図等を用いわかりやすく説明してください。

このシートのほかに資料がある場合は、<mark>ファイル名の頭に別紙22を付けた</mark>電子ファイル、別添資料を提出すること。 別添資料の提出有無 (あり/なし) (ワード/エクセル/パワー<u>ポイント/その他)</u> ファイル形式 その他の場合ファイル形式を記載してください。 特定のがん種 年間新入院患者数 年間新入院当該がん患者数 年間新入院患者数に占める当該がん患者の割合 % 年間外来当該がん患者のべ数 人 人 年間院内死亡当該がん患者数 当該がんに係る年間の手術件数 件 件 当該がんに対する年間の化学療法件数 ※経口、静注または皮下注射による全身投与を対象とし、件数については1レジメンあたりを1件として 計上する。 当該がんに係る年間の放射線治療件数 件 ※複数部位照射する場合でも、一連の治療計画であれば1件として計上する。 特定のがん種 年間新入院患者数 年間新入院当該がん患者数 人 年間新入院患者数に占める当該がん患者の割合 % 人 年間外来当該がん患者のべ数 年間院内死亡当該がん患者数 人 当該がんに係る年間の手術件数 件 当該がんに対する年間の化学療法件数 件 ※経口、静注または皮下注射による全身投与を対象とし、件数については1レジメンあたりを1件として 計上する。 当該がんに係る年間の放射線治療件数 ※複数部位照射する場合でも、一連の治療計画であれば1件として計上する。 特定のがん種 年間新入院患者数 年間新入院当該がん患者数 年間新入院患者数に占める当該がん患者の割合 % 年間外来当該がん患者のべ数 人 年間院内死亡当該がん患者数 人 当該がんに係る年間の手術件数 件 当該がんに対する年間の化学療法件数 件 ※経口、静注または皮下注射による全身投与を対象とし、件数については1レジメンあたりを1件として 計上する。 件 当該がんに係る年間の放射線治療件数

※複数部位照射する場合でも、一連の治療計画であれば1件として計上する。

がん診療連携拠点病院等との連携診療体制について

記載の有無:入力済/未入力あり/不要

蛙	定領域	₩ 4 . 1	念	堆坬占	病院か	くきコ ス
1स	ᄯᄞᅜᄰ	ルルフレー	ツカビ ユー	1元マル 点	カスロル ハ	'al: /\

病院名:

-般社団法人 朝倉医師会 朝倉医師会病院

時期·期間: 令和6年9月1日時点

緊急な治療が必要な患者や合併症を持ち高度な周術期管理が必要な患者に対するがん診療連携拠点病院等と連携による診 療体制について、必要に応じ図等を用いわかりやすく説明してください。 このシートに貼付することが難しい場合、ファイル名の頭に別紙23を付けた</u>電子ファイル、別添資料を提出すること。

別添資料の提出有無		(あり/なし)
ファイル形式		(ワード/エクセル/パワーポイント/その他)
その他の場合ファイル形	杉式を記載してください 。	0
【緊急な治療が必要な患者や	。 合併症を持ち高度な「	周術期管理が必要な患者に対するがん診療連携拠点病院等と連携による
診療体制】		

特定領域がん診療連携拠点病院の人材交流について

記載の有無:入力済/未入力あり/不要

特定領域がん診療連携拠点病院が記入

病院名: 一般社団法人 朝倉医師会 朝倉医師会病院

時期・期間: 令和5年1月1日~12月31日

※他の拠点病院等との人材交流計画について記載してください。

※個人名やPHSの番号が記載されていないことをご確認ください。

	受入/派遣	期間	職種	(受入元/派遣先)医療機関名	専門分野
例	受入	令和5年4月1日~9月30日	看護師	XX病院	がん看護認定看護師
例	派遣	令和5年10月1日~12月31 日	医師	YY病院	上部消化器外科
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

グループ指定の状況

記載の有無:	7 十汶	/± 1 +	っせいファ	まま 田
記載の有無:	ハルガ	/ 木八ノ	י/עימשנ	いる

-	_	
л	л	済

病院名: 一般社団法人 朝倉医師会 朝倉医師会病院

地域がん診療病院が記入

■グループ指定のがん診療連携拠点病院との定期的なカンファレンスの開催実施件数

期間: 令和5年1月1日~12月31日 1

■ 2	ブループ指定を受け	るがん診療連携拠点病院との連携と	- 役割分担の状況 時期: 令和6年9月1日時点
	がん医療圏名	医療機関名	連携内容(がんの種類と役割分担)
1	久留米	久留米大学病院	M別級治療や、当院での診療が困難なかい治療については久留未入字へ紹介し治療を行っている。また、抗かん剤治療レンメンなどの 連携も行っている。さらに久留米大学病院で手術や放射線治療を終えた患者や、化学療法を開始した患者についての継続治療を行って いる。 まセンサーボードも複数回WER開催により実施し、当院で治療のないような癌症例についても情報の共有をしている。
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10	_		

グループ間の人材交流計画について

記載の有無:入力済/未入力あり/不要 入力済

病院名: 一般社団法人 朝倉医師会 朝倉医師会病院

時期·期間: 令和5年1月1日~12月31日

地域がん診療病院が記入

※グループ指定施設間での人材交流計画について記載してください。

※個人名やPHSの番号が記載されていないことをご確認ください。

	受入/派遣	期間	(受入元/派遣先)医療機関名	専門分野		
例	受入	令和5年4月1日~9月30日	XX病院	消化器外科		
1	受入	週1回	久留米大学病院	呼吸器外科(肺) 手術室 化学療法		
2	受入	週1回	久留米大学病院	泌尿器科(腎臓、膀胱、前立腺) 手術室		
3	受入	不定期	久留米大学病院	消化器外科 血管造影・治療(肝がん)		
4	受入	週1回	久留米大学病院	消化器内科 内視鏡検査(胃·大腸)		
5	受入	週1回	久留米大学病院	呼吸器内科		
6	受入	週1回	久留米大学病院	血液内科 化学療法		
7	受入	週1回	久留米大学病院	消化器内科 エコー検査・治療(肝がん)		
8	受入	週1回	久留米大学病院	病理診断科 病理検査・組織診断		
9	受入	週1回	久留米大学病院	放射線科 放射線読影		
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						

グループ指定の状況

がん診療連携拠点病院が記入

記載の有無:入力済/未入力あり/不要

不要

病院名: 一般社団法人 朝倉医師会 朝倉医師会病院

■グループ指定を受ける地域がん診療病院との連携と役割分担の状況

時期・期間: 令和6年9月1日時点

	がん医療圏名	医療機関名	連携内容(がんの種類と役割分担)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

都道府県協議会の内容

記載の有無:入力済/未入力あり/不要

都道府県がん診療連携拠点病院が記入 病院名: 一般社団法人 朝倉医師会 朝倉医師会病院 ※同一都道府県に複数の都道府県がん診療連携拠点病院が整備されている場合は、都道府県内で回答内容に齟齬が生じないよう 時期・期間: 令和5年4月1日~令和6年3月31日 ●令和5年度に開催した都道府県協議会について記載してください。 (1)患者本位のが人医療を実現する等の観点から、当該都道府県における対策を強力に推進するための議論を行った。 (2)都道府県全体のが人医療等の質の向上のために、都道府県内のどこに住んでいても適切な診断や治療にスムーズにアクセスできる体制を確保すべく、以下の議論を行った。 ① 地域の実状に応じて、医療機関間の連携が必要な医療等について、都道府県内の各拠点病院等及び他のがん診療を担う医療機関における役割分担を整理・明確化し、その内容を関係者間で共有するとともに広く周知した。 都道府県レベルで役割分担すべき項目(※)について議論した。 ②地域がん診療病院とがん診療連携拠点病院とのグループ指定の組み合わせを調整・決定した。
③ 都道府県内の拠点病院等の院内がん登録のデータやがん診療、緩和ケア、相談支援等の実績等を共有、分析、評価、公表等を行った。
各都道府県とも連携し、Quality Indicatorを積極的に利用するなど、都道府県全体のがん医療の質を向上させるための具体的な計画を立案・実行した。
院内がん登録実務者の支援を含めて都道府県内のがん側連情報収集や利活用等の推進に取り組みだ。
④ 地域における相談支援や緩和ケアの提供体制・連携体制について協議を行い、拠点病院等の間で情報共有や役割分担を含む連携体制を整備した。
⑤ 当該都道府県における特定機能病院である拠点病院等と連携し、地域におけるが心診療に従事する診療従事者の育成及び適正西置に向けた調整を行った。
⑥ 整維性をは、四の40(2)に基づき、共変対の作用における場合を発生を発生の20(2)に基づき、対象対象が、対象性に対しる体で概念を発生した。 ⑥ 整備指針Ⅱの4の(3)に基づき当該都道府県における拠点病院等が実施するがん医療に携わる医師等を対象とした緩和ケアに関する研修やその他各種研修に関する計画を作成している。 ⑦ 当該都道府県内の医療機関における診療、緩和ケア外来、がん相談支援センター、セカンドオピニオン、患者サロン、患者支援団体、在宅医療等へのアクセスについて情報を集約し医療機関間で共有するとともに、冊子やホームページ等でわかりやすく広報している。 アグゼスについて情報を集新した旅機関側に失れす。ることも、mm・マホーム・・ファ・マカル・ファ・ストスにしている。
圏 国協議会との体系的な連携体制を構築している。⑨ 国立がん研究センターによる研修に関する情報や国協議会での協議事項が確実に都道府県内で共有・実践される体制を整備している。⑩ 感染症のまん延や災害等の状況においても必要ながん医療を提供する体制を確保するため、当該都道府県や各がん医療圏におけるBCPについて議論を行った。⑪ 地域における医療情報の共有の取組について、がんの分野からも検討し、体制整備に取り組んでいる。 ●令和5年4月1日~令和6年3月31日に開催した都道府県協議会の参加者について 同一都道府県内の全ての拠点病院等が参加した 間は関係では、 都道府県庁等の行政の参加があった 拠点病院等以外の地域のがん診療を行う者の参加があった

●都道府県協議会の広報体制について

【参考】

●前退府採励應表の仏報体制にしい、 都道府県協議会についてわかりやすく広報を行うためのWebサイトがある。 Webサイトや、冊子等で、都道府県協議会で議論された内容を広報している。

WebサイトのURL

●令和5年4月1日~令和6年3月31日に開催した都道府県協議会での議論の内容について 都道府県協議会の議題や議事録等、議論の内容がわかる資料を提出すること。(ファイル名の頭に別紙28を付けること)

- (※)都道府県レベルで役割分担すべき項目は以下である。

- クがん・生殖医療(別途実施されている「小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業」におけるがん・生殖医療ネットワークと協働して実施。)ケがんゲノム医療

43/44

地域連携の推進体制(歯科との連携)について

記載の有無:入力済/未入力あり

入力済

病院名: 一般社団法人 朝倉医師会 朝倉医師会病院

時期: 令和6年9月1日時点

地域連携の推進体制のうち、歯科との連携について、必要に応じて図等を用いてわかりやすく説明してください。 このシートのほかに資料がある場合は、ファイル名の頭に別紙Oを付けた電子ファイル、別添資料を提出すること。

1. 院内の口腔ケアチームのメンバーの職種及び人数について

院内に口腔ケアチームを設置している場合、記入すること。

地域の歯科医師等と連携している際は、そのことがわかるように備考欄に記入をお願いします。

	職種	人数	備考欄:院外との連携の際は連携先を記載ください(例:郡市歯科医師会と連携/近隣の歯科医師と個別に連携 等) なお、特段記載事項がない場合は空欄としてください。
例	歯科医師	2	近隣の歯科医師と個別に連携
1	歯科医師(院外)	1	近隣の歯科医師と個別に連携(冨田歯科医院:〒838-0068 福岡県朝倉市甘木187-1 TEL 0946-23-2588)
2	歯科衛生士(院 外)	2	地域の歯科医師会と連携(一般社団法人 朝倉歯科医師会 口腔管理推進室: 〒838-0067 福岡県朝倉市牛木293-1 TEL 0946-21-0799)
3	医師(院内)	1	
4	看護師(院内)	5	
5	言語聴覚士(院 内)	3	
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			

2. 歯科との連携体制の有無について

(1)	院内に歯科の診療科がある。 (はい/いいえ)			いいえ			
(2)	口腔機能が低下したがん患者に対して口腔機能の評価や改善のために歯科との連携体制を構築している。 (院内の歯科医師と連携体制を構築/地域の歯科医師と連携体制を構築/院内及び地域の歯科医師と連携体制を構築/連携体制を構築/でない)	地域の歯科医師と連携体制を構築					
(3)	周術期におけるがん患者の口腔健康管理について歯科との連携体制を構築している。 (院内の歯科医師と連携体制を構築/地域の歯科医師と連携体制を構築/院内及び地域の歯科医師と連携体制を構築/連携体制を構築していない)	地域の歯科医師と連携体制を構築					
(4)	栄養サポートチームに歯科が参加する連携体制を構築している。 (院内の歯科医師と連携体制を構築/地域の歯科医師と連携体制を構築/院内及び地域の歯科医師と連携体制を構築/連携体制を構築していない)	連携体制を構築していない					
(5)	緩和ケアチームに歯科が参加する連携体制を構築している。 (院内の歯科医師と連携体制を構築/地域の歯科医師と連携体制を構築/院内及び地域の歯科医師と連携体制を構築/連携体制を構築していない)	地均	地域の歯科医師と連携体制を構築				
(6)	上記(2)~(5)において地域の歯科医師と連携体制を構築している場合、連携している地域(院外)の歯科医療機関数		11	施設			

- (7) 上記(2)~(5)において歯科と連携体制を構築している場合、どのような連携体制を構築しているかそれぞれ記載してください。

(2) 口腔ケアチームで介入し、週1回歯科衛生士による訪問を実施。 必要の際は歯科受診(往診診療)依頼ができる体制を整えている。 化学療法実施患者に対しては外来において口腔内チェックから歯科受診に至る体制を構築中である。

(3) がん患者で全身麻酔による手術予定の患者に対し、「①術後合併症の予防 ②全身麻酔挿管時の口腔トラブルの予防 ③口腔環境改善により痛みや不快感を軽減し術後早期に食事を再開」を目的に、外来にて麻酔科医による手術当日の麻酔についての説明をした際に口腔内チェックを実施。その際、必要に応じて診療情報提供書を記入し歯科医に紹介し、返事をいただく体制を構築している。 また、当院が属する医療圏の歯科医師に対する研修として「病院がお願いするがん患者の医科歯科連携について」というテーマで講演会を実施した。

(8) 上記(2)~(5)以外において歯科と連携体制を構築している場合、どのような連携体制を構築しているか記載してください。

口腔ケアチームの活動として

・歯科衛生士との月1回のカンファレンスを実施、口腔ケアチーム主催の勉強会に衛生士も参画し、院内全職員に向けて実施(5回/年)